

湯河原町健康増進計画・食育推進計画策定のためのアンケート調査集計結果

2025年3月
元東海大学医学部 基盤診療学系公衆衛生学
准教授
渡辺 良久

対象群を年齢階級別に6グループに分け、それぞれの人口から必要な数を計算しました。また、前回調査の回収率を参考に回収率を想定し、必要送付数を計算し、住民基本台帳から無作為抽出で対象者を選出しました。その結果、回収数は乳幼児期、学童期、思春期、壮年期では必要回収数を上回りましたが、青年期と高齢期では下回りました。したがって、これらの年代では、単に集計結果を見るのではなく、統計学的に検定した結果で判断する必要があります。

必要数・回収数

No.	対象群	対象年齢	人口	必要回収数	設定回収率	発送必要数	実発送数	回収数	回収率	
									今回	前回
1	乳幼児期	0～6歳	511	185	35%	529	474	312	65.8%	54.8%
2	学童期	7～12歳	675	202	40%	505	626	482	77.0%	38.9%
3	思春期	13～19歳	1,102	229	25%	916	1,014	332	32.7%	32.4%
4	青年期	20～39歳	3,310	266	25%	1,064	1,063	216	20.3%	31.3%
5	壮年期	40～64歳	7,571	278	30%	927	923	306	33.5%	42.8%
6	高齢期	65歳以上	10,084	281	50%	562	556	278	50.0%	59.3%
計	計		23,253	1,441		4,503	4,656	1,929	41.4%	40.2%

調査項目比較

調査項目	1.乳幼児	2.学童期	3.思春期	4.青年期	5.壮年期	6.高齢期
属性	性別、年齢、就業状況、家族構成などの「属性」。					
健康関心	健康状態、体型、健診受診状況などの「健康関心」。					

調査項目は、性別、年齢、就業状況、家族構成などの「属性」。
健康状態、体型、健診受診状況などの「健康関心」。

調査項目比較

調査項目	1.乳幼児	2.学童期	3.思春期	4.青年期	5.壮年期	6.高齢期
食事	朝食摂取状況、主食・主菜・副菜摂取状況、減塩、外食・中食利用状況、食生活の課題などの「食事」。					
精神保健	ストレスの有無、ストレス処理方法、相談相手などの「精神保健」。					

朝食摂取状況、主食・主菜・副菜摂取状況、減塩、外食・中食利用状況、食生活の課題などの「食事」。
ストレスの有無、ストレス処理方法、相談相手などの「精神保健」。

調査項目比較

調査項目	1.乳幼児	2.学童期	3.思春期	4.青年期	5.壮年期	6.高齢期
食育	食育に関する知識、技能、態度の向上を図るための取り組み。					
運動	運動の頻度、運動場所などの「運動」。					
睡眠	就寝時間、睡眠時間などの「睡眠」。					

食育関心などの「食育」。
運動の頻度、運動場所などの「運動」。
就寝時間、睡眠時間などの「睡眠」。

調査項目比較

調査項目	1.乳幼児	2.学童期	3.思春期	4.青年期	5.壮年期	6.高齢期
食育	食育に関する知識、技能、態度の向上を図るための取り組み。					
運動	運動の頻度、運動場所などの「運動」。					
睡眠	就寝時間、睡眠時間などの「睡眠」。					

ストレスの有無、ストレス処理方法、相談相手などの「精神保健」。

(7)

附五 科目別教科												
学年	科目	1.乳幼児	2.学童期	3.思春期	4.青年期	5.壮年期	6.高齢期	時間	割合	割合	割合	割合
基礎	77	関35 家庭の発展	関36 家庭の発展	関36 家庭の発展	関36-1 環境変化 関36-2 環境収束変化	関36-1 環境変化 関36-2 環境収束変化	関36-1 環境変化 関36-2 環境収束変化	77	89	112	135	160
	78				関36-3(1) 男女別生活	関36-3(1) 男女別生活	関36-3(1) 男女別生活	78	90	112	135	160
	79				関36-3(2) 家族生活	関36-3(2) 家族生活	関36-3(2) 家族生活	79	91	113	136	161
	80				関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	80	92	114	137	162
	81				関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	81	93	115	138	163
	82				関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	82	94	116	139	164
	83				関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	83	95	117	140	165
	84				関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	84	96	118	141	166
	85				関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	85	97	119	142	167
	86				関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	関36-3(3) 社会生活	86	98	120	143	168
発展	87	関37 環境意識	関37 環境意識	関37 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	87	99	121	144	169
	88				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	88	100	122	145	170
	89				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	89	101	123	146	171
	90				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	90	102	124	147	172
	91				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	91	103	125	148	173
	92				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	92	104	126	149	174
	93				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	93	105	127	150	175
	94				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	94	106	128	151	176
	95				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	95	107	129	152	177
	96				関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	関37-1 環境意識 関37-2 環境意識	96	108	130	153	178
実践	97	関38 環境の改善	関38 環境の改善	関38 環境の改善	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	97	109	131	154	179
	98				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	98	110	132	155	180
	99				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	99	111	133	156	181
	100				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	100	112	134	157	182
	101				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	101	113	135	158	183
	102				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	102	114	136	159	184
	103				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	103	115	137	160	185
	104				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	104	116	138	161	186
	105				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	105	117	139	162	187
	106				関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	関38-1 環境意識 関38-2 環境意識	106	118	140	163	188
資料 保護	97	関39 自然の恵み	関40 自然の恵み	関40 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	97	119	141	164	189
	98				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	98	120	142	165	190
	99				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	99	121	143	166	191
	100				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	100	122	144	167	192
	101				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	101	123	145	168	193
	102				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	102	124	146	169	194
	103				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	103	125	147	170	195
	104				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	104	126	148	171	196
	105				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	105	127	149	172	197
	106				関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	関40-1 自然の恵み 関40-2 自然の恵み	106	128	150	173	198

喫煙状況、禁煙意思などの「喫煙」。
飲酒状況、飲酒量などの「飲酒」。
薬物知識、薬物意識などの「薬物」。
自菌本数、菌や口の悩みなどの「菌科衛生」。

(8)

[illegible]

社会活動参加、外出、性知識などの「健康対策」。
「その他の意見」、など全118項目について調査を行いました。
質問内容は対象年代によって異なるため、質問項目数が最も
少なかったのは乳幼児期で48問。最も多かったのは、高齢期で
78問でした。

前回調査および他市町村の調査結果と比較

No.	調査地区	調査時期
1	湯河原町 (H20)	2008年末
2	中井町	2011年夏
3	葉山町	2012年始
4	湯河原町 (H24)	2012年末
5	松田町 (H24)	2013年始
6	逗子市 (H26)	2014年春
7	湯河原町 (H26)	2015年春
8	逗子市 (R4)	2022年夏
9	松田町 (R4)	2022年冬
10	湯河原町 (R5)	2023年秋
11	湯河原町 (R6)	2024年秋

調査結果は、前回2015年(平成26年度)調査結果ならびに他市町と比較することにより、今回調査結果の特徴を浮かび上がらせました。

スライド中の検定結果の見方

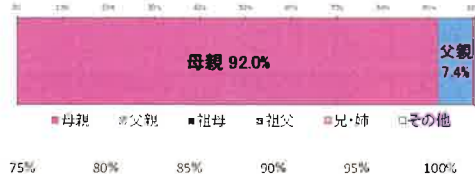
「差があるかどうか」を統計学的に調べたものです。
(カイ二乗検定という方法で検定をかけた結果です)

表示	意味	統計学的な表現
*	少なそうだ	有意水準5%で有意
**	少ない	有意水準1%で高度に有意
***	確実に少ない	有意水準0.1%で高度に有意
*	多そうだ	有意水準5%で有意
**	多い	有意水準1%で高度に有意
***	確実に多い	有意水準0.1%で高度に有意

なお、図中に「*」(アスタリスク)マークで、調査結果に差があるかどうかを示しています。青は、少ない、赤は、多いを表しています。グラフでみると差があるように見えるのに「*」がついていないときは、データ数が少ないためだけのばつきであり、統計学的には「差があるとは言えない(もつと標本が多くなると何とも言えない)」ということを示しています。

属性
1 回答者

項目	乳幼児期
母親	287
父親	23
祖母	1
祖父	
兄・姉	1
その他	
不明	
合計	312



氏名	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	その他
清川H20	93.3%	5.6%				
中井町	96.6%					
葉山町	95.8%					
清川H24	93.8%	6.3%				
松田H24	95.4%					
逗子H26	96.1%					
湯河原H26	95.5%	4.1%				
逗子R4	93.9%	6.1%				
松田R4	93.1%	6.4%				
清川R5	79.1%***	18.6%***				
湯河原R6	92.0%*	7.4%*				

■ 母親
 ■ 父親
 ■ 祖母
 ■ 祖父
 ■ 兄弟・姉妹
 □ その他

調査票の記入は基本的に対象者本人によることとしましたが、乳幼児期については本人回答が困難なため、保護者等に回答を依頼しました。母親の回答が約9割でした。他市町村、前回と比べると、父親の回答が多くなっていました。

属性
2 性別

湯河原町

項目	男	女	不明	合計
乳幼児期	158	154	0	312
学童期	250	230	2	482
思春期	158	168	6	332
青年期	92	110	14	216
壮年期	117	170	22	309
高齢期	112	146	20	278
計	887	978	64	1,929

2 性別

項目	男	女	不明
乳幼児期	男 50.6%	女 49.4%	不明
学童期	男 51.9%	女 47.3%	不明
思春期	男 47.6%	女 50.6%	不明
青年期	男 42.8%	女 50.9%	不明
壮年期	男 37.9%	女 55.0%	不明
高齢期	男 40.3%	女 52.5%	不明

回答者の性別は、学童期は男性が多く、壮年期、高齢期は女性が多くなっていました。
他市町村・前回と比べると、特に差はみられませんでした。

3 年齢

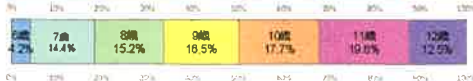
(13)

湯河原町

乳幼児



学童期



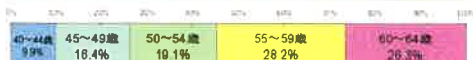
思春期



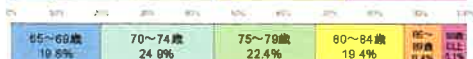
青年期



壮年期



高齢期



回答者の性別は、学童期は男性が多く、壮年期、高齢期は女性が多くなっていました。

他市町村・前回と比べると、特に差はみられませんでした。

4 属性

(15)

湯河原町

乳幼児



学童期



思春期



青年期



壮年期



高齢期



各対象群ごとの属性の分布を示したものです。高校生が多くなっています。青年期・壮年期では「会社員・団体職員・公務員」が多く、高齢期では「専業主婦」、「無職」が多くなっています。

5 同居者

(17)

湯河原町

乳幼児



学童期



思春期



■父 ■母 □祖母 □祖父 □兄弟・姉妹 ■おじさん ■おばさん □その他



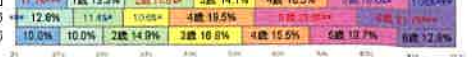
同居者については、乳幼児期で「父」、「おばさん」が多く、「兄弟・姉妹」が少ない。学童期で「兄弟・姉妹」が多い。思春期で「おばさん」が少ない、などとなっています。他市町村・前回との比較では、乳幼児期では、「母」、「おばさん」が多く、「父」が少ない。学童期では、「父」、「母」、「祖父」、「兄弟・姉妹」が少ない。思春期では、「その他」が多く、「祖父」、「祖母」、「兄弟・姉妹」が少ない、などとなっています。

3 年齢

(14)

他市町村

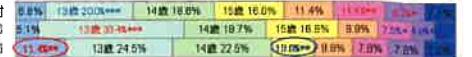
乳幼児



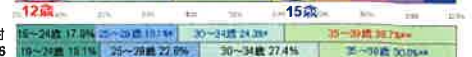
学童期



思春期



青年期



壮年期



高齢期



年齢について他市町村・前回と比べると、乳幼児期、学童期、青年期では特に差はみられませんでした。思春期では、「12歳」が多く、「15歳」が少ない。壮年期では「40~44歳」が少なく、「55~59歳」が多い。高齢期では、「65~69歳」が少なくなっていました。

4 属性

(16)

他市町村

乳幼児



学童期



思春期



青年期



壮年期



高齢期



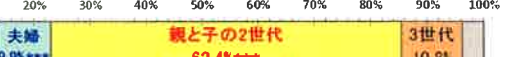
属性について他市町村・前回と比べると、乳幼児期は、「未就園」が少なく「保育園」が多くなっています。学童期は、「小学5年生」が多くなっています。思春期は、「中学生」が多く、「高校生」が少ない。青年期では、「パート・アルバイト」が多く、「専業主婦」が少ない。壮年期では、「会社・団体の役員・経営者」、「旅館・保養所などの従業員」が多く、「専業主婦」が少ない。高齢期では、「パート・アルバイト」が多く、「専業主婦」が少ない、などの特徴があります。

5 同居者

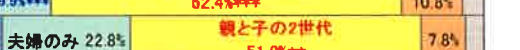
(18)

湯河原町

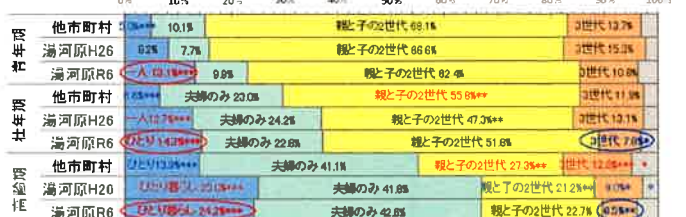
青年期



壮年期



高齢期



青年期以上では、年代が上がるとともに「親と子の2世代」が減少し、「夫婦のみ」、「ひとり暮らし」が増加する傾向がみられます。他市町村・前回と比べると、青年期では、「ひとり暮らし」が多い。壮年期、高齢期では、「ひとり暮らし」が多く、「3世代」が少ない、などとなっています。

(19)

乳幼児期	学童期	思春期
(男)ひいばあちゃん	(男)ひいおばあちゃん	(男)いとこばあちゃん
(男)ひいばあちゃん	(男)ひいばあちゃん	(男)おおおばあちゃん
(男)ひいばあちゃん	(男)ひいばあちゃん	(男)寮生
(男)ひいばあちゃん	(男)ひいばあちゃん	(男)活中のためチームメイト
(男)曾祖父・曾祖母	(男)曾祖母	(男)職員
(男)曾祖父・曾祖母	(男)曾祖母	(男)ネコ2匹
(男)犬	(男)犬	(男)インコ
		(女)猫

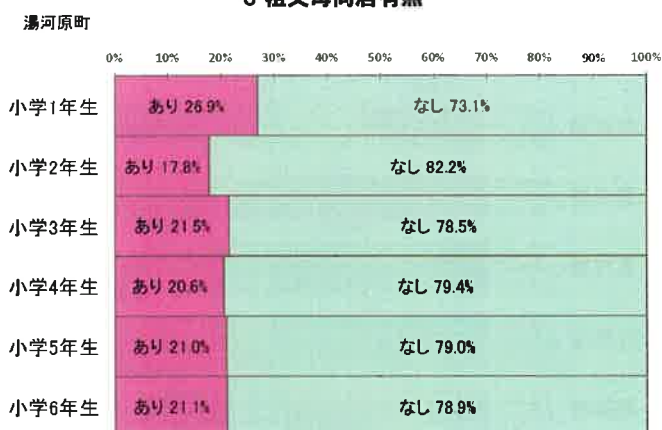
その他の同居者の記述では、乳幼児期、学童期では曾祖父母が掬がっていました。

(20)

青年期		壮年期		高齢期	
(男) 4世代	(女) 義母と夫	(男) 両親	(女) 夫婦と子供	(男) 夫婦、子と弟	(女) 次男と2人。同居でも別所帯
(男) ホテルの寮		(男) 内縁の妻と二人	(女) 寮生活	(男) 妹と二人	(女) 別棟に子ども達はある。夫は単身赴任中
(男) 夫婦とその子		(男) 夫婦と子供	(女) 親世代に間借り4		(女) 夫婦と子
(男) 祖母と孫		(男) 夫婦と母			(女) 夫施設入所中
(男) 赤ちゃん		(男) 義妹・母			(女) 娘と二人暮らし
					(女) 子2人
					(女) 母と娘二人

その他の同居者の記述では、個別の状況が挙がっていました。

(21)



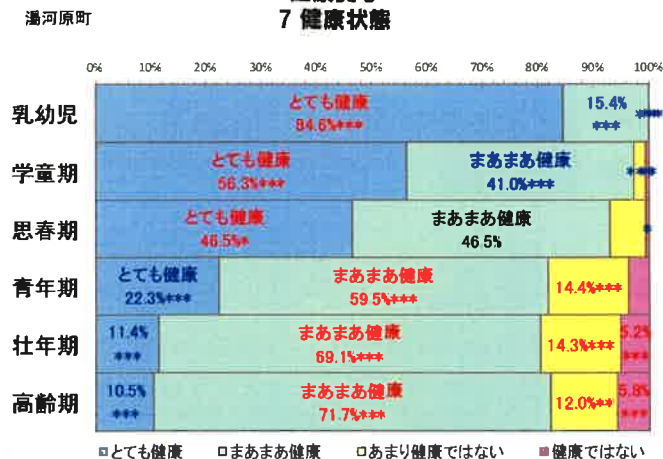
祖父母との同居の状況を学年ごとにみたものです。特に差はみられませんでした。

(22)



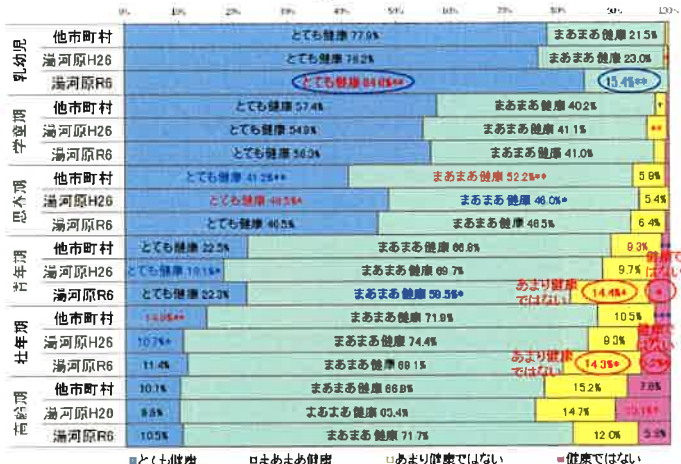
祖父母同居有無について他市町村・前回と比べると、特に差はみられませんでした。

(23)



健康状態は、乳幼児期が最も健康で、年齢が上がるほど「とても健康」が少なくなり、「あまり健康ではない」、「健康ではない」が増加する傾向を示しています。

(24)

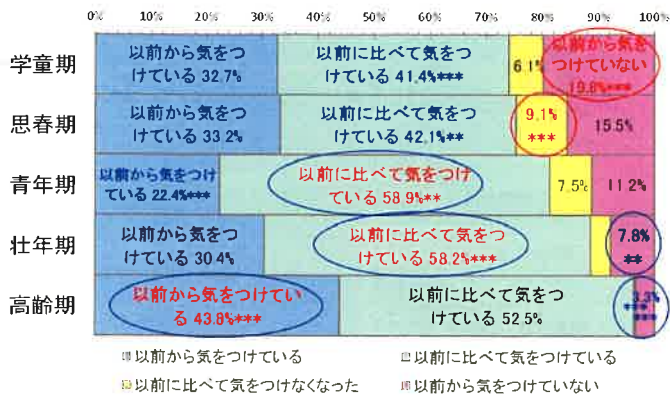


健康状態について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では、「とても健康」が多く、「まあまあ健康」が少ない。青年期では「あまり健康ではない」「健康ではない」が多く、「まあまあ健康」が少ない。壮年期では、「あまり健康ではない」「健康ではない」が多い、などとなっていました。他の年代では特に差はみられませんでした。

8 健康意識の変化

(25)

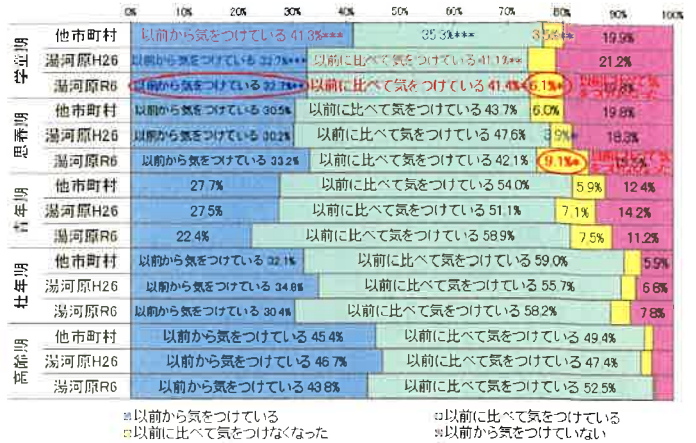
湯河原町



健康に気をつけているかどうかでは、学童期では、「以前から気をつけていない」が多い。思春期では、「以前に比べて気をつけなくなった」が多い。青年期では、「以前に比べて気をつけている」が多く、「以前から気をつけている」が少ない。壮年期では、「以前に比べて気をつけている」が多く、「以前から気をつけていない」が少ない。高齢期では、「以前から気をつけている」が多く、「以前に比べて気をつけなくなった」、「以前から気をつけていない」が少ない、などとなっています。

8 健康意識の変化

(26)



健康意識の変化について他市町村・前回と比べると、学童期では、「以前に比べて気をつけている」、「以前に比べて気をつけなくなった」が多く、「以前から気をつけている」が少ない。思春期では、「以前に比べて気をつけなくなった」が多い程度で、大きな差はみられませんでした。

9 健康法（順位）

(27)

湯河原町



健康法の順位を比較すると、青年期以外では「朝ごはんを毎日食べる」が1位になっています。青年期では「きちんと水分をとる」が1位になっています。

9 健康法

(29)

学童期



健康法について他市町村・前回と比べると、学童期では、「汗をかいたらきちんと水分をとる」が多く、「おやつをあまり食べすぎない」、「太りすぎない」、「やせすぎない」、「友だちと遊ぶ」、「ゲーム機などで遊びすぎない」が少なくなっています。

9 健康法

(28)

乳幼児期

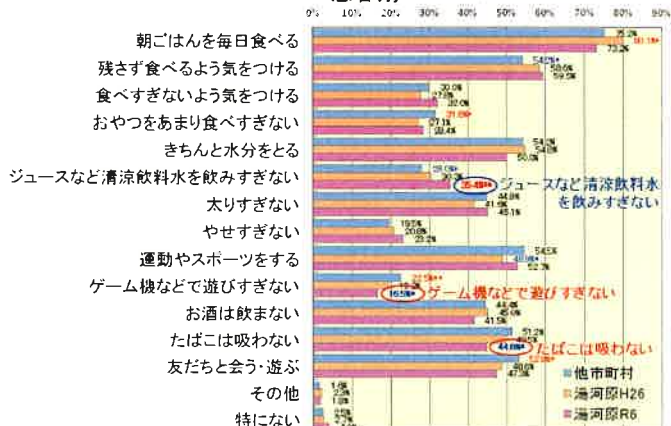


健康法について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では「やせすぎない」、「日光によく当たる」が多く、「おやつをあまり食べすぎない」、「太りすぎない」、「友だちと遊ぶ」、「日光に当たり過ぎない」、「周囲の禁煙」が少ない。

9 健康法

(30)

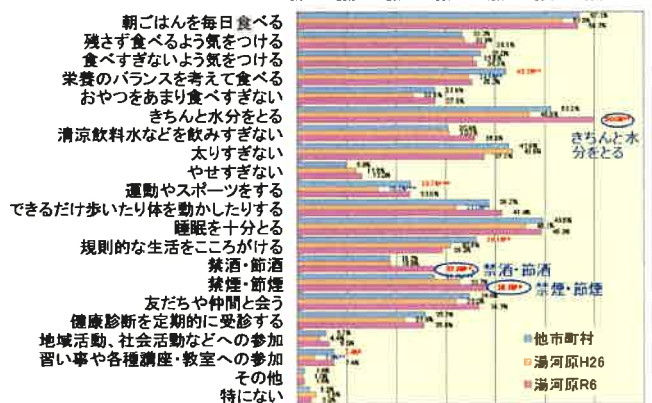
思春期



健康法について他市町村・前回と比べると、思春期では、「ジュースなど清涼飲料水を飲みすぎない」が多く、「ゲーム機などで遊びすぎない」、「たばこは吸わない」が少なくなっています。

9 健康法 青年期

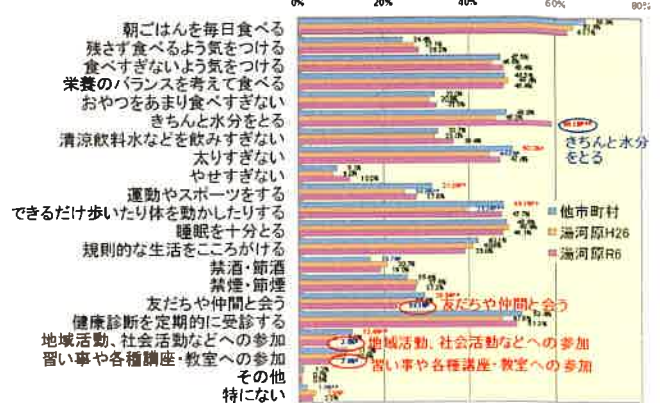
(31)



健康法について他市町村・前回と比べると、青年期では、「きちんと水分をとる」、「禁酒・節酒」、「禁煙・節煙」が多くなっています。

9 健康法 壮年期

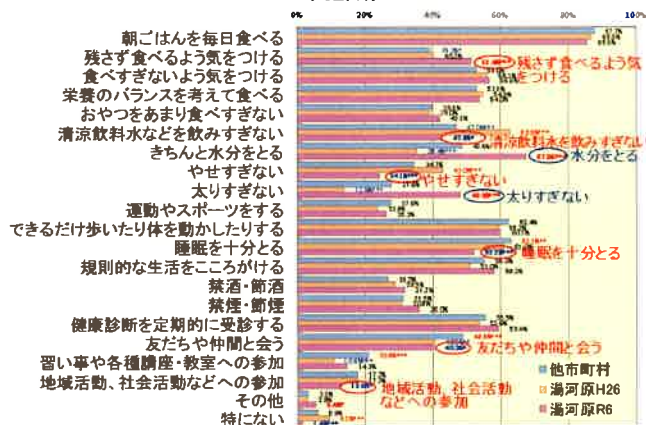
(32)



健康法について他市町村・前回と比べると、壮年期では、「きちんと水分をとる」が多く、「友だちや仲間と会う」、「地域活動、社会活動などへの参加」、「習い事や各種講座・教室への参加」が少なくなっています。

9 健康法 高齢期

(33)



健康法について他市町村・前回と比べると、高齢期では、「残さず食べるよう気をつける」、「きちんと水分をとる」、「やせすぎない」、「睡眠を十分とる」、「友だちや仲間と会う」、「地域活動、社会活動などへの参加」、「特にな」が少なくなっています。

10 メタボ

(34)



メタボリックシンドロームについては、よく知っている人は学童期で最も少なく、年代が上ると知っている人が多くなるという傾向でした。

10 メタボ

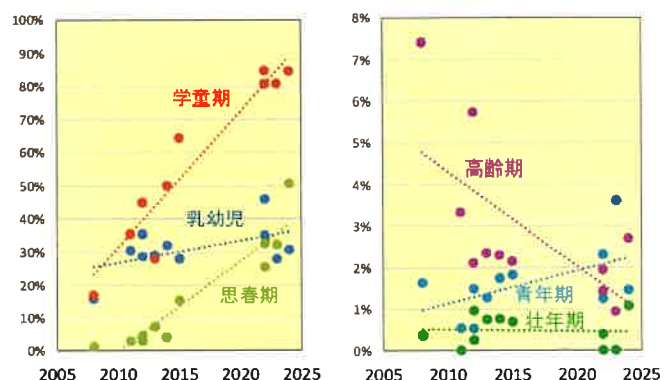
(35)



メタボについて他市町村・前回と比べると、学童期、思春期で、「聞いたことがない」が多く、「よく知っている」が少なくなっています。その他の年代では、特に差はみられませんでした。

10 メタボ 調査時期による「聞いたことがない」人の比率

(36)

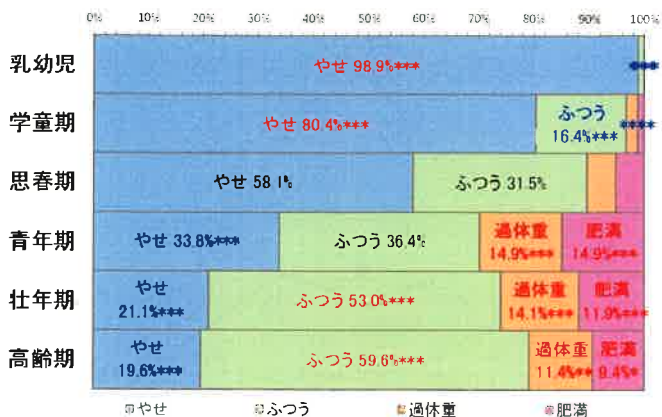


メタボについて「聞いたことがない」人の比率を調査時期でプロットすると、乳幼児期、学童期、思春期で明らかに上昇しています。一方、該当する年代である青年期は上昇傾向、壮年期は少ない比率でほぼ横ばい、高齢期は減少傾向にあります。

13 体型 (BMI)

(37)

湯河原町



BMIの分布をみると、年齢が上がるほどやせが少なくなり、過体重、肥満が多くなる傾向を示しています。

なお、乳幼児期、学童期、思春期については通常BMIを用いて判断しませんが、ここでは各年代とも同一の評価基準で示してあります。

13 体型 (BMI)

(38)

男



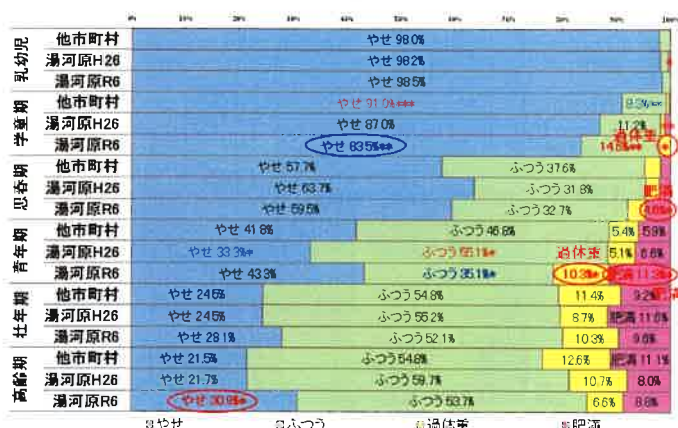
BMIの分布をみると、年齢が上がるほどやせが少なくなり、過体重、肥満が多くなる傾向を示しています。

なお、乳幼児期、学童期、思春期については通常BMIを用いて判断しませんが、ここでは各年代とも同一の評価基準で示してあります。

13 体型 (BMI)

(39)

女



体型(BMI)について他市町村・前回と比べると、女性では、学童期で、「ふつう」、「過体重」が多く、「やせ」が少ない。思春期では、「肥満」が多い。青年期では、「過体重」、「肥満」が多く、「ふつう」が少ない。高齢期では、「やせ」が多くなっていました。他の年代は特に差はみられませんでした。

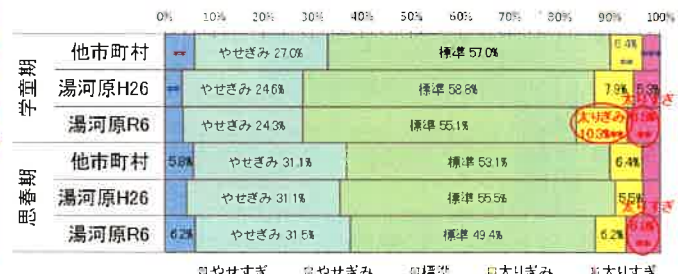
14 カウプ指数

(40)

乳幼児期



14 ローレル指数

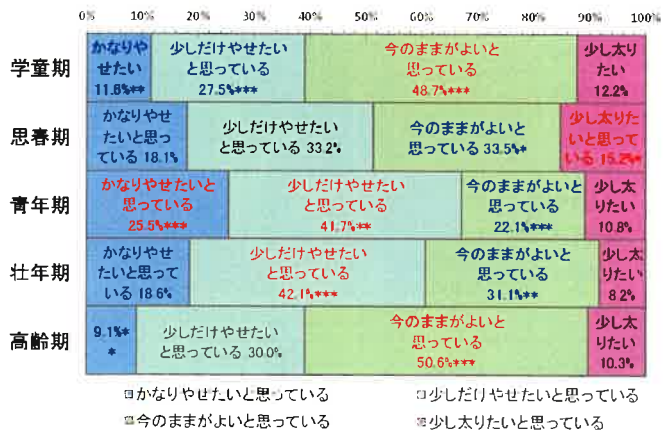


ちなみに、乳幼児期についてカウプ指数でみると、特に差はみられませんでした。学童期と思春期についてローレル指数でみると、学童期では、「太りすぎ」、「太りすぎ」が多い。思春期では、「太りすぎ」が多い、などとなっていました。

15 体型希望

(41)

湯河原町



体型希望については、学童期では、「今のまがよい」と思っている」が多い。思春期では、「少し太りたい」と思っている」が多い。青年期では、「かなりやせたい」と思っている」、「少しだけやせたい」と思っている」が多い。壮年期では、「少しだけやせたい」と思っている」が多い。高齢期では、「今のまがよい」と思っている」が多くなっていく。

15 体型希望

(42)



体型希望について他市町村・前回と比べると、学童期では、「かなりやせたい」、「少し太りたい」が多く、「少しだけやせたい」が少ない。青年期では、「少し太りたい」が多い。壮年期では、「少しだけやせたい」が少ない、などとなっていました。

15 体型希望

(43)

湯河原町 過体重・肥満なのにやせたいと思っていない人



体型希望をBMIと比較してみると、過体重、肥満なのにやせたいと思っていない人は男性で全体的に多くなっています。女性では、高齢期で多くなっています。

15 体型希望

(44)

湯河原町 やせているのに更にやせたいと思っている人

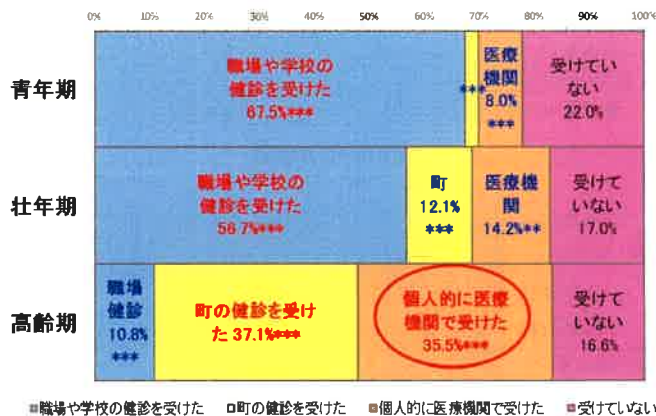


一方、現在やせているのに、更にやせたい人は男性では学童期から青年期で多く、女性では思春期で特に多くなっています。若い女性のやせ傾向は特に神奈川県において顕著といわれますが、広い年代に広がっていることがうかがえます。

16 健診受診状況

(45)

湯河原町



健診の受診状況では、青年期、壮年期は「職場や学校の健診を受けた」人が多くなっています。また、高齢者では「個人的に医療機関で受けた」という回答が多くなっていますが、これは「健診」ではなく、病気の「受診」を指している可能性もあるため、要注意です。

16 健診受診状況

(46)

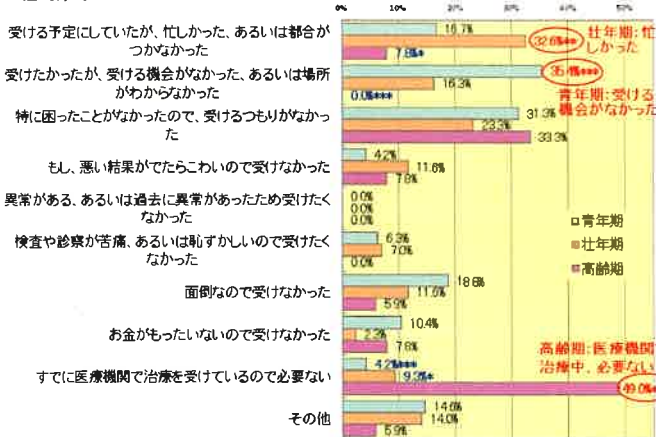


健診受診状況について他市町村・前回と比べると、青年期では、「職場や学校の健診」が多く、「受けていない」が少ない。壮年期、高齢期では、「職場や学校の健診」が多く、「個人的に医療機関で受けた」が少なくなっています。

17 健診不受診理由

(47)

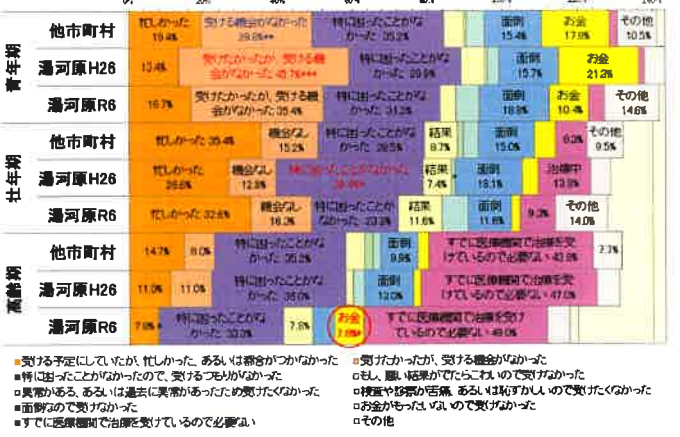
湯河原町



健診を受けなかった理由としては、全年代で「特に困ったことがなかった」が多くなっています。青年期では、「受けたかったが、受ける機会がなかった、あるいは場所がわからなかった」が多い。壮年期では、「受ける予定にしていたが、忙しかった、あるいは都合がなかった」が多い。高齢期では、「すでに医療機関で治療を受けているので必要ない」が多い。高齢期では、健診を受けたという人でも、「個人的に医療機関で受けた」という回答が多くなっており、医療機関での受療と健診受診とを混同して、結局健診を受けていない人が多いと考えられるので、要注意です。

17 健診不受診理由

(48)



健診不受診理由について他市町村・前回と比べると、高齢期では、「お金がもったいないので受けなかった」が多くなっていました。他の年代では特に差はみられませんでした。

17 健診不受診理由(その他記述)

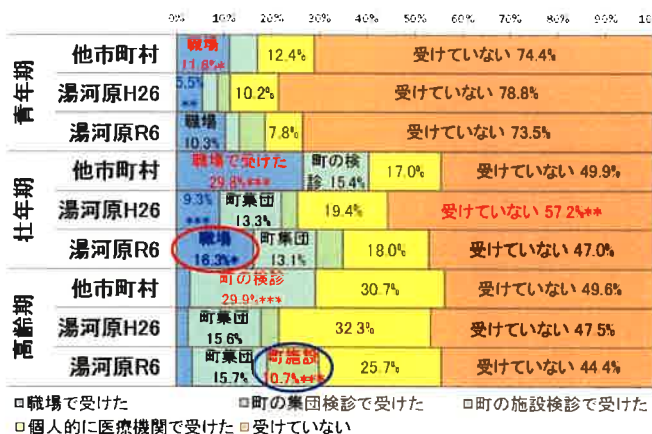
(49)

青年期	壮年期	高齢期
(男) 学業が続いていたため (男) 会社が何も教えてくれません (女) 受ける必要がない (女) 下剤を飲みたくない (女) 妊娠、出産があったため (女) これから	(女) 時間がない (女) レントゲンやバリウムは体に良くない (女) 定期的に血液検査(持病のため) (女) 日光アレルギーで外に出られない (女) これから受ける予定がある	(男) これから受けることにしている 医療機関が信じられない。おかしい医師が多すぎる。特に高い女性の医師。

健診を受けなかった理由として記述のあったものを挙げました。全体的に、女性の回答が多くみられました。

18 がん検診受診状況

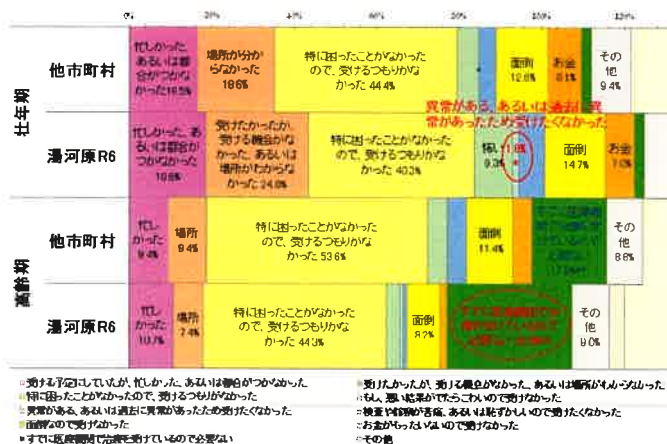
(51)



がん検診の受診状況では、他市町村と比べると、壮年期では、「職場で受けた」が少ない。高齢期では、「町の施設検診で受けた」が多くなっていました。

19 がん検診不受診理由

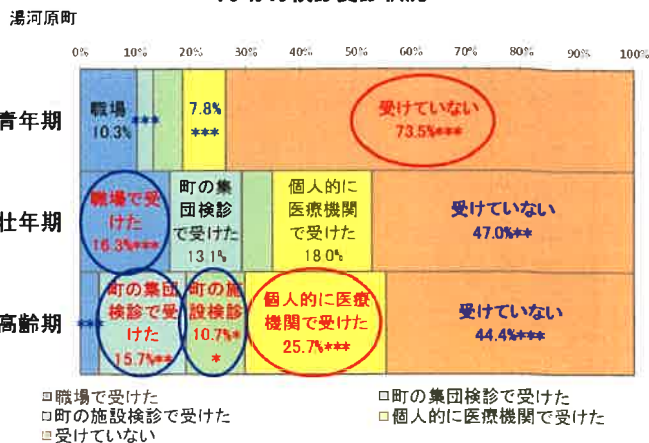
(53)



検診を受けなかった理由として同一質問がある遼子R4、松田R5、清川R5と比較すると、壮年期では、「異常がある、あるいは過去に異常があったため受けなかった」が多い。高齢期では、「すでに医療機関で治療を受けているので必要ない」が多くなっていました。

18 がん検診受診状況

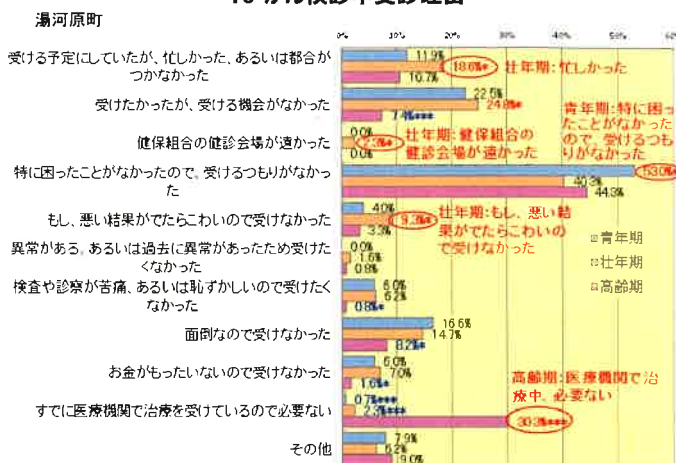
(50)



がん検診の受診状況では、青年期では、「受けていない」が多く、「町の検診を受けた」が少ない。壮年期では、「職場で受けた」、「職場の家族検診を受けた」が多く、「町の検診を受けた」、「個人的に医療機関で受けた」が少ない。高齢期では、「町の検診を受けた」、「個人的に医療機関で受けた」が多く、「職場で受けた」、「受けていない」が少ない。高齢者ではやはり「個人的に医療機関で受けた」という回答が多く、病気の「受診」との混同があると思われます。

19 がん検診不受診理由

(52)



検診を受けなかった理由としては、青年期、壮年期、高齢期とも「特に困ったことがなかった、受けるつもりがなかった」が多く、症状がないときに行う検診の意義を理解していない人が多いことが分かります。青年期では、「特に困ったことがなかった、受けるつもりがなかった」が多い。壮年期では、「受ける予定にしていたが、忙しかった、あるいは都合がなかった」、「受けたかったが、受ける機会がなかった」、「健康組合の健診会場が遠かった」、「もし、悪い結果がでたらこわいので受けなかった」が多い。高齢期では、「すでに医療機関で治療を受けているので必要ない」が多くなっていました。医療機関での受療と検診受診とを混同して、結局検診を受けていない人が多いと考えられるので、要注意です。

19 がん検診不受診理由(その他記述)

(54)

湯河原町

青年期	壮年期	高齢期
(男) 35歳以下だから (男) 年齢的にまだ受けていない (男) 持病によって通常の人の30倍リスクがあるため (男) 現在検査中で腫瘍マーカーのみ測定 (女) 妊娠中でできない検査のため(マンモグラフィ) (女) 授乳・妊娠のため (女) 産後のため (女) これから (女) これから受ける予定	(男) 十分長生きしました (男) 定期的な検診で異常があったら受けようと思います (男) これから受ける (女) 以前に受けた事はあるが時間に流されて (女) がんになったことがある (女) 職場が医療機関のため必要時に直ぐに受けられるため (女) これから受ける予定がある	(男) バリウムは意味がない。胃カメラの方を選ぶ (男) 定期的(月1回)医師にかかっている、それで良いと思っている (男) 胃カメラ・尿・血液検査はうけている (男) 天命を待つ (男) 受けることにしている (女) 50代から60代で10年にわたる経過観察を受けて問題なし (女) がんになったことがある (女) 体調不良時に受けた胃カメラが苦痛だったので数年に1度でいいかなと (女) 地域の近くで会場を持ってほしい 15年前に胃・食道がんにかかった医療機関、不信のため行きたくない。

がん検診を受けなかった理由として記述のあったものを挙げました。

20 健康情報入手先(順位)

(55)

湯河原町

順位	青年期	順位	壮年期	順位	高齢期
1	インターネット 69.0%	1	マスメディア (テレビ・ラジオ・新聞) 73.5%	1	マスメディア (テレビ・ラジオ・新聞) 65.6%
2	マスメディア (テレビ・ラジオ・新聞) 43.8%	2	インターネット 53.0%	2	かかりつけ医師 57.3%
3	家族 34.0%	3	かかりつけ医師 30.7%	3	本・雑誌 24.0%
4	知人・友人 19.2%	4	本・雑誌 26.1%	4	家族 22.9%
5	本・雑誌 16.3%	5	知人・友人 18.7%	5	知人・友人 22.5%
6	かかりつけ医師 13.8%	6	家族 17.0%	6	インターネット 19.8%
7	師または医療機関 7.9%	7	薬局 5.3%	7	町の広報紙・パンフレット等 10.3%
8	特に得ていない 7.9%	8	町の広報紙・パンフレット等 4.5%	8	薬局 6.9%
9	薬局 5.9%	9	その他 2.5%	9	保健師・栄養士 2.3%
10	保健師・栄養士 2.0%	10	保健師・栄養士 1.4%	10	その他 1.1%
11	町の広報紙・パンフレット等 2.0%				

健康情報入手先を順位でみると、1位は青年期では「インターネット」、壮年期、高齢期では「マスメディア」となっています。「インターネット」は、青年期で1位、壮年期で2位、高齢期で6位と年齢が上がるにつれ少なくなっています。また、高齢期では「かかりつけ医師または医療機関」が2位になっています。

20 健康情報入手先

(56)

湯河原町

マスメディア(テレビ・ラジオ・新聞)

本・雑誌

家族

知人・友人

かかりつけ医師または医療機関

薬局

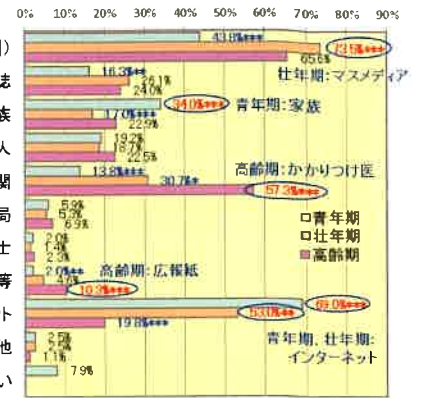
保健師・栄養士

町の広報紙・パンフレット等

インターネット

その他

特に得ていない

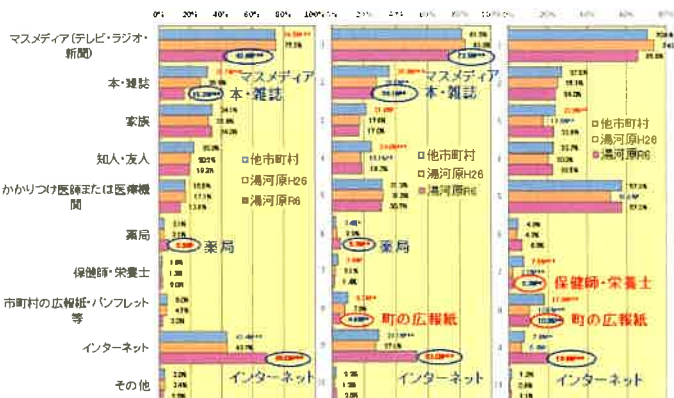


健康情報の入手先では、青年期では、「家族」、「インターネット」が多い。壮年期では、「マスメディア(テレビ・ラジオ・新聞)」、「インターネット」が多い。高齢期では、「かかりつけ医師または医療機関」、「町の広報紙・パンフレット等」が多く、「インターネット」が少なくなっています。

20 健康情報入手先

(57)

青年期 壮年期 高齢期

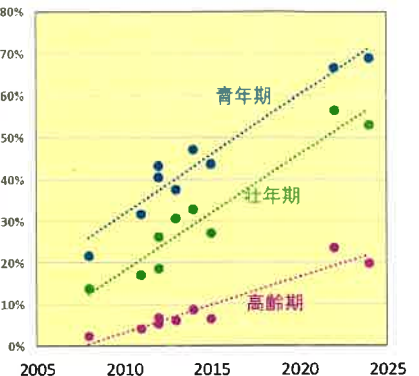


健康情報入手先について他市町村・前回と比べると、青年期では、「薬局」、「インターネット」が多く、「マスメディア(テレビ・ラジオ・新聞)」、「本・雑誌」が少ない。壮年期では、「薬局」、「インターネット」が多く、「マスメディア(テレビ・ラジオ・新聞)」、「本・雑誌」、「市町村の広報紙・パンフレット等」が少ない。高齢期では「インターネット」が多く、「保健師・栄養士」、「市町村の広報紙・パンフレット等」が少ない、などとなっています。全ての年代で「インターネット」が多くなっており、主体的に情報を取得するようになっています。

20 健康情報入手先「インターネット」の比率

(58)

市町村	年度	青年期	壮年期	高齢期
清江町	2008	21.7%	13.8%	2.3%
中井町	2011	31.7%	17.2%	4.1%
葉山町	2012	43.3%	28.2%	6.7%
清江町	2012	40.6%	18.6%	5.3%
松田町	2013	37.6%	30.8%	6.0%
清江町	2014	47.1%	32.9%	8.7%
湯河原町	2015	43.7%	27.1%	6.4%
沼子町	2022	66.7%	56.4%	23.5%
湯河原町	2024	69.0%	53.0%	19.8%



健康情報入手先について「インターネット」と答えた人の比率を調査時期でプロットすると、青年期、壮年期、高齢期とも明らかに上昇しています。

20 健康情報入手先(その他記述)

(59)

湯河原町

青年期

(男) 大学

(女) SNS

(女) SNS

壮年期

(男) 職場

(男) 娘が看護師

(男) 自分は医療有資格者

(女) 自分自身

(女) 会社の健康支援室

高齢期

(女) 職業が看護師なので

(女) ケアマネさん

医学の本

健康情報入手先のその他記述では、全体的に少なく、全体的に健康情報入手しようという意欲があまり多くないことがうかがえます。

21 ほい健康情報(順位)

(60)

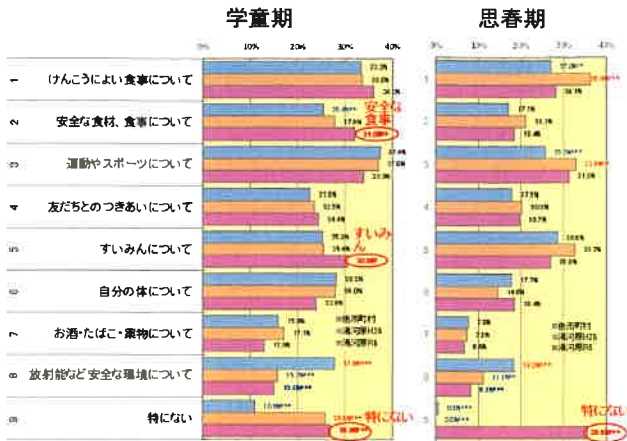
湯河原町

順位	学童期	順位	思春期	順位	青年期	順位	壮年期	順位	高齢期
1	けんこうによい食事について 36.0%	1	特になし 35.6%	1	ストレスなど、心の健康について 38.9%	1	特になし 35.0%	1	特になし 39.2%
2	運動やスポーツについて 33.9%	2	スポーツについて 31.3%	2	健康によい食事について 36.9%	2	健康によい食事について 33.2%	2	健康によい食事について 31.7%
3	安全な食生活について 32.0%	3	安全な食生活について 29.1%	3	自分の体について 28.6%	3	特になし 27.4%	3	健康によい食事について 23.9%
4	安全な食生活について 32.0%	4	健康によい食事について 25.9%	4	安全な食生活について 26.1%	4	安全な食生活について 27.1%	4	安全な食生活について 22.8%
5	特になし 26.9%	5	友だちとのつきあひについて 19.7%	5	運動やスポーツについて 24.1%	5	健康によい食事について 23.1%	5	ストレスなど、心の健康について 18.5%
6	友だちとのつきあひについて 24.4%	6	安全な食生活について 18.4%	6	健康によい食事について 23.2%	6	自分の体について 23.1%	6	自分の体について 18.5%
7	自分の体について 23.9%	7	自分の体について 18.4%	7	特になし 23.2%	7	スポーツについて 20.2%	7	スポーツについて 15.6%
8	放射線など安全な環境について 15.0%	8	放射線など安全な環境について 8.1%	8	放射線など安全な環境について 5.4%	8	放射線など安全な環境について 6.9%	8	放射線など安全な環境について 4.9%
9	お酒・たばこ・薬物について 12.9%	9	お酒・たばこ・薬物について 6.0%	9	お酒・たばこ・薬物について 3.9%	9	お酒・たばこ・薬物について 5.1%	9	お酒・たばこ・薬物について 2.9%
10	その他 0.8%	10	その他 0.3%	10	その他 1.5%	10	その他 0.7%	10	その他 1.6%

ほい健康情報では、学童期では「けんこうによい食事について」が最も多く、次いで「運動やスポーツについて」の順になっています。思春期では「特になし」が最も多く、次いで「運動やスポーツについて」の順。青年期、壮年期では「ストレスなど、心の健康について」、「健康によい食事について」の順となっていました。高齢期では「特になし」が最も多く、次いで「健康によい食事について」の順となっていました。

21 ほしい健康情報

(61)

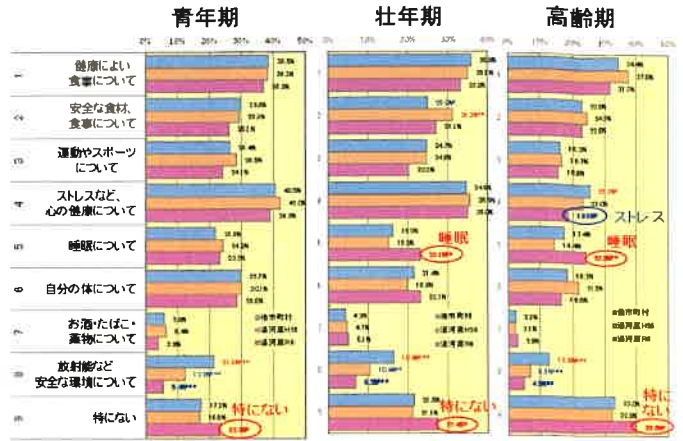


ほしい健康情報について他市町村・前回と比べると、学童期では安全な食材、食事について、「すいみんについて」、「特になし」が多く、「放射能など安全な環境について」が少ない。

思春期では、「健康によい食事について」が多くなっており、健康意識が上がっています。

21 ほしい健康情報

(62)



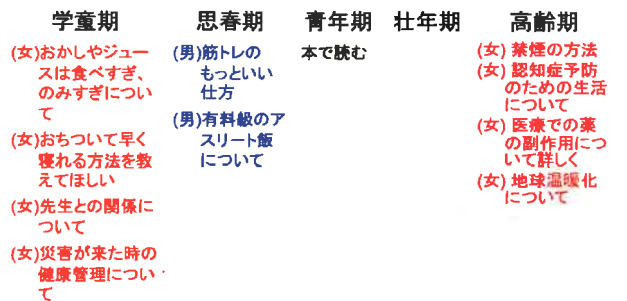
ほしい健康情報について他市町村・前回と比べると、青年期では、「特になし」が多い。壮年期では、「睡眠について」、「特になし」が多く、「健康によい食事について」、「安全な食材、食事について」、「運動やスポーツについて」、「お酒・たばこ・薬物について」、「放射能など安全な環境について」が少ないなど健康意識が低下しています。高齢期では、「睡眠について」が多く、「放射能など安全な環境について」が少なくなっていました。

21 ほしい健康情報

(63)

湯河原町

(その他記述)

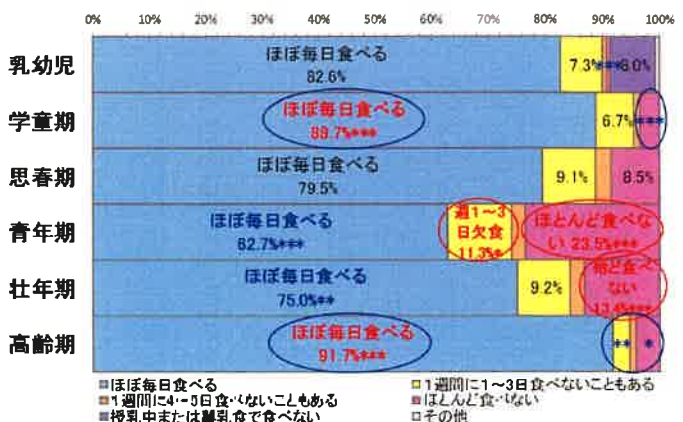


ほしい健康情報として記述のあったものを挙げました。

食事
22 朝食

(64)

湯河原町

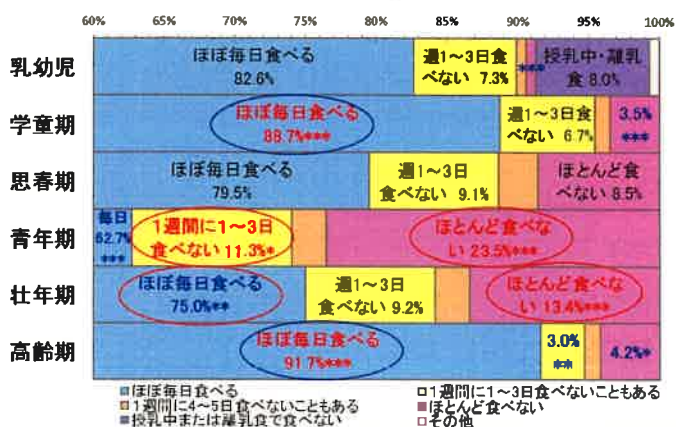


朝食はどの年代でもほぼ毎日食べる人が大多数でしたが、青年期、壮年期では「ほぼ毎日食べる」は他の年代より少なくなっていました。

22 朝食

(65)

湯河原町



朝食を毎日食べない人の部分を拡大してみました(左端が60%になっています)。特に青年期で食べない人が多くなっています。

22 朝食

(66)

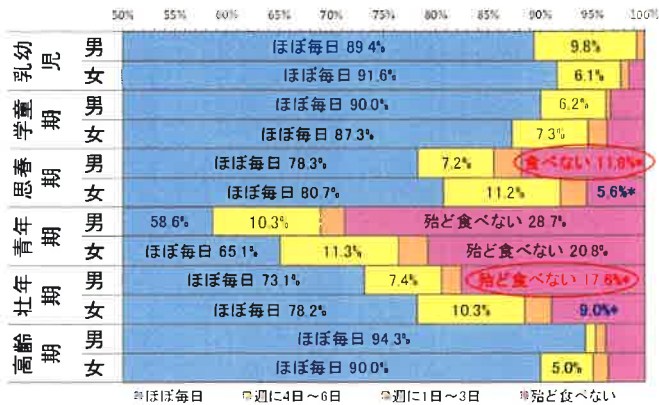


朝食について他市町村・前回と比べると、全ての年代で「ほぼ毎日食べる」人が少なくなっています。

22 朝食

(67)

湯河原町

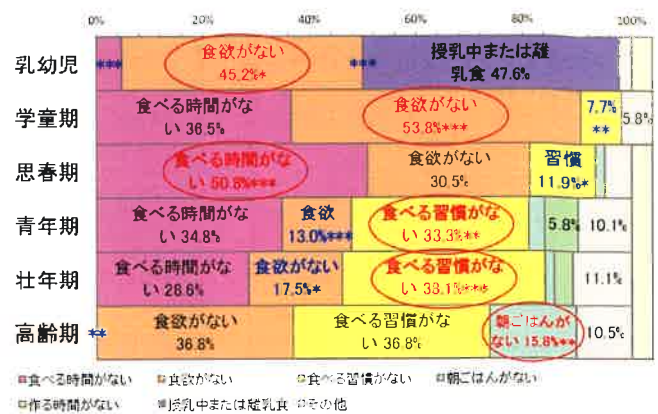


朝食について男女別に比べると、思春期、壮年期の男性で「ほとんど食べない」が多くなっていました。他の年代では差はみられませんでした。

23 朝食欠食理由

(68)

湯河原町



朝食を食べない理由では、乳幼児では、「食欲がない」が多い。学童期では、「食欲がない」が多い。思春期では、「食べる時間がない」が多い。青年期、壮年期では、「食べる習慣がない」が多い。高齢期では、「朝食は元気がない」が多くなっていました。

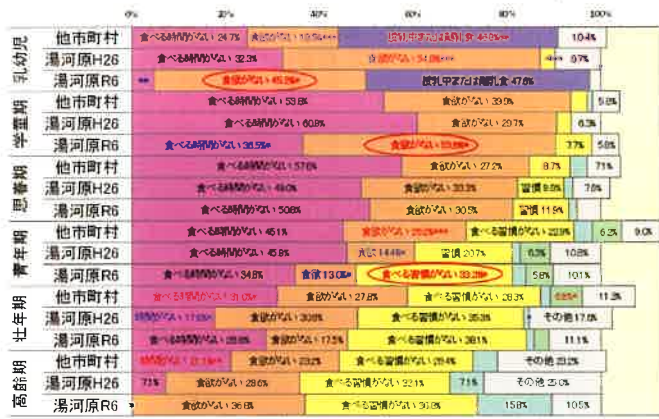
23 朝食欠食理由

(69)

24 誰と食べる(朝食)

(70)

湯河原町



朝食を食べない理由について他市町村・前回と比べると、乳幼児期、学童期では、「食欲がない」が多い。青年期では、「食べる習慣がない」が多い、などとなっていました。

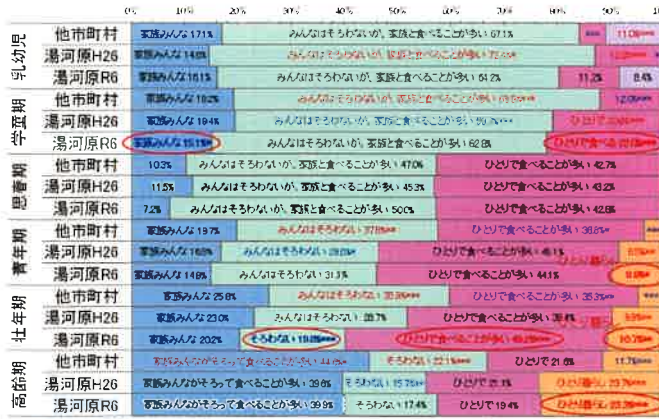
24 誰と食べる(朝食)

(71)

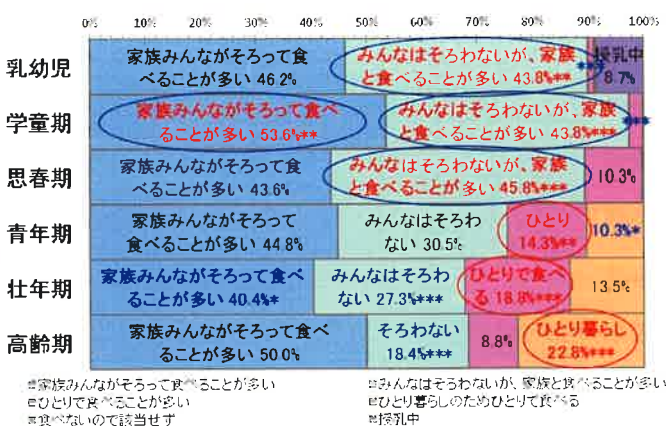
25 誰と食べる(夕食)

(72)

湯河原町



朝食を誰と食べるかについて他市町村・前回と比べると、学童期では、「ひとりで食べる人が多い」が多く、「家族みんながそろって食べる人が多い」が少ない。青年期では、「ひとりで暮らすためひとりで食べる」が多い。壮年期では、「ひとりで暮らすためひとりで食べる」が多く、「みんなはそろわないが、家族と食べる人が多い」が少ない。高齢期では、「ひとりで暮らすためひとりで食べる」が多い、などとなっていました。



夕食を誰と食べるかについては、乳幼児では、「みんなはそろわないが、家族と食べる人が多い」が多い。思春期では、「みんなはそろわないが、家族と食べる人が多い」が多い。高齢期では、「家族みんながそろって食べる人が多い」が多い一方、「ひとりで暮らすためひとりで食べる」も多くなっていました。青年期、壮年期は特に差はみられませんでした。

25 誰と食べる(夕食)

(73)

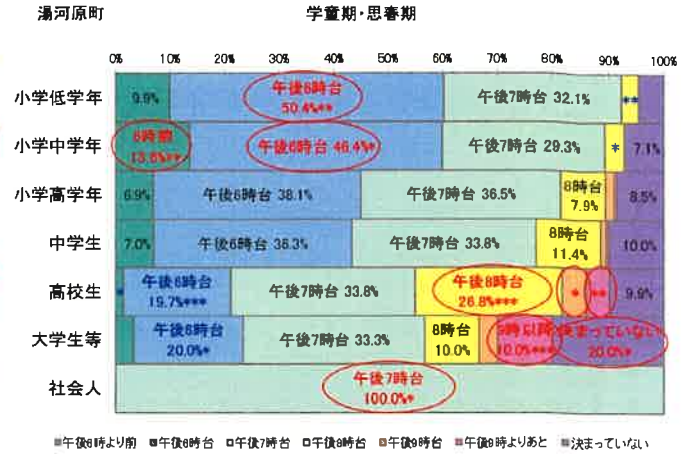


夕食を誰と食べるかについて他市町村・前回と比べると、乳幼児期、学童期、青年期では、「家族みんながそろって食べることが多い」が多くなっていますが、高齢期では少なくなっていました。青年期、壮年期、高齢期では「ひとりで暮らすのためひとりで食べる」も多くなっていました。

26 夕食時間

学童期・思春期

(74)



思春期の夕食時間については、小学低学年では、「午後6時台」が多い。小学中学年では、「午後6時より前」、「午後6時台」が多い。高校生では、「午後8時台」、「午後9時台」、「午後9時よりあと」が多い。大学生等では、「午後9時よりあと」、「決まっていない」が多い。社会人では、「午後7時台」が多い、などとなっていました。

26 夕食時間

学童期・思春期

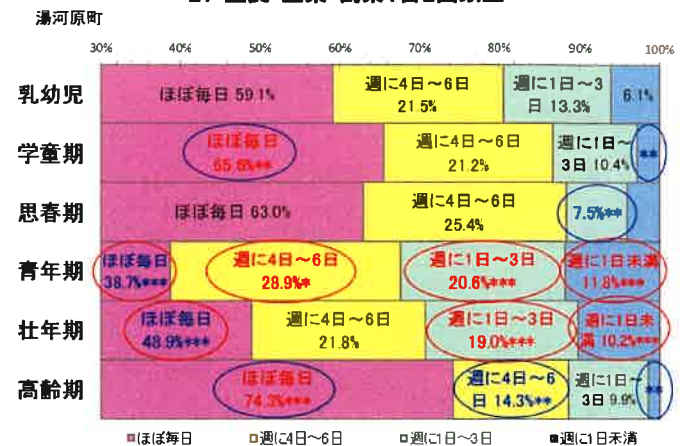
(75)



他市町、前回と比べると、小学中学年では、「午後7時台」が少ない。高校生では、「午後8時台」が多い、などとなっていました。その他の年代では、特に差はみられませんでした。

27 主食・主菜・副菜1日2回以上

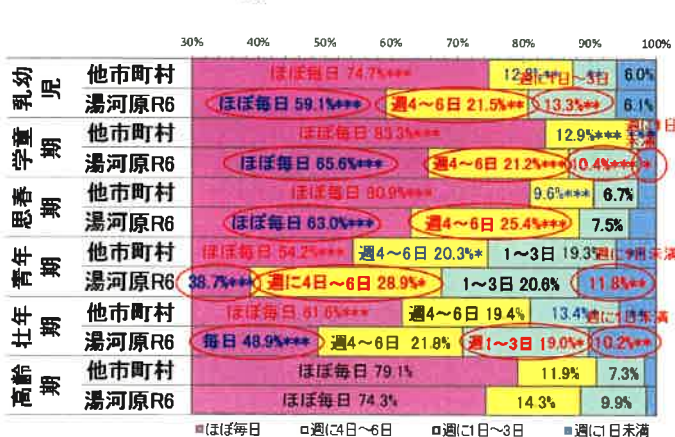
(76)



主食・主菜・副菜を1日2回以上摂る頻度については、学童期、高齢期では、「ほぼ毎日」が多くなっていますが、青年期、壮年期では少なくなっていました。

27 主食・主菜・副菜1日2回以上

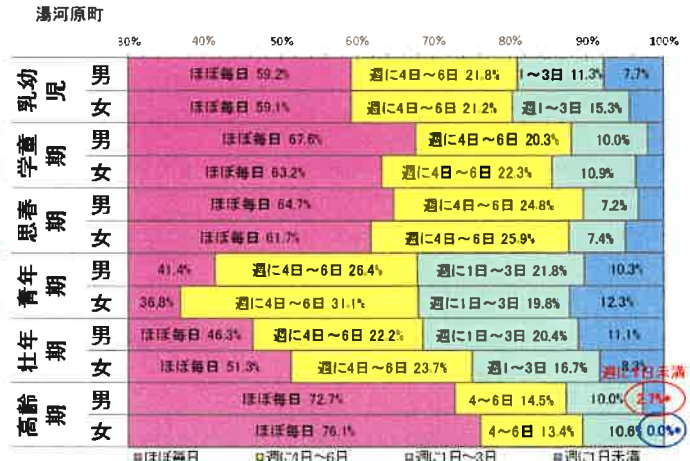
(77)



主食・主菜・副菜1日2回以上について、同様設問のある逗子市R4、松田町R4、清川村R5と比べると、乳幼児期から壮年期で「ほぼ毎日」が少なくなっていました。高齢期では特に差はみられませんでした。

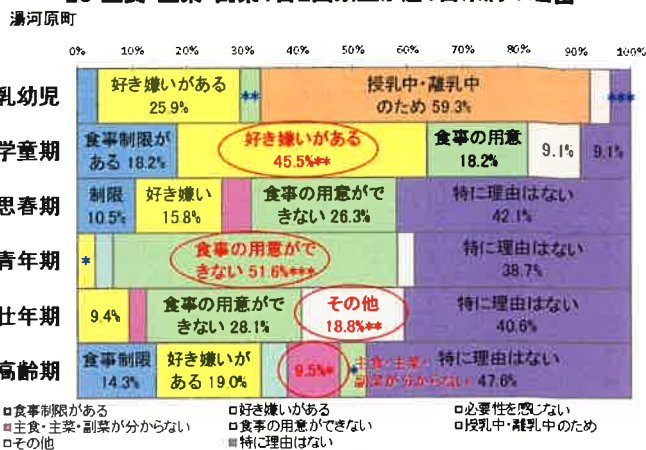
27 主食・主菜・副菜1日2回以上

(78)



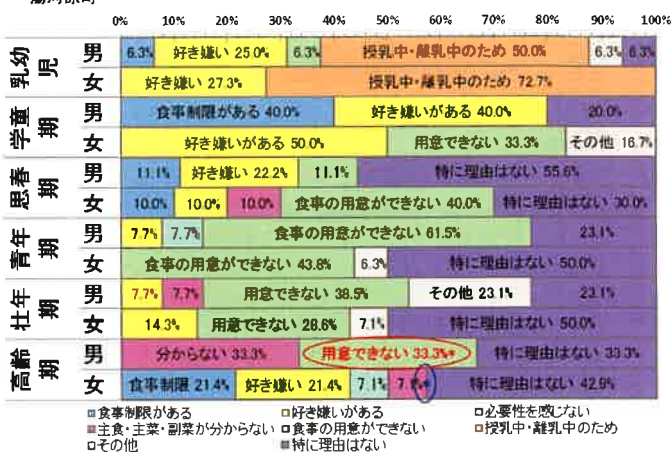
主食・主菜・副菜1日2回以上を男女別に比べてみると、高齢期では、男で「週に1日～3日」が多くなっていました。他の年代では、差はみられませんでした。

(80)



主食・主菜・副菜1日2回以上が週1日未満の理由をみると、学童期では、「好き嫌いがある」が多い。青年期では、「食事の用意ができない」が多い。壮年期では、「その他」が多い。高齢期では、「主食・主菜・副菜が分からない」が多くなっていました。

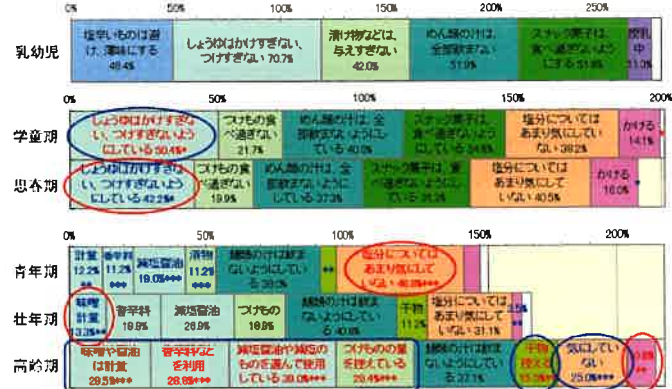
(82)



主食・主菜・副菜1日2回以上が週1日未満の理由をみると、性別では、高齢期・男で「食事の用意ができない」が多くなっていました。その他の年代では差はみられませんでした。

(84)

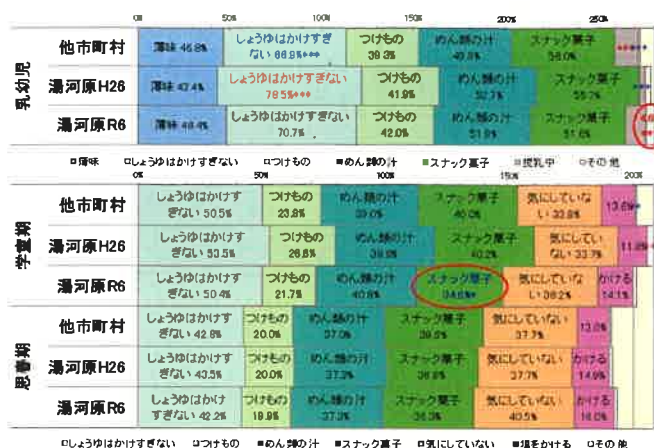
湯河原町



塩分については、乳幼児では、「しょうゆはかけすぎない、つけすぎない」、「めん類の汁は、全部飲まない」、「スナック菓子は、食べ過ぎないようにする」が多い。学童期では「しょうゆはかけすぎない、つけすぎない」が多く、思春期では少ない。青年期では、「塩分についてはあまり気にしていない」が多い。壮年期では、「味噌や醤油は計量して薄味にしている」が少ない。高齢期では、様々な対策が多いが、「味が薄い」と味気ないので、塩やしょうゆなどをかけるようにしているも多い。

29 塩分

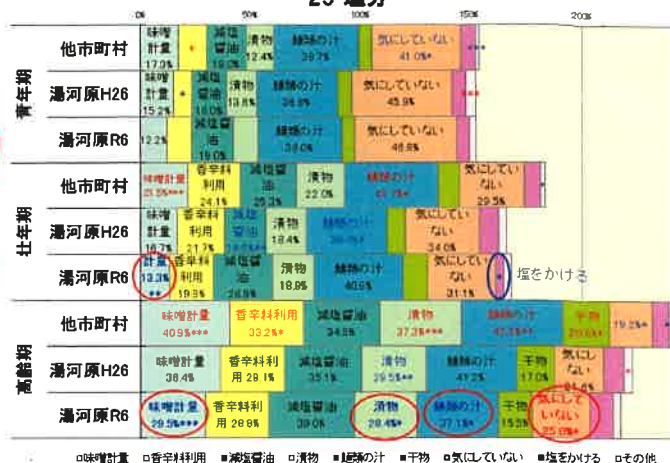
(85)



塩分について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では「その他」(あまり気にしていない)が多くなっていました。学童期では、「スナック菓子」が少なくなっていました。思春期では特に差はみられませんでした。

29 塩分

(86)

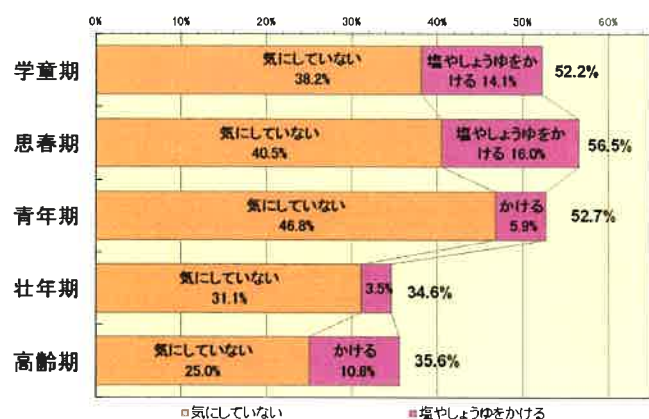


塩分について他市町村・前回と比べると、壮年期では、「味噌計量」、「塩をかける」が少ない。高齢期では、「気にしていない」が多く、「味噌計量」、「漬物」、「麺類の汁」が少ない。

29 塩分

(87)

湯河原町 塩分を気にしていない、または塩やしょうゆをかける人の割合



塩分を気にしていない、または塩やしょうゆをかける人の割合は、学童期から青年期で約半数に達します。高齢期でさえ約3割が無関心という結果になっています。

29 塩分

(88)

湯河原町 塩分を気にしていない、または塩やしょうゆをかける人の割合

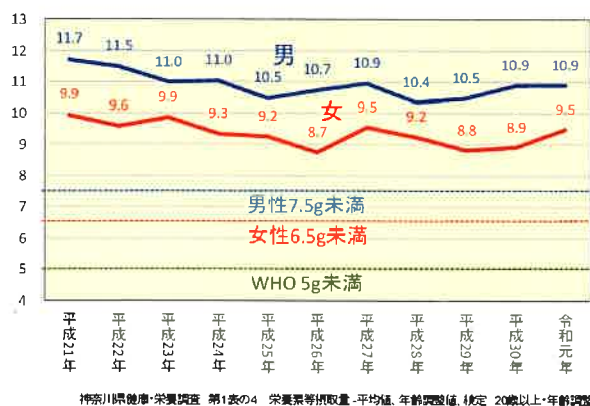


塩分を気にしていない、または塩やしょうゆをかける人の割合について他市町村・前回と比べると、壮年期で「塩やしょうゆをかける」が少なくなっていました。他の年代は、特に差はみられませんでした。

29 塩分

(89)

(参考) 神奈川県 塩分摂取状況

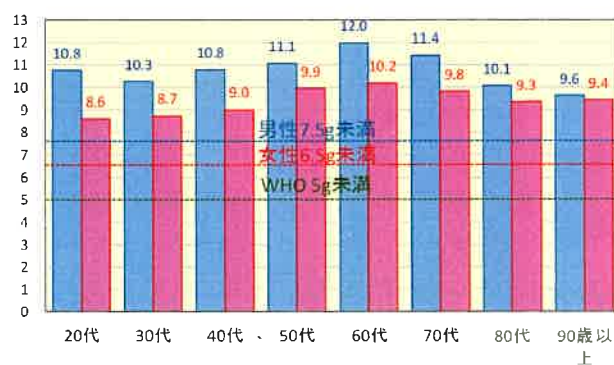


参考までに神奈川県塩分摂取量の推移をみると、男女ともほぼ横ばいになっています。ちなみにわが国の摂取基準は男性7.5g未満、女性6.5g未満とされており、はるかに多い量を摂取しています。

29 塩分

(90)

(参考) 神奈川県 塩分摂取状況



参考までに神奈川県塩分摂取量の推移をみると、男女とも60代で最も多くなっています。高血圧対策で減塩しているはずの70代以上でもあまり少なくなっています。また、女性では高齢者より20代、30代のほうが少なくなっています。

フリット(ベルギー)



	FRITES / FRIETEN
Energie	335 kcal / 1402 kJ
Matières grasses / Vetstoffen	15.5 g
Acides gras saturés / Verzadigde vetzuren	3.9 g
Glucides / Koolhydraten	45 g
Sucres / Suikers	0.1 g
Fibres / Vezelvezel	4.1 g
Sel / Zout	0.2 g

29 塩分 アメリカ



食塩 0.4g

2016年1月・ベルギー

日本



食塩相当量

0.8g

食塩 0.8g

ちなみに同じフレンチフライの各国の塩分量を比べると、元祖ベルギーは0.2g、アメリカでは0.4g、日本では0.8gとなっており、日本はアメリカの2倍、ヨーロッパの4倍の塩分量となっています。なお、日本のマックフライポテトは6年前まで1.6g、10年前までは2.5gでした。

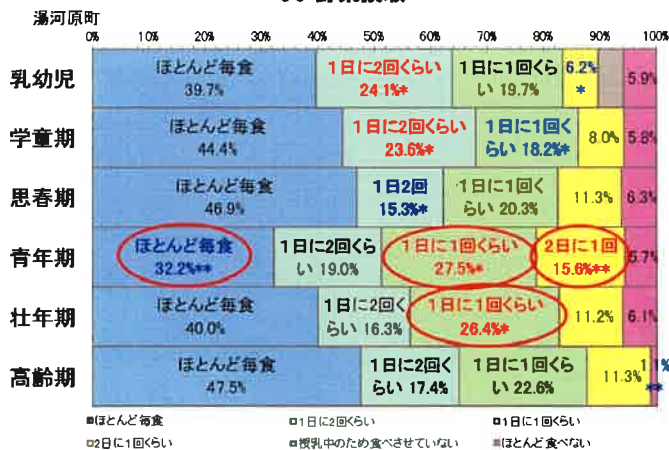
29 塩分



うどん	エネルギー 473kcal	塩分 8.0g
そば	エネルギー 501kcal	塩分 7.3g
税込価格	¥305	消費税 ¥24
税込価格	¥330	

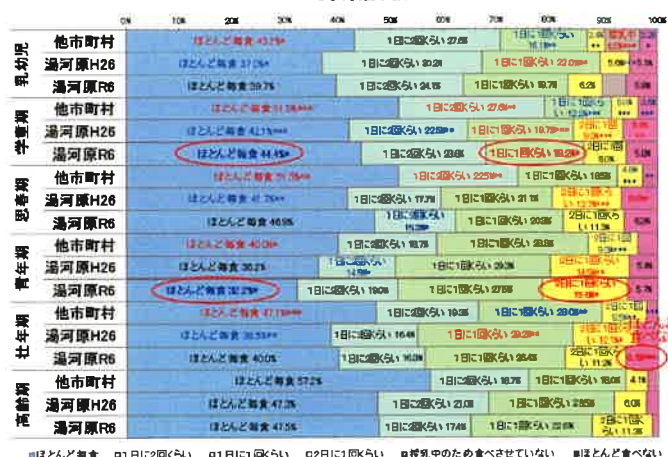
麺類は塩分が高く、ちなみにこの例ではきつねうどんは塩分8.0gとなっていて、汁を全部飲むと1日分の塩分摂取量を超えてしまいます。なお、そばとうどんでは、うどんは麺を打つ際に食塩を混ぜるため塩分が高めになります。

30 野菜摂取



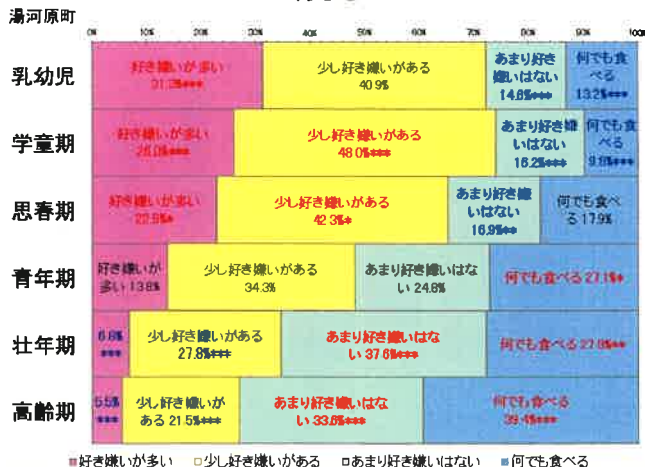
野菜摂取の頻度については、青年期では、「1日に1回くらい」、「2日に1回くらい」が多く、「ほとんど毎食」が少ない。壮年期では、「1日に1回くらい」が多い、などと摂取頻度が少なくなっていました。

30 野菜摂取



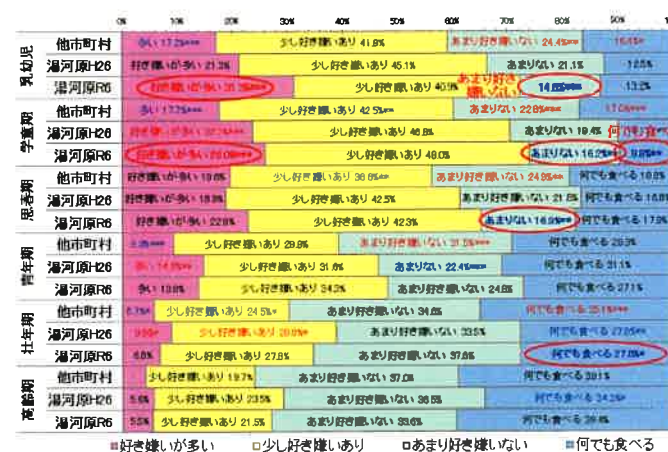
野菜摂取の頻度について他市町村・前回と比べると、学童期では、「1日に1回くらい」が多く、「ほとんど毎食」が少ない。思春期では、「1日に2回くらい」が少ない。青年期では、「2日に1回くらい」が多く、「ほとんど毎食」が少ない。壮年期では、「ほとんど食べない」が多くなっていました。

31 好き嫌い



好き嫌いが多く人は年齢が上がるにつれ少なくなり、「何でも食べる」人が多くなっていました。

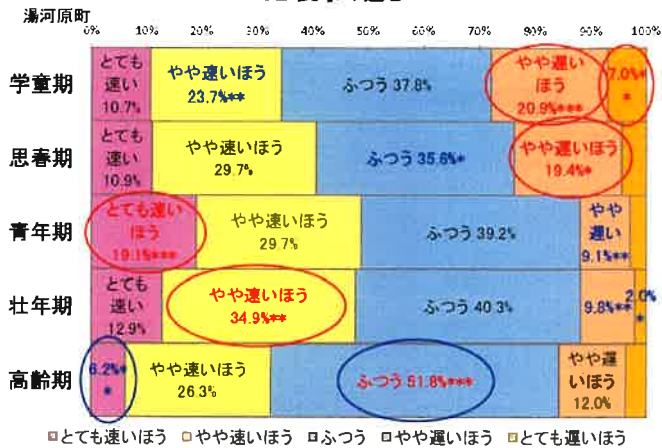
31 好き嫌い



好き嫌いについて他市町村・前回と比べると、乳幼児期では、「好き嫌いが多い」が多く、「あまり好き嫌いがない」が少ない。学童期では、「好き嫌いが多い」が多く、「あまり好き嫌いがない」、「何でも食べる」が少ない。思春期では、「あまり好き嫌いがない」が少ない。壮年期では、「何でも食べる」が少ない、などとなっていました。

32 食事の速さ

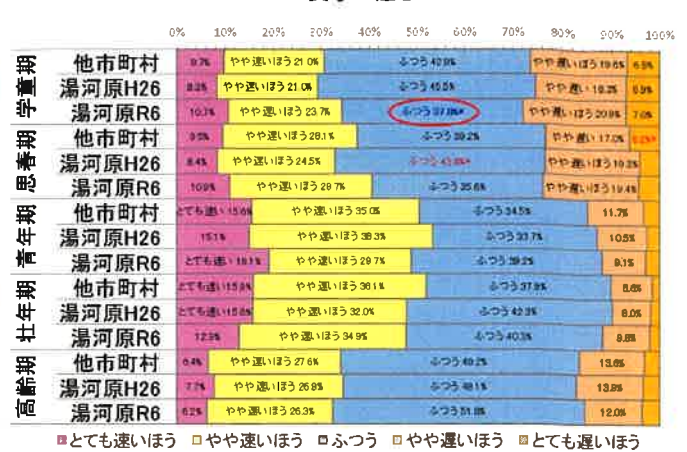
(97)



食事の速さについては、学童期では、「やや遅いほう」、「とても遅いほう」が多い。思春期では、「やや遅いほう」が多い。青年期では、「とても速いほう」が多い。壮年期では、「やや速いほう」が多い。高齢期では、「ふつう」が多く、「とても速いほう」が少ない、などとなっています。

32 食事の速さ

(98)



食事の速さについて他市町村・前回と比べると、学童期で、「ふつう」が少ない程度で、大差ありませんでした。

33 肉、魚、卵、豆腐、納豆の摂取

(99)



高齢者についてはたんぱく質の摂取が低いための低栄養が想定されるため、たんぱく質の摂取について質問しました。その結果、性別、年齢別とも、特に差はみられませんでした。

33 肉、魚、卵、豆腐、納豆の摂取

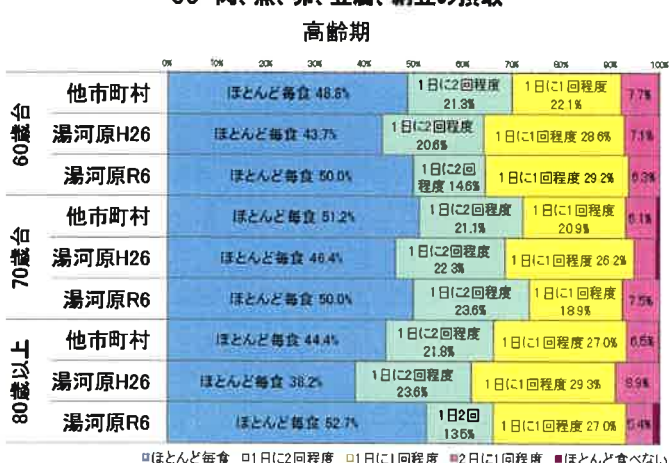
(100)



肉、魚、卵、豆腐、納豆の摂取について他市町村・前回と比べると、性別には、特に差はみられませんでした。

33 肉、魚、卵、豆腐、納豆の摂取

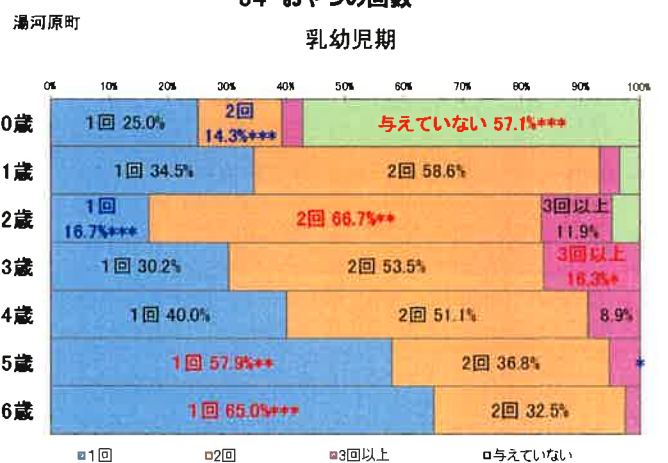
(101)



肉、魚、卵、豆腐、納豆の摂取について他市町村・前回と比べると、70歳台では、「ほとんど毎食」が多くなっていました。他の年代では特に差はみられませんでした。

34 おやつ回数

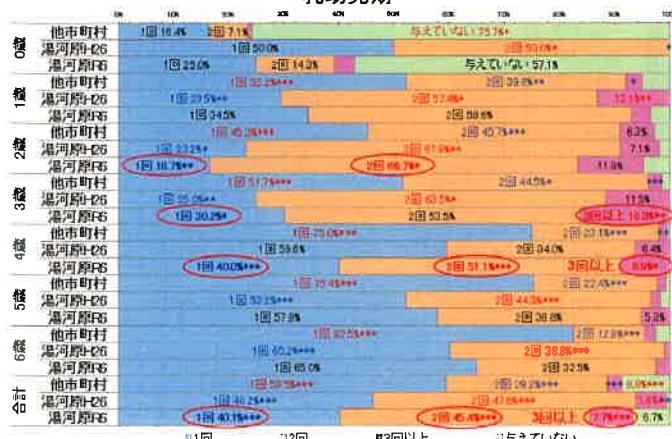
(102)



おやつ回数については、0歳では、「与えていない」が多い。また、2歳以上では年齢が上がるほど「1回」が多くなっていました。

34 おやつ回数
乳幼児期

(103)



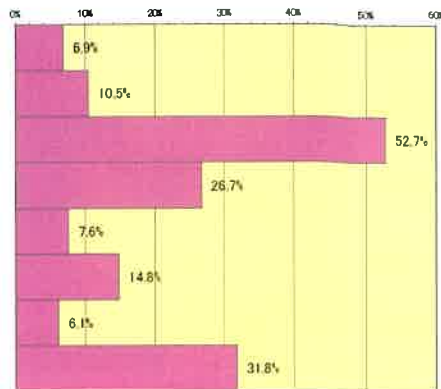
おやつ回数について他市町村・前回と比べると、2歳では、「2回」が多く、「1回」が少ない。3歳では、「3回以上」が多く、「1回」が少ない。4歳では、「2回」、「3回以上」が多く、「1回」が少なくなっていました。合計でも、「2回」、「3回以上」が多く、「1回」が少なくなっていました。

35 おやつ配慮
乳幼児期

(104)

湯河原町

手作りのもの
カロリー(エネルギー)
量
成分
産地
栄養
その他
特になし



おやつ配慮については、「量」が最も多く、次いで「成分」、「特になし」の順となっていました。

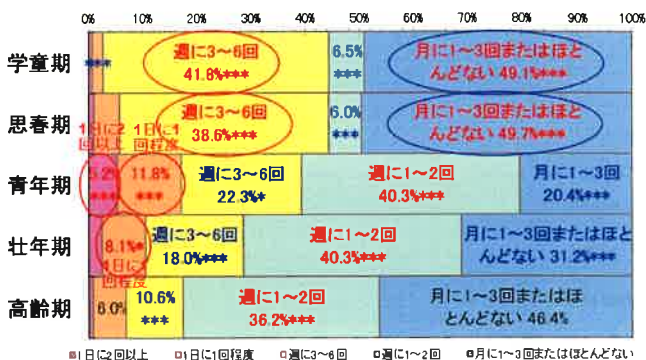
35 おやつ配慮
乳幼児期

(105)

湯河原町

36 外食・弁当・惣菜の頻度

(106)



おやつ配慮について他市町村・前回と比べると、「特になし」が多く、「手作りのもの」、「量」、「産地」が少なくなっていました。

外食・弁当・おかずの頻度については、学童期、思春期では、「週に3~6回」と「月に1~3回またはほとんどない」に二極化していました。青年期では、「1日に2回以上」、「1日に1回程度」が多く、利用頻度が最も高くなっていました。壮年期も「1日に1回程度」が多くなっていました。高齢期では、利用頻度が最も低くなっていました。

36 外食・弁当・惣菜の頻度

(107)

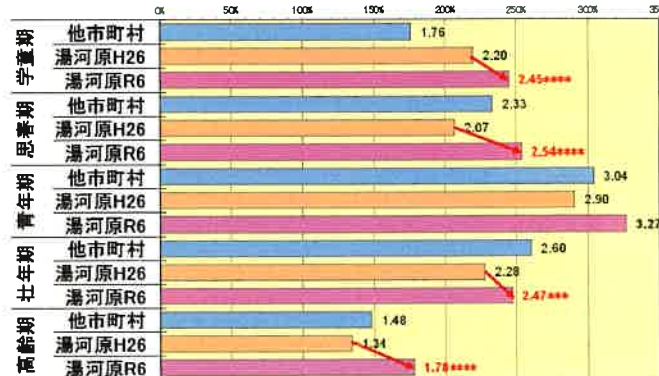
36 外食・弁当・惣菜の頻度

(108)

平均利用頻度(週当たり回数)

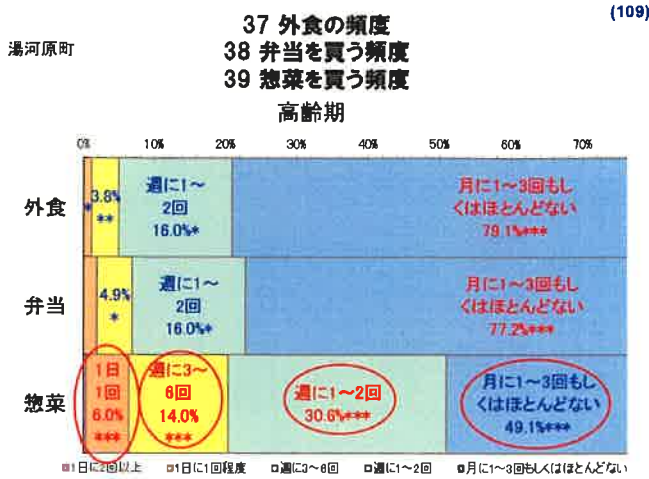


外食・弁当・おかずの頻度について他市町村、前回と比べると、いずれの年代でも利用頻度が上がっていました。



※検定方法はt検定

外食・弁当・おかずの頻度について他市町村、前回と比べると、学童期、思春期、壮年期、高齢期で利用頻度が上がっていました。青年期は差はみられませんでした。



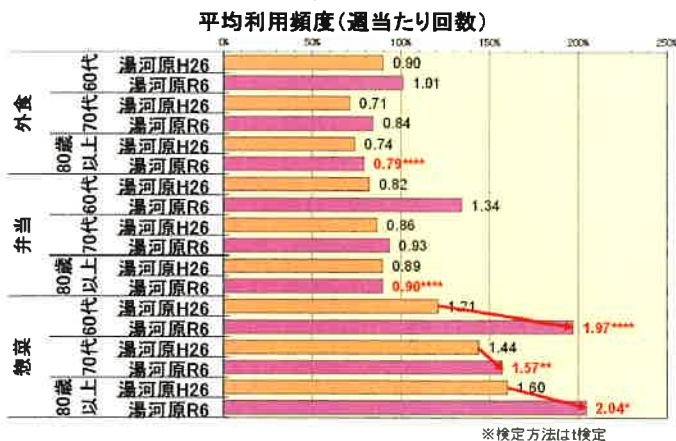
外食・弁当・おかずの頻度について高齢期の年齢別にみると、いずれの年齢層でも「月に1~3回もしくはほとんどない」が少なくなっており、「週に1~2回」が多くなっており、利用頻度が上がっていました。

外食・弁当・おかずの頻度について高齢期の年齢別にみると、弁当では、60代で「週に3~6回」が多く、「月に1~3回もしくはほとんどない」が少ない。70代で「週に1~2回」が多く、「月に1~3回もしくはほとんどない」が少ない、など利用頻度が上がっていました。惣菜では、60代で「1日に1回程度」が多く、「月に1~3回もしくはほとんどない」が少なくなっていました。



37 外食の頻度 38 弁当を買う頻度 39 惣菜を買う頻度 (111)

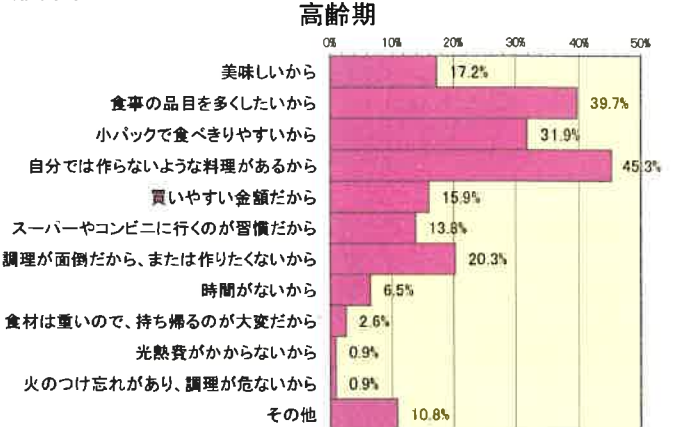
湯河原町 高齢期



外食・弁当・おかずの頻度について前回とくらべると、外食では80歳以上、弁当でも80歳以上で利用頻度が上がっていました。惣菜ではすべての年代で利用頻度が上がっていました。

40 惣菜購入理由 (112)

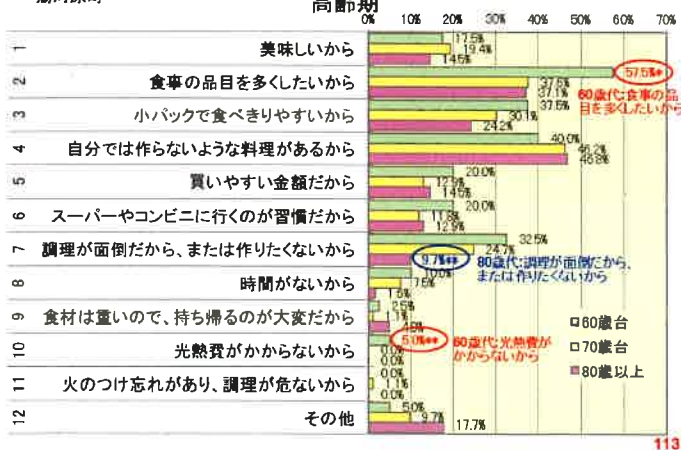
湯河原町 高齢期



なぜ惣菜を購入するのかについては、「自分では作らないような料理があるから」、「食事の品目を多くしたいから」、「小パックで食べやすいから」などが多くなっていました。

40 惣菜購入理由 (113)

湯河原町 高齢期



惣菜購入理由について年代別でみると、60歳台では、「食事の品目を多くしたいから」、「光熱費がかからないから」が多い。80歳以上では、「調理が面倒だから、または作りたくないから」が少なくなっていました。

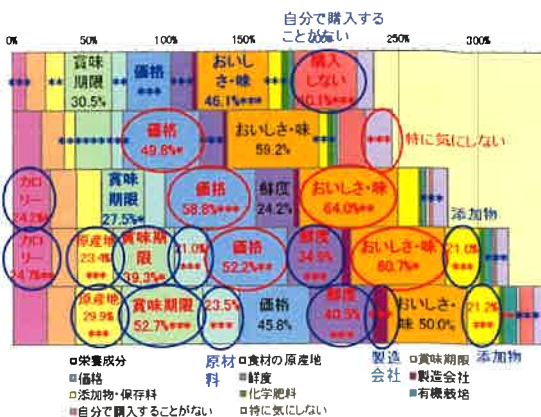
40 惣菜購入理由 (114)

湯河原町 高齢期



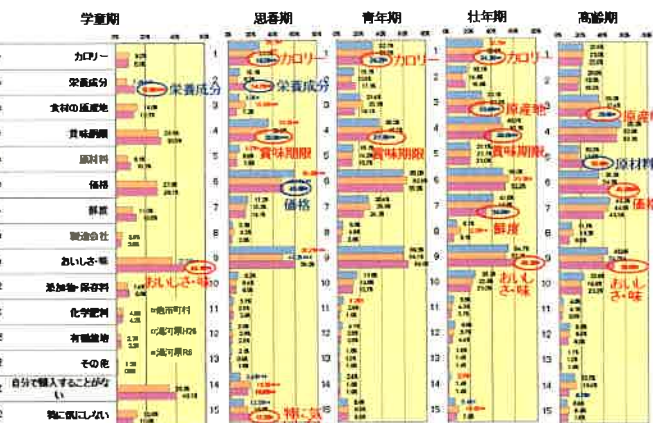
惣菜購入理由について年代別でみると、1位は、60歳台では「食事の品目を多くしたいから」。70歳台、80歳以上では、「自分では作らないような料理があるから」となっていました。

(116)



食材・食料品選択のポイントについては、学童期では、「自分で購入することがない」が多い。思春期では、「価格」、「特に気にしない」が多い。青年期では、「カロリー」、「価格」、「おいしさ・味」が多い。壮年期、高齢期では、配慮する点が多くなっていました。

(118)



食品購入の際の配慮について他市町村・前回と比べると、学童期では、「おいしさ・味」が多い。思春期では、「カロリー」、「賞味期限」が少なく、「特に気にしない」が多い。青年期では、「カロリー」、「賞味期限」が少ない。壮年期では、「おいしさ・味」が多く、「カロリー」、「食材の原産地」、「賞味期限」、「鮮度」が少ない。高齢期では、「価格」、「おいしさ・味」が多いなど、全体的に意識が低下していた。

(120)



食生活で困っていることを順位別にみると、青年期では、男性は「食事時間が不規則」、「早食い」、「食べすぎる」の順でした。女性は「緑黄色野菜が少なすぎる」、「摂取品目が少ない」、「食べ過ぎる」の順でした。壮年期では、男性は「緑黄色野菜が少なすぎる」、「早食い」、「果物類が少なすぎる」の順でした。女性は「食べすぎる」、「緑黄色野菜が少なすぎる」、「摂取品目が少ない」の順となっていました。

42 食生活の課題(順位)

(121)

順位	高齢期・男	順位	高齢期・女
1	特に課題はない	1	特に課題はない
2	緑黄色野菜が少なすぎる	2	ひとりで食べる量が多い
3	早食い	3	緑黄色野菜が少なすぎる
4	脂肪の多い料理や油を使った料理が多すぎる	4	摂取品目が少ない
5	果物類が少なすぎる	5	果物類が少なすぎる
6	甘い飲み物やスナック菓子が多すぎる	6	早食い
7	食事が早い	7	脂肪の多い料理や油を使った料理が多すぎる
8	食事が遅い	8	水分が多すぎる
9	適切な食事の量や内容が分らない	9	食量の減少
10	摂取品目が少ない	10	食べすぎる
11	食事時間が不規則	11	牛乳・乳製品が少なすぎる
12	牛乳・乳製品が少なすぎる	12	果物類が多すぎる
13	肉や魚が少なすぎる	13	水分が多すぎる
14	塩分が多すぎる	14	食量の減少
15	夕食が早い	15	食べすぎる
16	脂肪の多い料理や油を使った料理が多すぎる	16	牛乳・乳製品が少なすぎる
17	食事が早い	17	果物類が多すぎる
18	肉や魚が多すぎる	18	水分が多すぎる
19	適切な食事の量や内容が分らない	19	食量の減少
20	早食い	20	早食い
21	果物類が多すぎる	21	脂肪の多い料理や油を使った料理が多すぎる
22	水分が多すぎる	22	牛乳・乳製品が少なすぎる
23	その他	23	果物類が多すぎる
24	緑黄色野菜が多すぎる	24	水分が多すぎる
25	早食いやサプリメントが多すぎる	25	食量の減少

食生活で困っていることを順位別にみると、高齢期では、男女とも「特に課題はない」が1位となっており、女性の2位は「ひとりで食べる量が多い」となっており、介入の難しさが想定されます。

42 食生活の課題
(その他記述)

(123)

青年期	壮年期	高齢期	
(男)ラーメンが好き (男)治療薬の副作用の影響で、自分自身で食事管理をしているため当てはまる項目がない。 (女)糖質が多い (女)一人暮らしなのでメニューが同じようなものばかりになってしまう (女)たんぱく質・脂質・糖質のバランス	(男)年齢相応の量を摂っているのか、また相応の肉や魚の量なのか。 (女)メニューが偏っている 作る気力がない時がある	(男)美味しいものが少ない (男)糖尿病食で自分に合った糖摂取と服薬のバランスを模索中 (女)1つの食材を使い切るのに何日もかかる (女)量的に食べ方がすくないかな。おかずを全部食べるように心掛けている。	(女)味付けが甘すぎる。砂糖が多い。 (女)マルチビタミン、食物繊維とかオリゴ糖等々1日の不足分補う飲むこと (女)サプリメントは一切なし (女)あまり考えない (女)胃がんで、1/3しか胃がないので、分食4-5回/1日しているため。食事後1時間は安静となり歩かないようにしている (女)食料品調達が不自由。宅配(牛乳・ヨーグルト・新鮮品)不可。再考を

食生活の課題としてその他の記述のあったものを挙げました。

43 食育関心

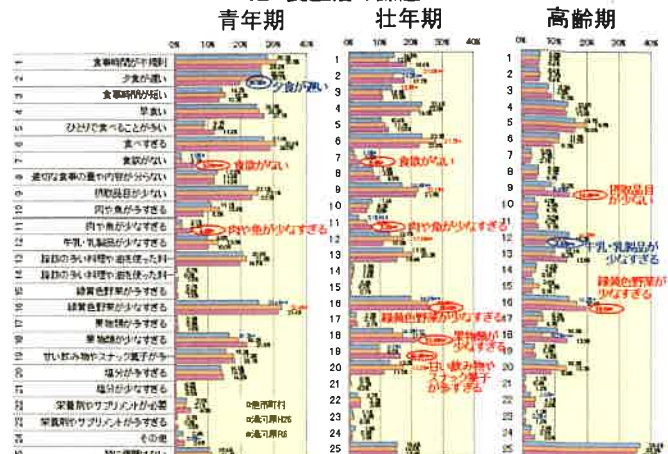
(125)

他市町村	湯河原H26	湯河原R6	他市町村	湯河原H26	湯河原R6
子どもの生き生きと健康に暮らすための食の知識 45.1%	子どもの生き生きと健康に暮らすための食の知識 45.1%	子どもの生き生きと健康に暮らすための食の知識 51.0%	子どもの生き生きと健康に暮らすための食の知識 45.1%	子どもの生き生きと健康に暮らすための食の知識 45.1%	子どもの生き生きと健康に暮らすための食の知識 51.0%
毎日健康に暮らすための食の知識 54.3%	毎日健康に暮らすための食の知識 54.3%	毎日健康に暮らすための食の知識 51.0%	毎日健康に暮らすための食の知識 54.3%	毎日健康に暮らすための食の知識 54.3%	毎日健康に暮らすための食の知識 51.0%
食文化 21.5%	食文化 21.5%	食文化 20.5%	食文化 21.5%	食文化 21.5%	食文化 20.5%
自然への感謝 27.6%	自然への感謝 27.6%	自然への感謝 21.4%	自然への感謝 27.6%	自然への感謝 27.6%	自然への感謝 21.4%
食品の安全性 40.4%	食品の安全性 40.4%	食品の安全性 25.7%	食品の安全性 40.4%	食品の安全性 40.4%	食品の安全性 25.7%
海外依存 20.4%	海外依存 20.4%	海外依存 10.1%	海外依存 20.4%	海外依存 20.4%	海外依存 10.1%
地産地消 20.2%	地産地消 20.2%	地産地消 10.1%	地産地消 20.2%	地産地消 20.2%	地産地消 10.1%
食料 24.7%	食料 24.7%	食料 24.7%	食料 24.7%	食料 24.7%	食料 24.7%
消費者と生産者の間の交流、生産者の顔の見える販売方法 24.7%	消費者と生産者の間の交流、生産者の顔の見える販売方法 24.7%	消費者と生産者の間の交流、生産者の顔の見える販売方法 24.7%	消費者と生産者の間の交流、生産者の顔の見える販売方法 24.7%	消費者と生産者の間の交流、生産者の顔の見える販売方法 24.7%	消費者と生産者の間の交流、生産者の顔の見える販売方法 24.7%
特にない	特にない	特にない	特にない	特にない	特にない

食育についての関心について他市町村・前回と比べると、青年期では、「子どもが生き生きと健康に暮らすための食の知識」、「食を通じて人や自然への感謝の気持ちを持つ」、「食品の安全性(放射能問題、食品栄養表示など)」、「食料の海外依存や輸入問題(TPP、FTA問題など)」が少ない。壮年期では、「特にない」が多く、「食を通じて人や自然への感謝の気持ちを持つ」、「食品の安全性(放射能問題、食品栄養表示など)」、「消費者と生産者の間の交流、生産者の顔の見える販売方法」が少ないなど、全般的に、食育についての関心が下がったことがうかがえます。

42 食生活の課題

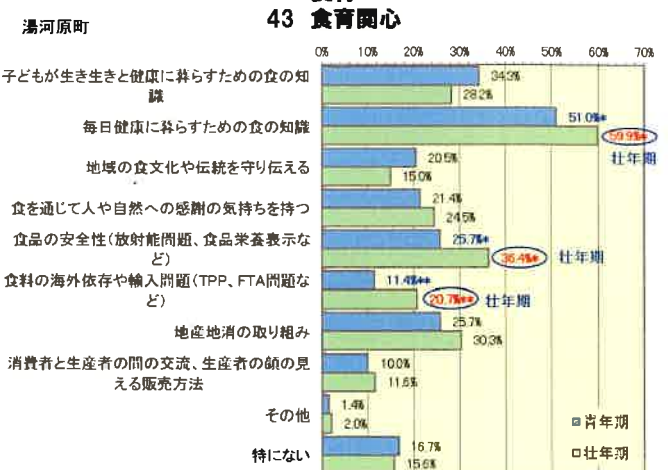
(122)



食生活の課題について他市町村・前回と比べると、青年期では、「食欲がない」、「肉や魚が少なすぎる」が多い。壮年期では、「食欲がない」、「肉や魚が少なすぎる」、「緑黄色野菜が少なすぎる」、「果物類が少なすぎる」、「甘い飲み物やスナック菓子が多すぎる」が多い。高齢期では、「摂取品目が少ない」、「緑黄色野菜が少なすぎる」が多い、などとなっていました。

43 食育関心

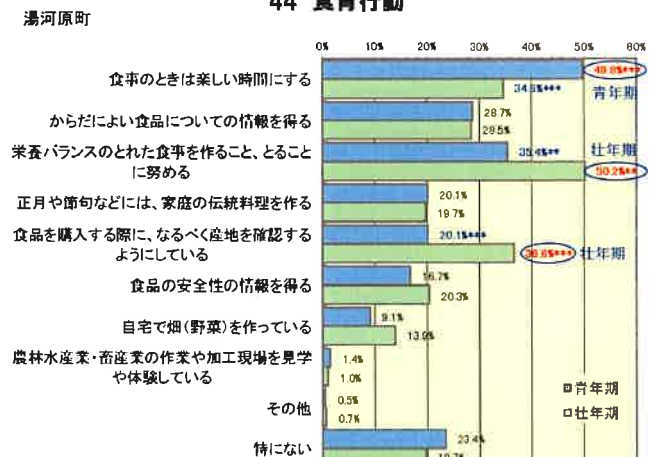
(124)



食育についての関心については、壮年期で、青年期より「毎日健康に暮らすための食の知識」、「食品の安全性(放射能問題、食品栄養表示など)」、「食料の海外依存や輸入問題(TPP、FTA問題など)」が多くなっています。

44 食育行動

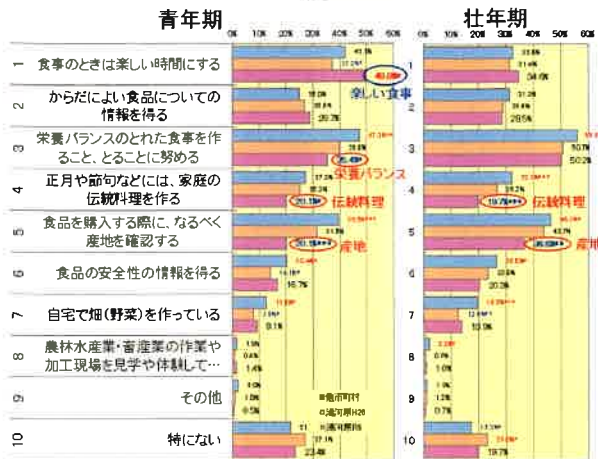
(126)



食育についての行動については、青年期では、「食事のときは楽しい時間にする」が多く、壮年期では、「栄養バランスのとれた食事を作る、とることに努める」、「食品を購入する際に、なるべく産地を確認するようにしている」が多くなっていました。

44 食育行動

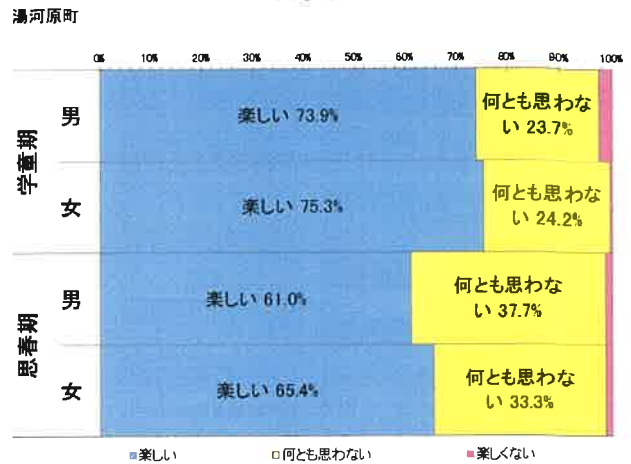
(127)



食育行動について他市町村・前回と比べると、青年期では、「食事のときは楽しい時間にする」が多く、「栄養バランスのとれた食事を作ること、とることに努める」、「正月や節句などには、家庭の伝統料理を作る」、「食品を購入する際に、なるべく産地を確認する」が少ない。壮年期でも、「正月や節句などには、家庭の伝統料理を作る」、「食品を購入する際に、なるべく産地を確認する」が少ない、など全体的に食育行動が少なくなっていました。

45 食事楽しいか

(128)



食事が楽しいかについては、学童期と思春期の男女別で特に差はみられませんでした。

45 食事楽しいか

(129)

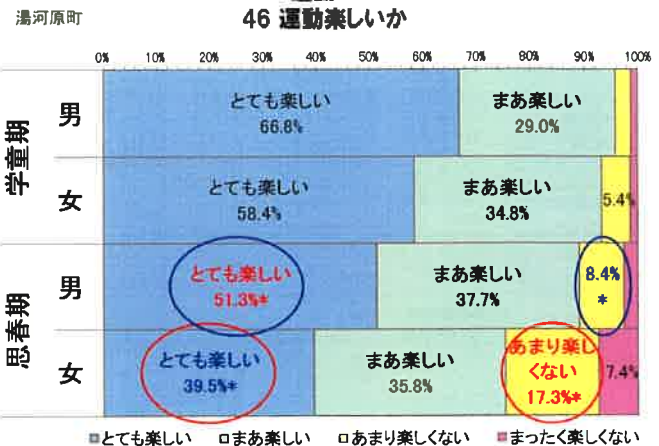


食事が楽しいかについて他市町村・前回と比べると、思春期男性で「なんとも思わない」が少なくなっていました。他は特に差はみられませんでした。

運動

(130)

46 運動楽しいか



運動が楽しいかという問いでは、学童期では特に差はみられませんでした。思春期では女性で「とても楽しい」が少なく、「あまり楽しくない」が多くなっていました。

46 運動楽しいか

(131)



運動が楽しいかについて他市町村・前回と比べると、思春期女性で「まったく楽しくない」が多くなっていました。他は特に差はみられませんでした。

47 運動の頻度

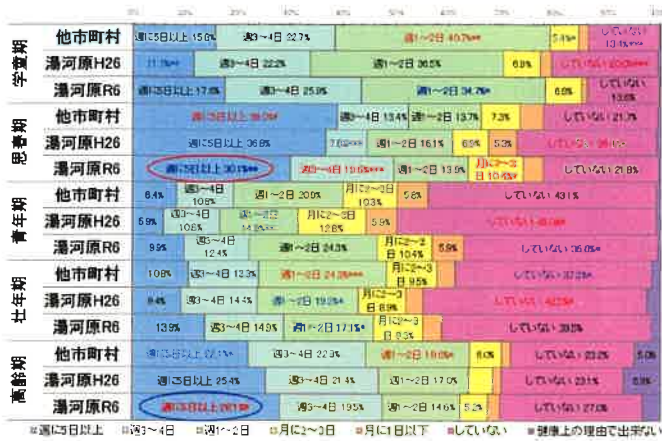
(132)



運動の頻度については、運動を週5日以上しているのは思春期、高齢期が多くなっていました。一方していない人は、青年期、壮年期が多くなっていました。

47 運動の頻度

(133)



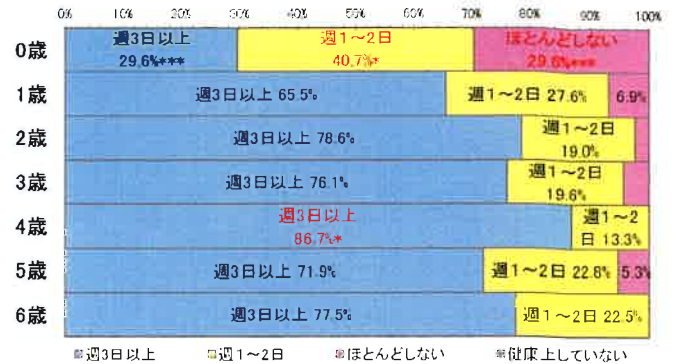
運動の頻度について他市町村・前回と比べると、思春期では、「週に5日以上」が少ない。高齢期では、「週に5日以上」が多くなっていました。

48 外遊び

(134)

湯河原町

乳幼児期



乳幼児期の外遊びについては、0歳では、「週1~2日」、「ほとんどしない」が多く、「週3日以上」が少ない。4歳では、「週3日以上」が多い、などとなっています。その他の年齢では特に差はみられませんでした。

乳幼児期

48 外遊び

(135)

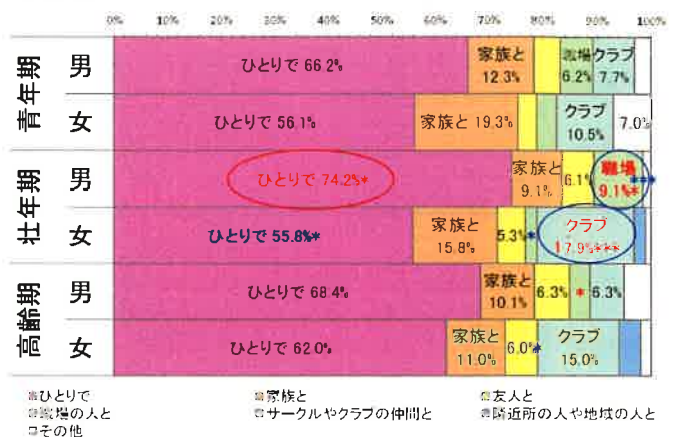


乳幼児期の外遊びについて他市町村・前回と比べると、5歳で「ほとんどしない」が多い程度で、特に差はみられませんでした。

49 運動仲間

(136)

湯河原町



運動仲間は、壮年期の男性では「ひとりで」が多く、女性では「サークルやクラブの仲間と」が多くなっていました。青年期では特に差はみられませんでした。

49 運動仲間

(137)



運動仲間について他市町村・前回と比べると、壮年期男性では、「職場の人と」が多く、「サークルやクラブの仲間と」が少ない。高齢期男性では、「職場の人と」が多くなっていました。その他は特に差はみられませんでした。

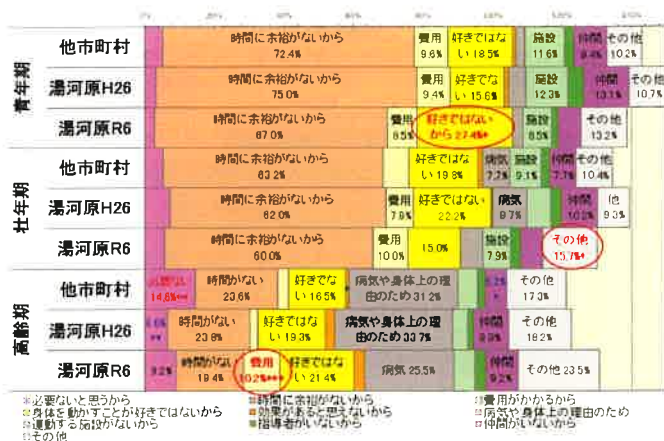
50 運動しない理由

(138)

湯河原町

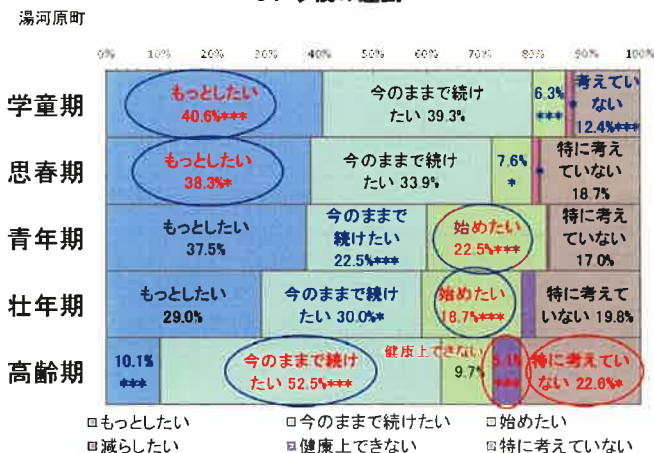


(139)



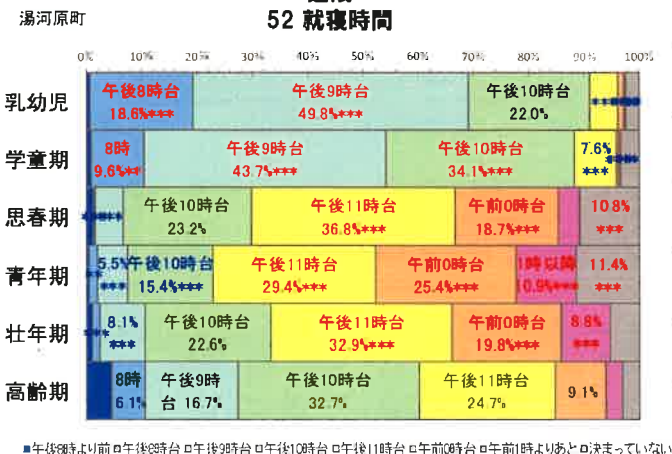
運動しない理由について他市町村・前回と比べると、青年期では、「身体を動かすことが好きではないから」が多い。壮年期では、「その他」が多い。高齢期では、「費用がかかるから」が多い、などとなっていました。

(141)



今後の運動については、学童期、思春期では、「もっとしたい」が多い。青年期、壮年期では、「始めたい」が多い。高齢期では、「今のままで続けたい」が多いが、「健康上できない」、「特に考えていない」も多くなっていました。

(143)



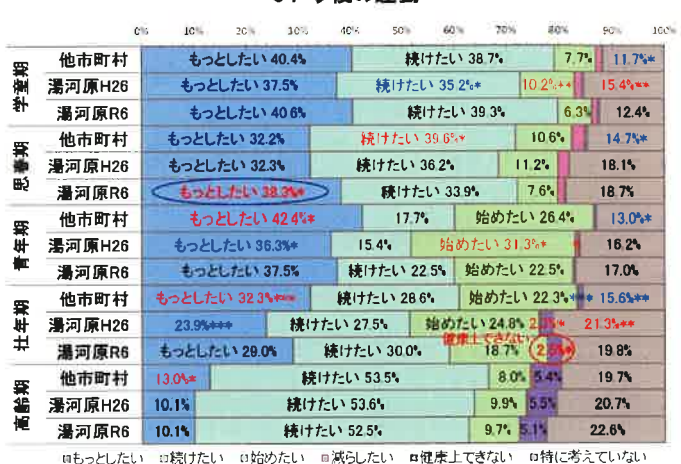
就寝時間は、青年期が最も遅く、その前後の年代では早い傾向を示しています。

(140)



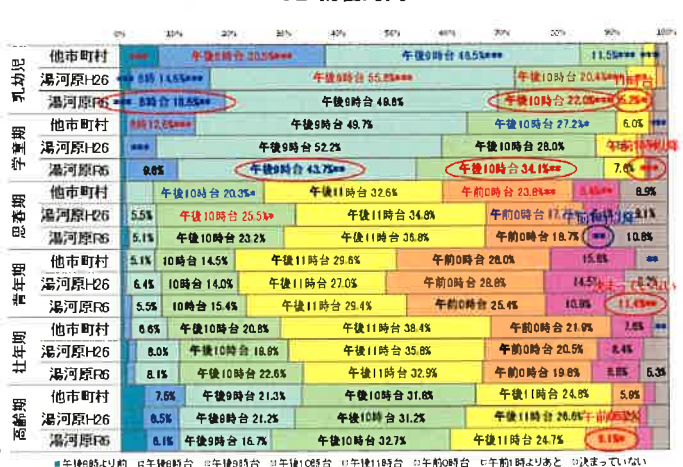
運動しない理由のその他の記述では、どの年代でも「仕事や家事で体を動かしているから十分」という内容が多くなっていました。青年期では「面倒、やる気がでない」が最も多くなっていました。高齢期では「家事や買い物でよく動いているから」が多くなっていました。

(142)



今後の運動について他市町村・前回と比べると、思春期では、「もっとしたい」が多い。壮年期では、「健康上できない」が多い程度で、大きな差はみられませんでした。

(144)



就寝時間について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では、「午後8時より前」、「午後8時台」が少なく、「午後10時台」、「午後11時台」が多い。学童期では、「午後9時台」が少なく、「午後10時台」、「午前1時よりあと」が多い。思春期では、「午前1時よりあと」が少ない。青年期では、「決まっていない」が多い。高齢期・湯河原R6では、「午前0時台」が多い、などとなっていました。

53 睡眠時間

(145)



睡眠時間が最も少ないのは壮年期で、その前後の年代では多い傾向を示していました。

53 睡眠時間

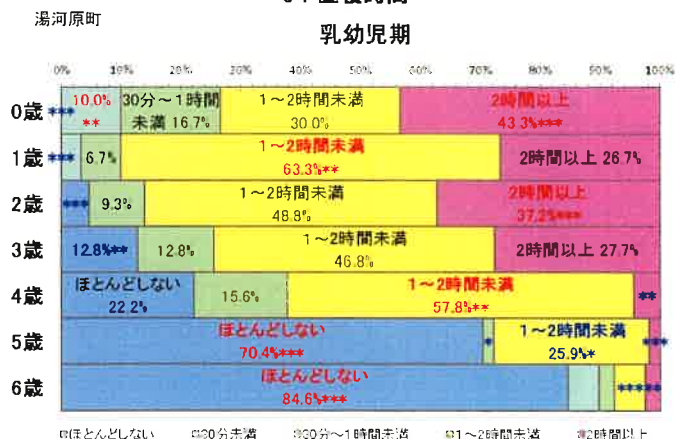
(146)



睡眠時間について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では、「5時間台」、「6時間台」、「8時間台」、「9時間台」が多く、「10時間以上」が少ない。思春期では、「7～8時間台」、「8～9時間台」、「9時間以上」が多く、「4～5時間台」、「6～7時間台」が少ない。壮年期では、「8～9時間台」が少ない。高齢期・湯河原R6では、「4～5時間台」、「5～6時間台」が多く、「8～9時間台」が少ない、などとなっています。

54 昼寝時間

(147)



乳幼児期の昼寝時間は、年齢が上がるほど「ほとんどしない」が多くなっています。

54 昼寝時間

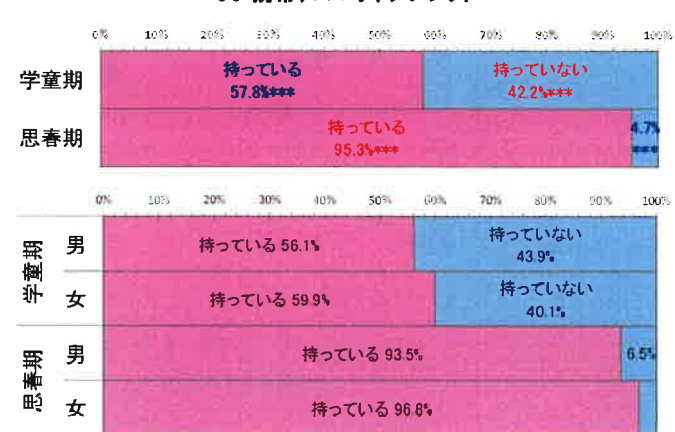
(148)



昼寝時間について他市町村・前回と比べると、0歳では、「30分未満」が多い。2歳では、「2時間以上」が多い。3歳・湯河原R6では、「2時間以上」が多く、「ほとんどしない」が少ない。4歳・湯河原R6では、「1～2時間未満」が多く、「ほとんどしない」が少ない。5歳・湯河原R6では、「30分～1時間未満」が少ないなど、3歳～5歳で長めになっています。これは、乳幼児期で睡眠時間が少ないことと関連している可能性があります。

55 携帯、スマホ、タブレット

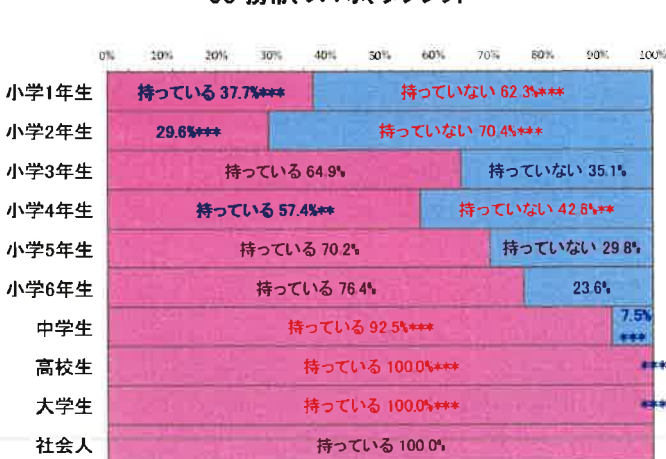
(149)



携帯、スマホ、タブレットの保有状況では、学童期より思春期のほうが「持っている」人が多くなっていました。男女別には特に差はみられませんでした。

55 携帯、スマホ、タブレット

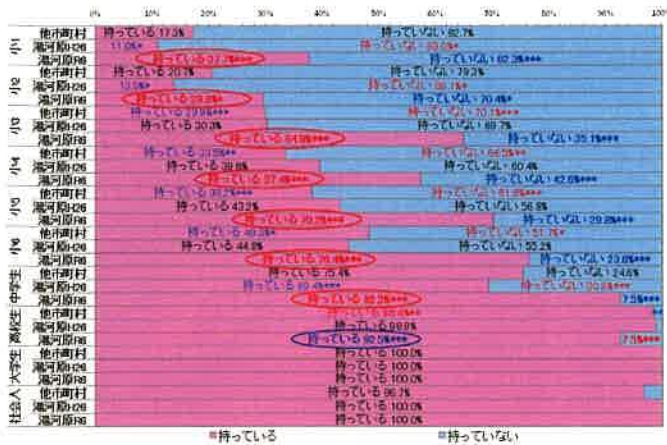
(150)



携帯、スマホ、タブレットの保有状況を学年別にみると、学年が上がるほど保有率が増加する傾向がみられました。特に高校生以上では保有率が100%となっています。

55 携帯、スマホ、タブレット

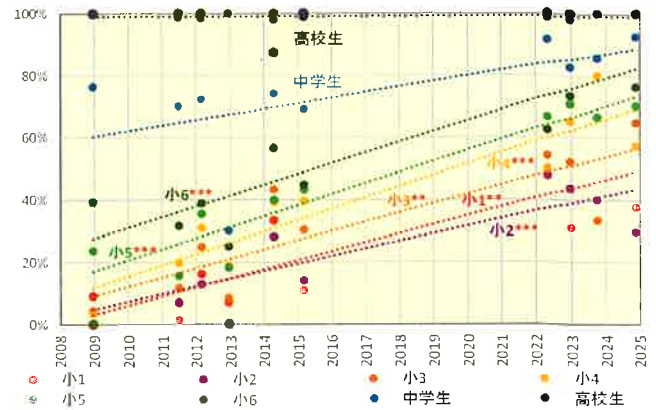
(151)



携帯、スマホ、タブレットを持っている比率を他市町と比べると、小学1年生から6年生、中学生で「持っている」子が多くなっていました。高校生は「持っている子」が少なく、「持っていない子」が多くなっていました。大学生以上は差はみられませんでした。

55 携帯、スマホ、タブレット 持っている比率年次推移

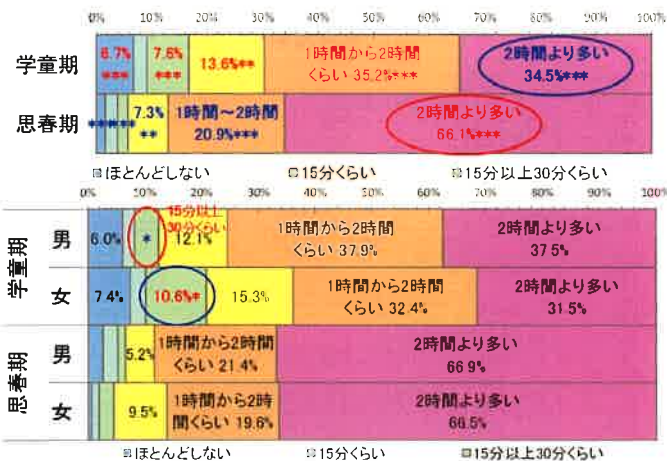
(152)



携帯、スマホ、タブレットを持っている比率を調査年ごとに表示すると、小学1年生から小学6年生が顕著に増加していました。

56 ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間

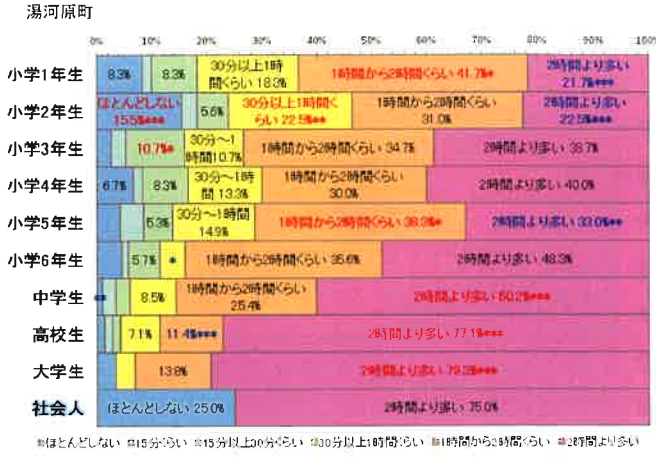
(153)



ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間では、思春期では「2時間以上」が多く、学童期では少なくなっていました。性別には、学童期の男子で「15分以上30分くらい」が少なく、女子で多くなっていました。

56 ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間

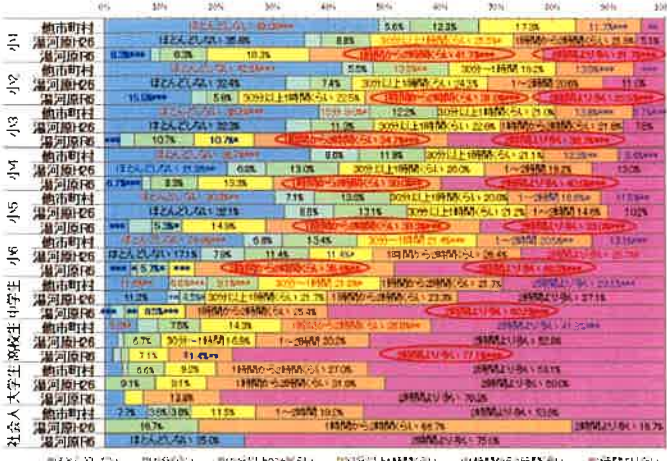
(154)



ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間を学年・年齢別にみると、年齢が上がるにつれ多くなる傾向がうかがえます。

56 ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間

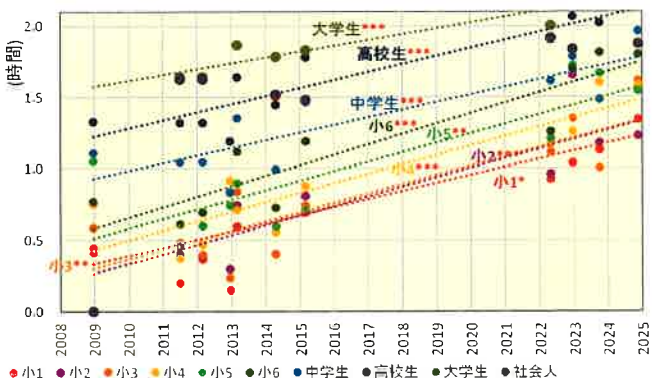
(155)



ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間について他市町村・前回と比べてみると、小学1年生から高校生で「2時間より多い」人が多くなっています。

56 ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間 平均時間年次推移

(156)



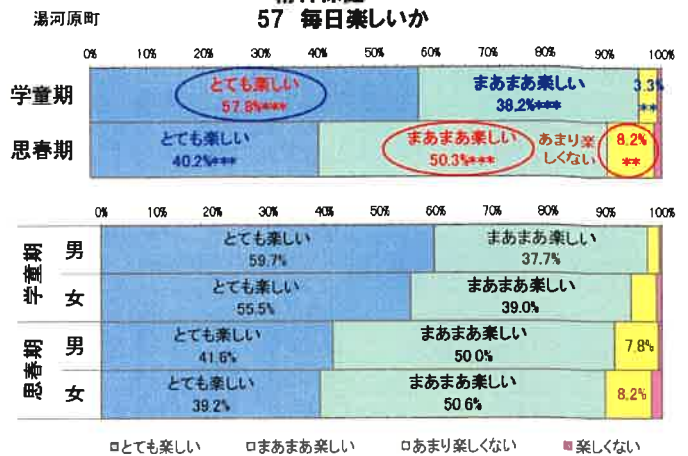
ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間の平均時間を調査年ごとに表示すると、社会人以外は顕著に増加していました。

(157)



ゲーム・メール・SNS・動画視聴時間について直近他市町村の調査である逗子市R4、松田町R4、清川村R5と比べてみると、小学3年生、小学4年生、小学6年生、中学生、高校生では、「2時間より多い」が多くなっていました。

(158)



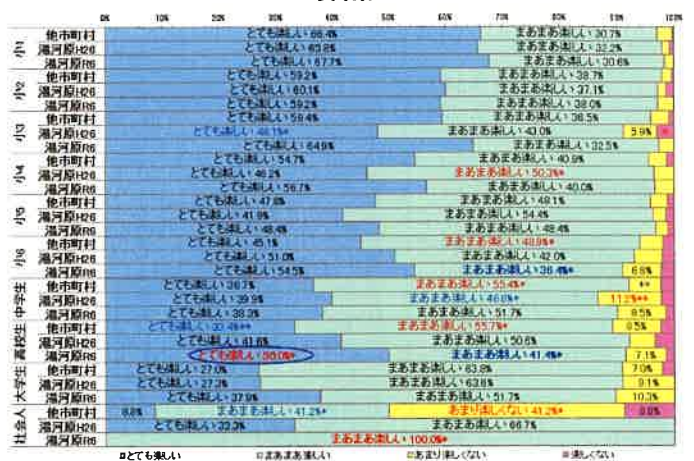
毎日がとても楽しい子は学童期で多く、思春期では少なくなっていました。性別では、特に差はみられませんでした。

(159)



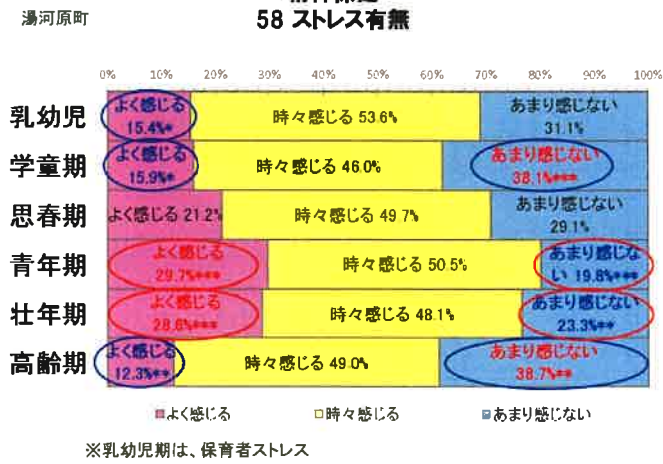
毎日楽しいかについては、学年別にみると、「とても楽しい」が小学1年生、3年生では多く、中学生では少なくなっていました。全体的に、年齢が上がると「とても楽しい」が少なくなる傾向を示しています。

(160)



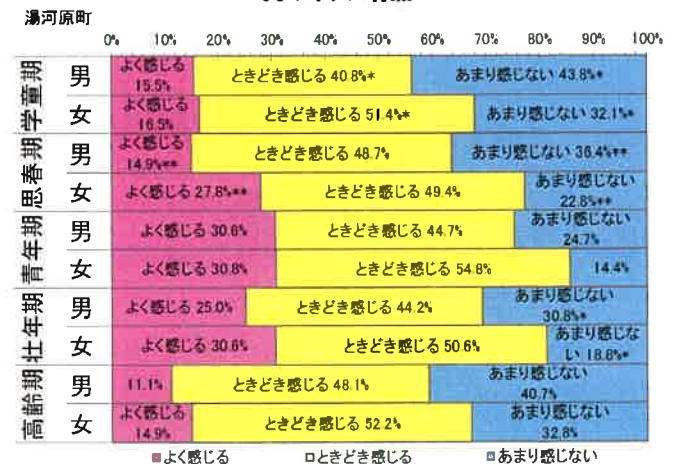
毎日楽しいかについては、他の調査とくらべると、高校生で「とても楽しい」が多い程度で、全体的にはあまり差は見られませんでした。

(161)



ストレスの有無では、よく感じる人は青年期、壮年期で多く、乳幼児期、学童期、高齢期で少なくなっていました。

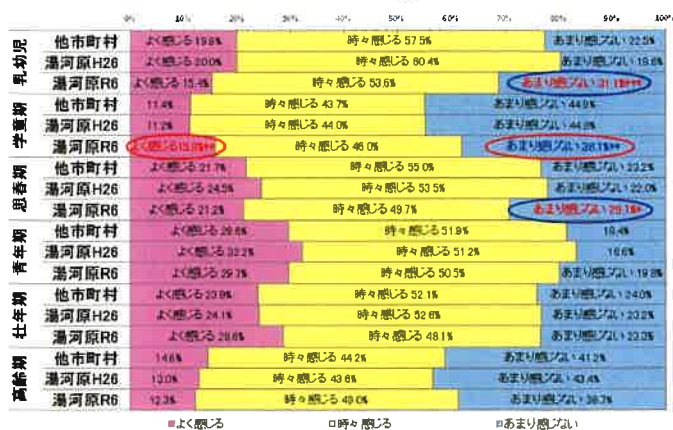
(162)



ストレスの有無を男女別にみると、特に差はみられませんでした。

58 ストレス有無

(163)



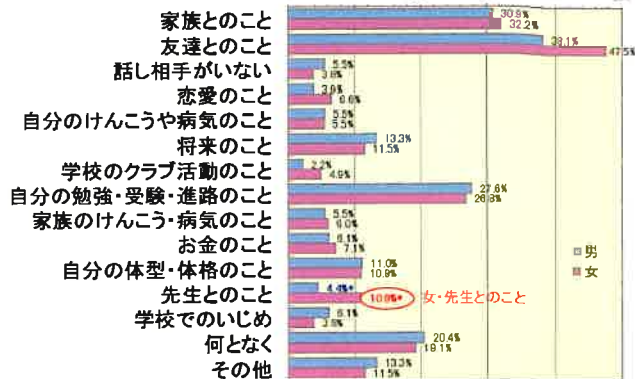
ストレス有無について他市町村・前回と比べると、乳幼児期、思春期では、「あまり感じない」が多い。学童期では、「よく感じる」が多く、「あまり感じない」が少ない。他の年代では特に差はみられませんでした。

59 ストレスの内容

(164)

湯河原町

学童期

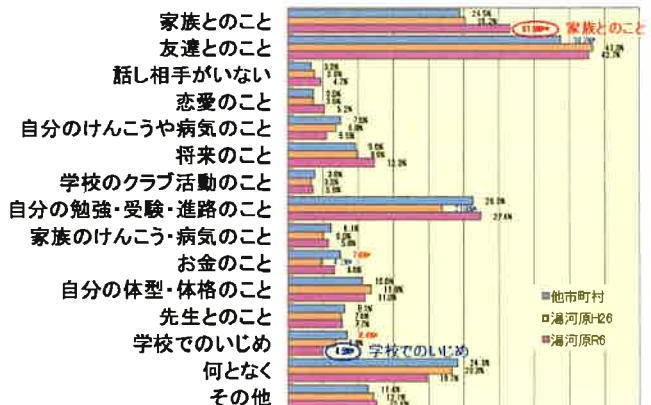


ストレスの原因は、学童期では、「友達とのこと」、「家族とのこと」、「自分の勉強・受験・進路のこと」の順に多くなっています。性別には、女子では、「先生とのこと」が多くなっていました。

59 ストレスの内容

(165)

学童期



ストレス内容について他市町村・前回と比べると、学童期では、「家族とのこと」が多く、「学校でのいじめ」が少なくなっていました。

59 ストレスの内容(その他記述)

(166)

学童期



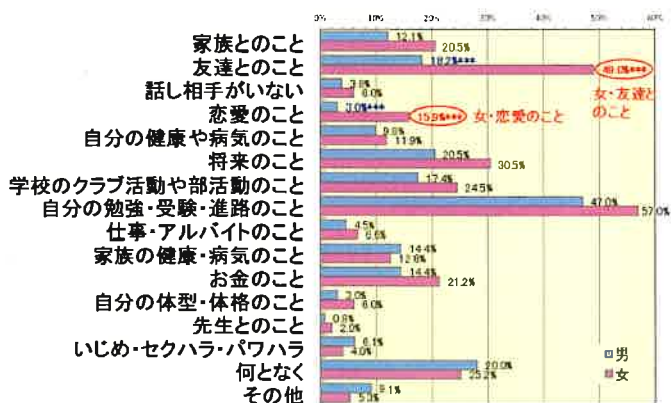
ストレス内容のその他の記述では、学童期では男子では「特になし」、「家庭のこと」が多くなっていました。女子では「自分のこと」が多くなっていました。

59 ストレスの内容

(167)

湯河原町

思春期

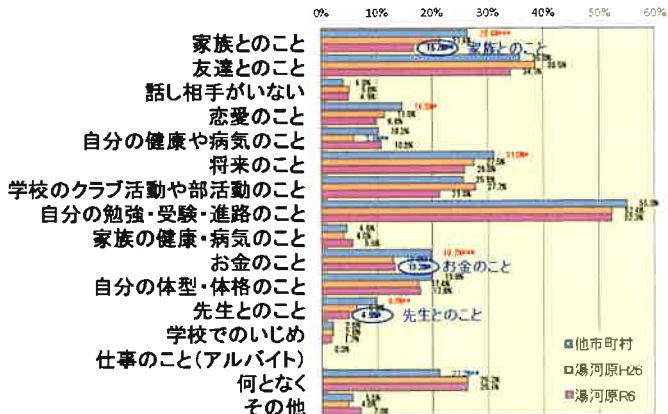


ストレスの原因は、思春期では、「自分の勉強・受験・進路のこと」、「友達とのこと」、「将来のこと」の順に多くなっています。性別には、女子で「友達とのこと」、「恋愛のこと」が多くなっています。

59 ストレスの内容

(168)

思春期



ストレス内容について他市町村・前回と比べると、思春期では、「家族とのこと」、「お金のこと」、「先生とのこと」が少なくなっていました。

59 ストレスの内容(その他記述)

(169)

思春期

【学校・友人】 (男)学校生活 (男)学校での些細な出来事 (男)いじめられる (男)言い方 (男)部活	【学校・友人】 (男)学校生活 (男)学校での些細な出来事 (男)いじめられる (男)言い方 (男)部活
【自分のこと】 (男)顔のビジュアル (男)筋肉が大きくなれないこと (男)勉強しろと言われるとイライラ (男)壁をなぐる	【自分のこと】 (女)自分の思考・性格 (女)昔の事を思い出す (女)生理前である (女)睡眠時間が取れない
【社会のこと】 (男)世間、政治、国家対立	【社会のこと】 (女)不審者が多い事
【特になし】 (男)特になし (男)悩みが無い	【特になし】 (女)ない (女)なんもない

ストレス内容のその他の記述では、思春期では、男子で「学校・友人」が多く、女子で「自分のこと」が多くなっていました。

59 ストレスの内容(順位)

(170)

湯河原町

青年期・壮年期・高齢期

順位	青年期・男	青年期・女	壮年期・男	壮年期・女	高齢期・男	高齢期・女
1	仕事上の問題 52.5%	仕事上の問題 46.1%	仕事上の問題 45.7%	1 自分や家族の健康 40.3%	1 自分や家族の健康 48.3%	1 自分や家族の健康 54.7%
2	収入や資産など経済的問題 46.3%	収入や資産など経済的問題 45.1%	収入や資産など経済的問題 40.2%	2 家族・親族・近隣・地域での人間関係 36.9%	2 老後の生活設計 42.5%	2 老後の生活設計 39.6%
3	自分や家族の進学・就職、結婚など 20.0%	収入や資産など経済的問題 37.3%	3 自分や家族の健康 32.6%	3 仕事上の問題 35.6%	3 収入や資産など経済的問題 17.5%	3 収入や資産など経済的問題 20.8%
4	自分や家族の健康 18.8%	家事・育児 26.5%	4 老後の生活設計 32.6%	4 収入や資産など経済的問題 27.5%	4 その他 16.3%	4 家族・親族・近隣・地域での人間関係 18.9%
5	家族・親族・近隣・地域での人間関係 18.8%	自分や家族の健康 21.6%	5 隣・地域での人間関係 28.2%	5 老後の生活設計 25.5%	5 仕事上の問題 15.0%	5 その他 11.3%
6	家事・育児 12.5%	自分や家族の進学・就職、結婚など 19.6%	6 家事・育児 9.8%	6 家事・育児 20.1%	6 収入や資産など経済的問題 7.5%	6 仕事上の問題 7.5%
7	老後の生活設計 11.3%	老後の生活設計 9.8%	7 就業・結婚など 8.7%	7 就業・結婚など 12.6%	7 家族の進学・就職、結婚など 5.0%	7 家族の進学・就職、結婚など 4.7%
8	その他 5.0%	その他 3.9%	8 その他 6.5%	8 その他 5.4%	8 家事・育児 0.0%	8 家事・育児 1.9%

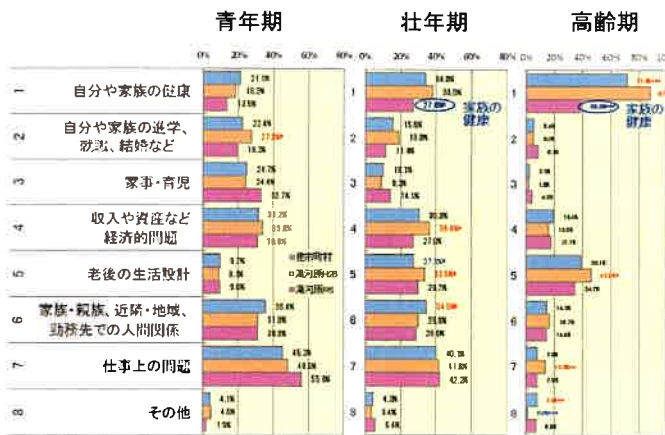
ストレスの内容については、青年期・男性、青年期・女性、壮年期・男性では、1位が「仕事上の問題」となっています。壮年期・女性、高齢期・男性、高齢期・女性では、「自分や家族の健康」が最も多くなっています。

59 ストレスの内容

(171)

59 ストレスの内容(その他記述)

(172)



ストレス内容について他市町村・前回と比べると、壮年期、高齢期で「自分や家族の健康」が少ない程度で、特に大きな差はみられませんでした。

青年期	壮年期	高齢期
【学校・職場】 【家庭・生活】 (男)介護 (女)介護 (女)子育て (女)将来のこと(結婚できるか) 【近隣・社会】 (男)世の中が世知辛い (女)世の中のコミュニティ 【自分の健康】 (男)検査中の病気の確定診断が中々決まらないこと 【特になし】 (男)特になし (女)特になし	【学校・職場】 【家庭・生活】 (男)介護 (男)暇 (女)介護 (女)介護のため働かず、自分の収入がない、状況に合う仕事が見つからない (女)家族が関わっている人間関係 (女)家族の発言、行動、主人の介護(アノオベ) 【近隣・社会】 (男)政治・経済への不満 (女)持病について 【自分の健康】 (男)持病について (女)持病について 【特になし】 (男)特になし (女)特になし	【学校・職場】 【家庭・生活】 (男)子供の将来 (女)介護 (女)ストレスと働かざるがストレスか (女)予定通り時事が進まない 【近隣・社会】 (女)近所の人関係 (女)近所の健康状態 (女)近所の健康状態 (女)近所の健康状態 【自分の健康】 (男)検査中の病気の確定診断が中々決まらないこと (男)前立腺肥大で夜中に2回トイレ 【特になし】 (男)特になし (女)特になし

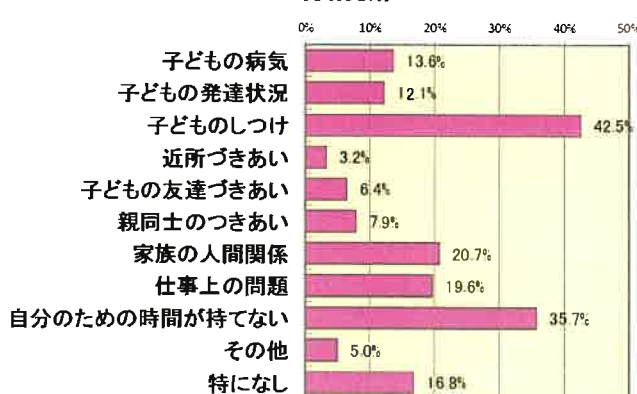
ストレス内容のその他の記述では、青年期は記述が少ない。壮年期では「家庭生活」のことが多い。高齢期では「家庭生活」、「近隣社会」、「自分の健康」などが多く挙げられていました。

60 育児ストレス

(173)

湯河原町

乳幼児期

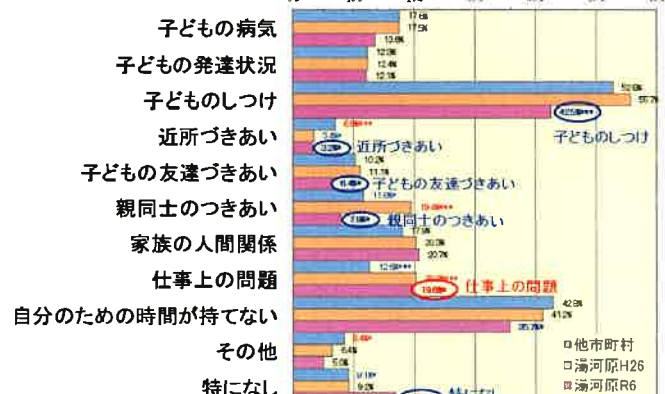


育児ストレスでは、「子どものしつけ」、「自分のための時間が持てない」が多くなっていました。

60 育児ストレス

(174)

乳幼児期



育児ストレスについて他市町村・前回と比べてみると、「仕事上の問題」、「特になし」が多く、「子どものしつけ」、「近所づきあい」、「子どもの友達づきあい」、「親同士のつきあい」、「自分のための時間が持てない」が少なくなっていました。

60 育児ストレス（その他記述）

(175)

乳幼児期

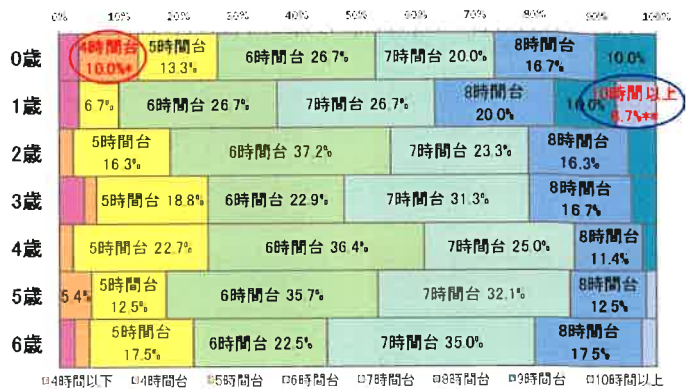


育児ストレスについて、その他として挙げられていたものを示しました。

61 保育者睡眠時間

(176)

乳幼児期

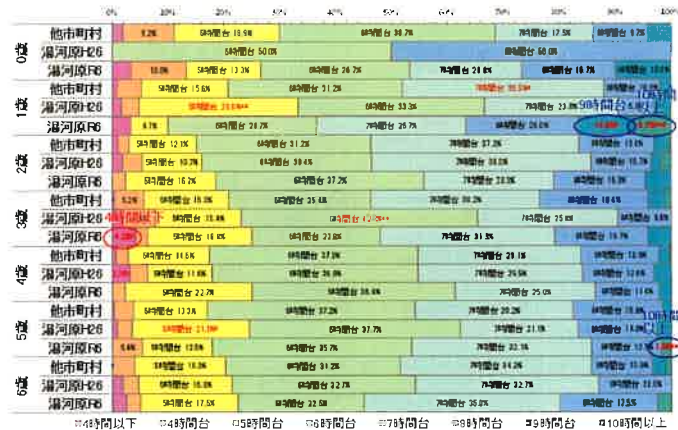


保育者の睡眠時間は、0歳で「4時間台」が多く、1歳では、「10時間以上」が多くなっていました。他の年齢では特に差はみられませんでした。

61 保育者睡眠時間

(177)

乳幼児期

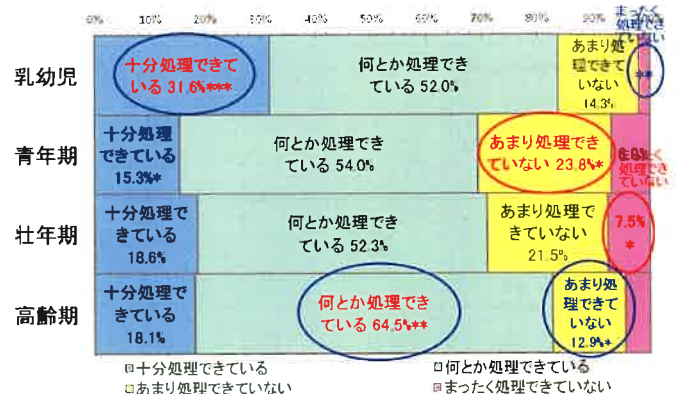


保育者の睡眠時間について他市町村・前回と比べると、1歳では「9時間台」、「10時間以上」が多い。3歳では、「4時間以下」が多い。5歳では、「10時間以上」が多い程度で、大差ありませんでした。

62 ストレス処理

(178)

乳幼児期



ストレス処理については、青年期では、「あまり処理できていない」が多く、「十分処理できている」が少ない。壮年期では、「まったく処理できていない」が多いなど、青年期、壮年期で処理できていない人が多くなっていました。

62 ストレス処理

(179)

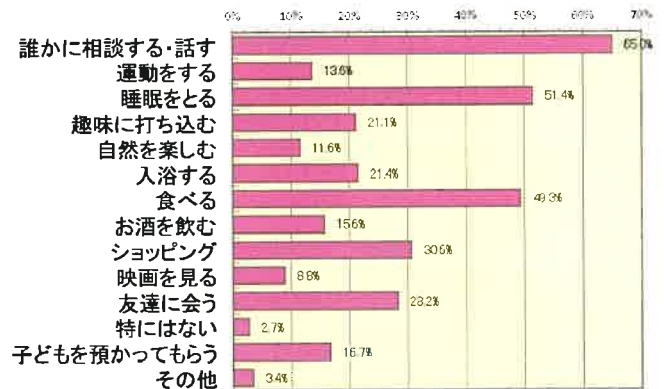


ストレス処理について他市町村・前回と比べると、乳幼児では、「十分処理できている」が多くなっていました。他の年代では特に差はみられませんでした。

63 ストレス解消方法

(180)

乳幼児期

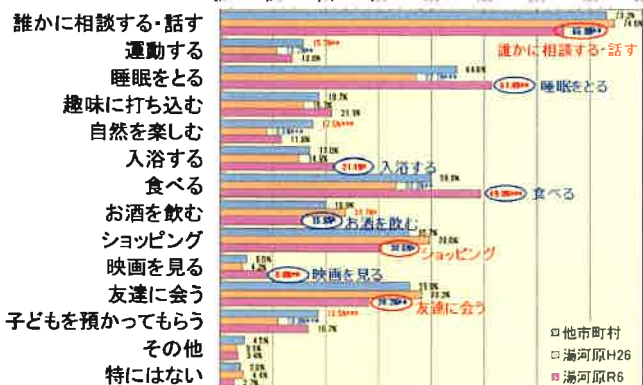


保育者のストレス解消方法では、「誰かに相談する・話す」が最も多く、次いで「睡眠をとる」、「食べる」も多くなっていました。

63 ストレス解消方法

(181)

乳幼児期



保育者のストレス解消方法について他市町村・前回とくらべてみると、「睡眠をとる」、「入浴する」、「食べる」、「映画を見る」が多く、「誰かに相談する・話す」、「お酒を飲む」、「ショッピング」、「友達に会う」が少なくなっていました。

63 ストレス解消方法

(182)

学童期・思春期

湯河原町



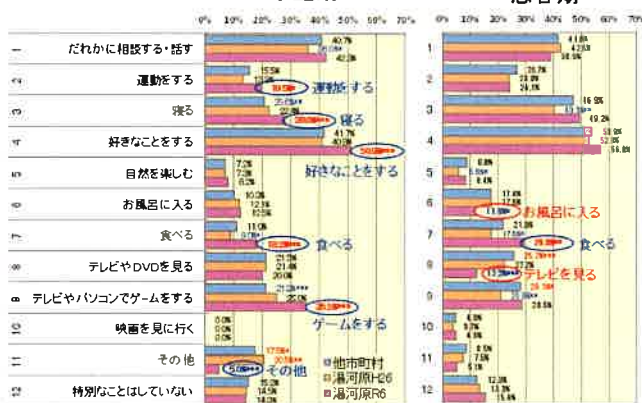
学童期、思春期のストレス解消方法では、学童期では、「テレビを見る」、「テレビやパソコンでゲームをする」が多く、思春期では、「寝る」、「食べる」が多くなっていました。

63 ストレス解消方法

(183)

学童期

思春期



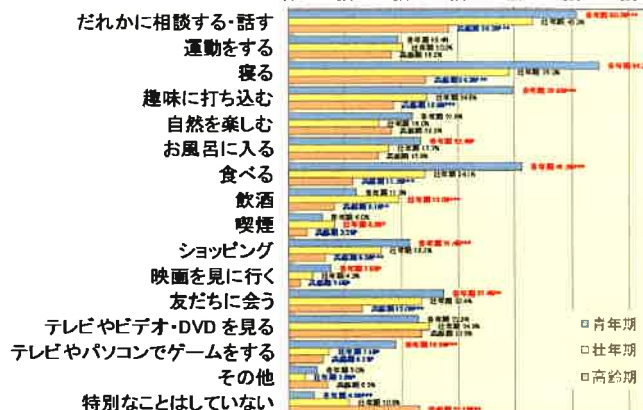
ストレス解消方法について他市町村・前回と比べると、学童期では、「運動をする」、「寝る」、「好きなことをする」、「食べる」、「テレビやパソコンでゲームをする」が多く、「その他」が少ない。思春期では、「食べる」が多く、「お風呂に入る」、「テレビを見る」が少ない、などの傾向がみられました。

63 ストレス解消方法

(184)

青年期・壮年期・高齢期

湯河原町



青年期、壮年期、高齢期のストレス解消方法では、青年期が全般的に多くなっていました。青年期では、「誰かに相談する・話す」、「寝る」、「趣味に打ち込む」、「お風呂に入る」、「食べる」、「ショッピング」、「映画を見に行く」、「友達に会う」、「テレビやパソコンでゲームをする」が多い。壮年期では、「飲酒」、「喫煙」が多い。高齢期では、「特別なことはしていない」が多い、などなっていました。

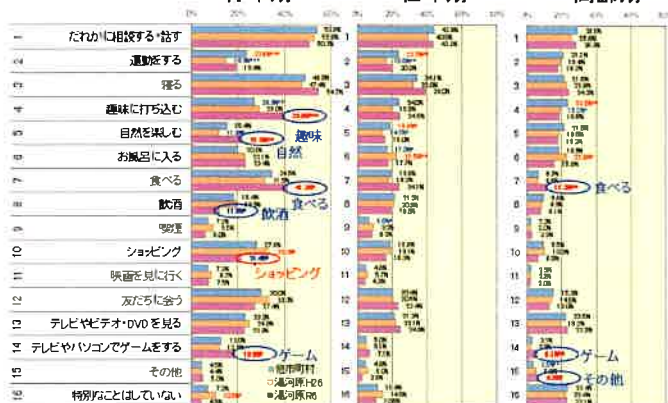
63 ストレス解消方法

(185)

青年期

壮年期

高齢期



ストレス解消方法について他市町村・前回と比べると、青年期では「趣味に打ち込む」、「自然を楽しむ」、「食べる」、「テレビやパソコンでゲームをする」が多く、「飲酒」、「ショッピング」が少ない。壮年期では、特に差はみられませんでした。高齢期では、「食べる」、「テレビやパソコンでゲームをする」、「その他」が多い、などなっていました。

63 ストレス解消方法

(186)

その他記述

乳幼児期

(0歳) ライプに行く
(1歳) 出かけ
(2歳) 仕事に行き考えないようになっている。休日には子供と出かける。
(2歳) 本を読む
(3歳) 書き出して思考整理
(4歳) 子供と思いっきり遊ぶ
(5歳) 子供と触れ合う
(5歳) 温泉
(6歳) 仕事に行き考えないようになっている。休日には子供と出かける。
(6歳) 子供が寝た後に寝るをみてキョロキョロする。
(6歳) 配偶者と話す・出かける

学童期

(小2) めいぐるみをださしめる
(小2) 山で叫ぶ
(小2) 寝みや不安はあまり感づかない
(小2) 音楽を聞いている
(小3) ざけふ
(小3) 勉強をして頭をすっきりさせる
(小3) 本を読む
(小3) 泣いてやまらせる
(小4) 一人にいて
(小5) どうしようもないときあきらめる
(小5) わずける
(小5) ベットを触る
(小5) 友達と遊ぶ
(小5) 本を読む
(小5) 猫を触る
(小6) 何を言っているのかわからない
(小6) 勉強をする
(小6) 曲をきく
(小6) 音楽をきく

思春期

(中学生) うたを歌う
(中学生) ため込んだじょう
(中学生) ない
(中学生) クッションをなぐる(ストレス発散)
(中学生) 夜の冷たい空気を吸う
(中学生) 我慢
(中学生) 推しを見る、グッズ集める
(中学生) 歌う
(中学生) 相談しようとしていない
(中学生) 筋トレ
(中学生) 筋トレをする
(中学生) 趣味・我慢
(中学生) 音楽を聴く
(高校生) 自傷
(高校生) 音楽を聴く
(高校生) 音楽を聴く、可愛い人を見る、みんなでリッカードを語る

ストレス解消方法について、その他の記述では、学童期、思春期で多数挙げられていました。

63 ストレス解消方法 その他記述

(187)

湯河原町



ストレス解消方法について、その他の記述では、高齢期で多数挙げられていました。

64 子育て協力者 乳幼児期

(188)

湯河原町



子育て協力者は、配偶者、自分の母、自分の父・配偶者の母の順に多くなっていました。

64 子育て協力者 乳幼児期

(189)



子育て協力者について他市町村・前回と比べると、「配偶者の兄弟・姉妹」が多い程度で、他は特に差はみられませんでした。

65 相談相手(順位)

(190)

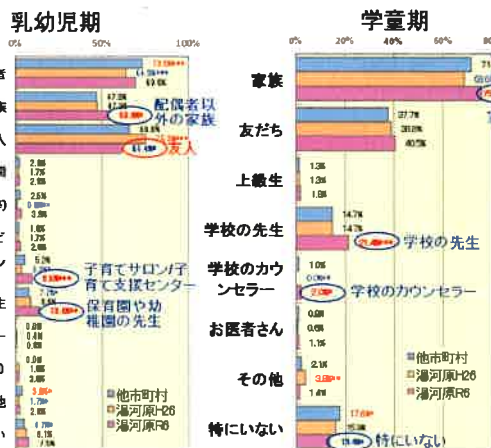
湯河原町



相談相手は、思春期は「友だち」が1位でしたが、他の年代は、配偶者・家族が1位になっていました。

65 相談相手

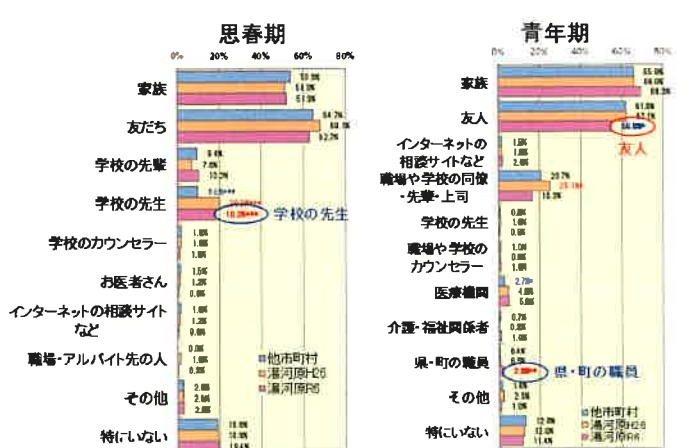
(191)



相談相手について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では、「配偶者以外の家族」、「子育てサロン/子育て支援センター」、「保育園や幼稚園の先生」が多く、「友人」が少ない。
学童期では、「家族」、「学校の先生」、「学校のカウンセラー」が多く、「特にない」が少なくなっていました。

65 相談相手

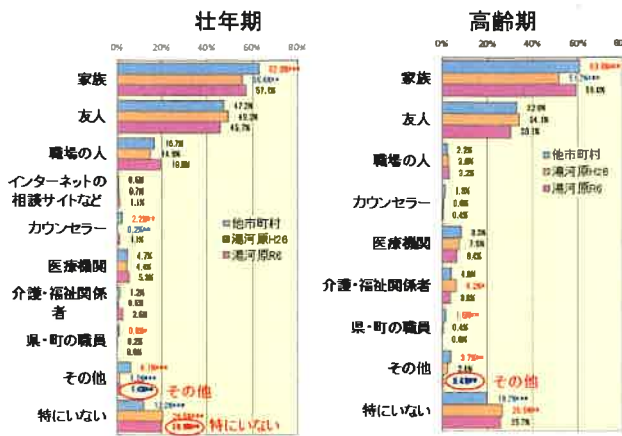
(192)



相談相手について他市町村・前回と比べると、思春期では、「学校の先生」が多い。
青年期では、「県・町の職員」が多く、「友人」が少なくなっていました。

65 相談相手

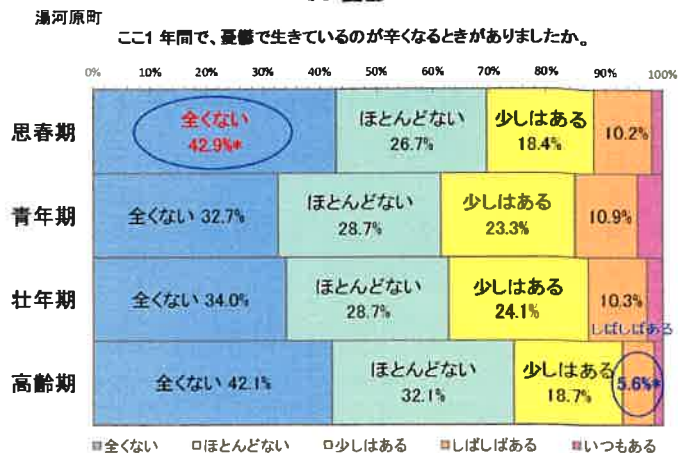
(193)



相談相手について他市町村・前回と比べると、壮年期では、「特にいない」が多く、「その他」が少ない。
高齢期では、「その他」が少なくなっていました。

66 憂鬱

(194)



ここ1年間で憂鬱で生きているのが辛くなる 때가あったかどうかについては、思春期では、「全くない」が多い。高齢期では、「しばしばある」が少ない、などとなっていました。

66 憂鬱

(195)



憂鬱について他市町村・前回と比べると、壮年期では、「しばしばある」が多く、「全くない」が少なくなっていました。その他の年代では特に差はみられませんでした。

66 憂鬱

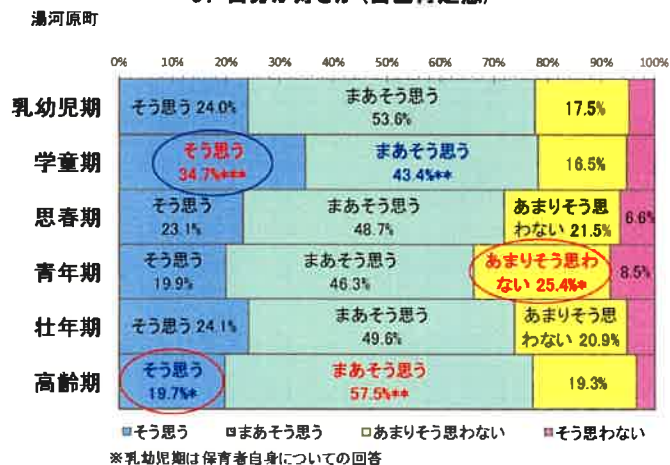
(196)



憂鬱の回答のうち自殺予備群(憂鬱で生きているのが辛くなるときに「いつもある」+「しばしばある」)について他市町村・前回と比べると、壮年期では、13.1%と多くなっていました。その他の年代では特に差はみられませんでした。

67 自分が好きか(自己肯定感)

(197)



自分が好きか(自己肯定感)については、学童期では、「そう思う」が多く、「まあそう思う」が少ない。青年期では、「あまりそう思わない」が多い。高齢期では、「まあそう思う」が多く、「そう思う」が少なくなっていました。

67 自分が好きか(自己肯定感)

(198)

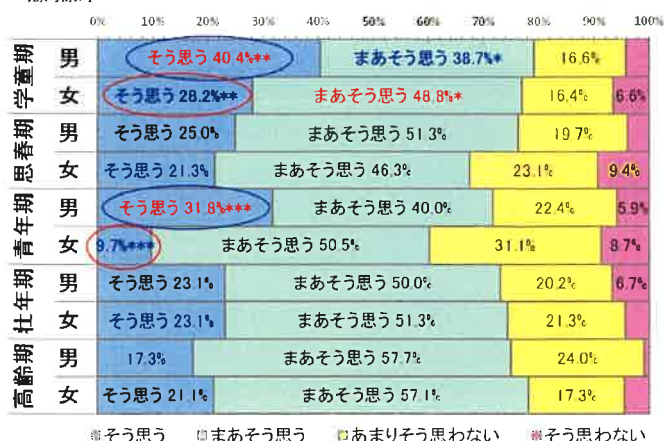


自分が好きか(自己肯定感)について、他市町村・前回と比べてみると、思春期では、「まあそう思う」が多く、「そう思わない」が少なくなっていました。他の年代は、特に差はみられませんでした。

67 自分が好きか(自己肯定感)

(199)

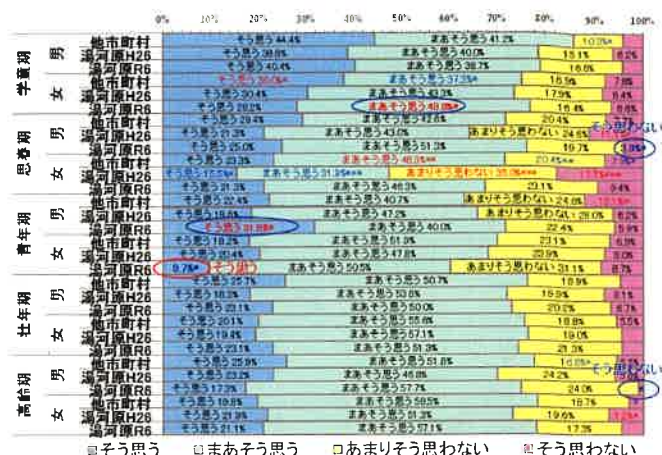
湯河原町



自分が好きか(自己肯定感)について性別にみると、学童期と青年期の男性で「そう思う」が多く、女性で少なくなっていました。他の年代では、特に差はみられませんでした。

67 自分が好きか(自己肯定感)

(200)

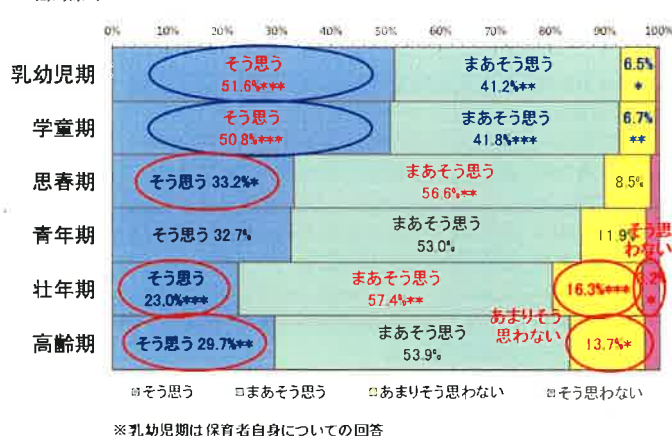


自分が好きか(自己肯定感)について性別に他市町村と比べてみると、学童期女子では、「まあそう思う」が多い。思春期男子では、「そう思わない」が少ない。青年期男性では、「そう思う」が多い。青年期女性では、「そう思う」が少ない。高齢期男性では、「そう思わない」が少ない。

68 自分は大切にされているか

(201)

湯河原町

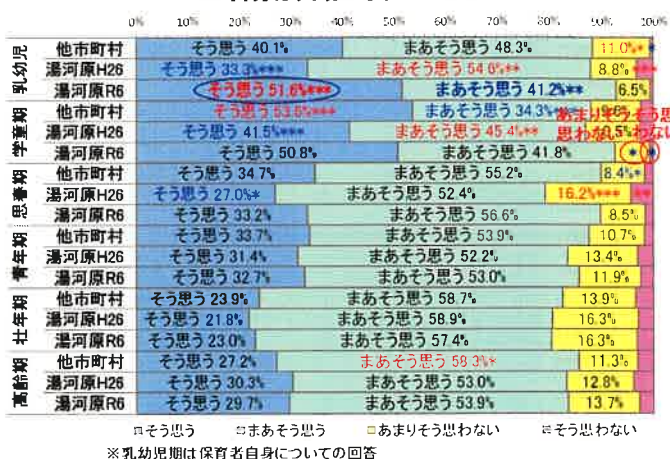


※乳幼児期は保育者自身についての回答

自分は大切にされているかについては、「そう思う」は乳幼児期、学童期で多く、思春期、壮年期、高齢期では少なくなっていました。壮年期では、「あまりそう思わない」、「そう思わない」が多く、高齢期では、「あまりそう思わない」が多くなっていました。

68 自分は大切にされているか

(202)



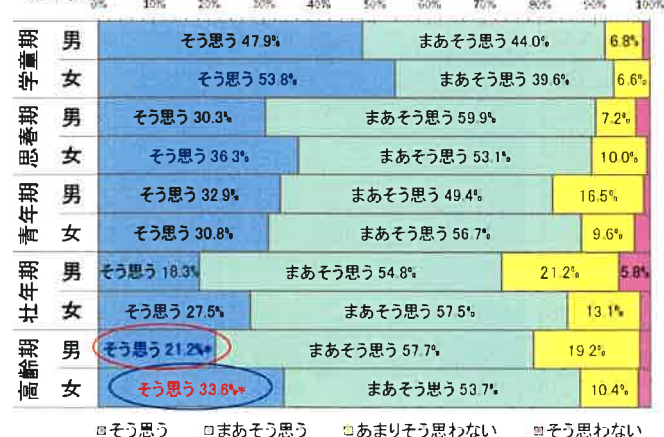
※乳幼児期は保育者自身についての回答

自分は大切にされているかについて他市町村、前回と比べてみると、乳幼児期では、「そう思う」が多く、学童期では、「あまりそう思わない」、「そう思わない」が少なくなっていました。他の年代では特に差はみられませんでした。

68 自分は大切にされているか

(203)

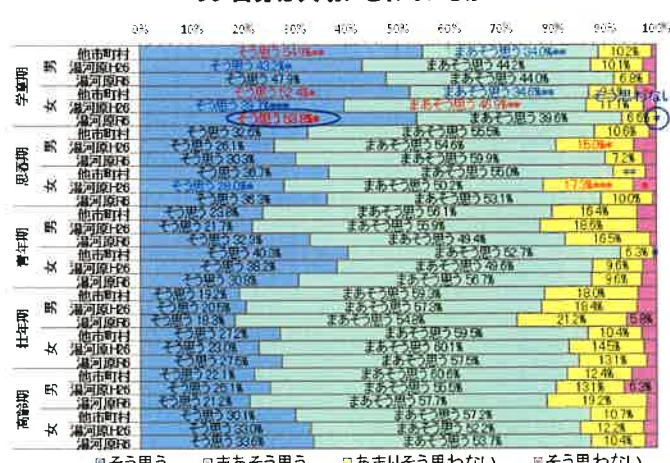
湯河原町



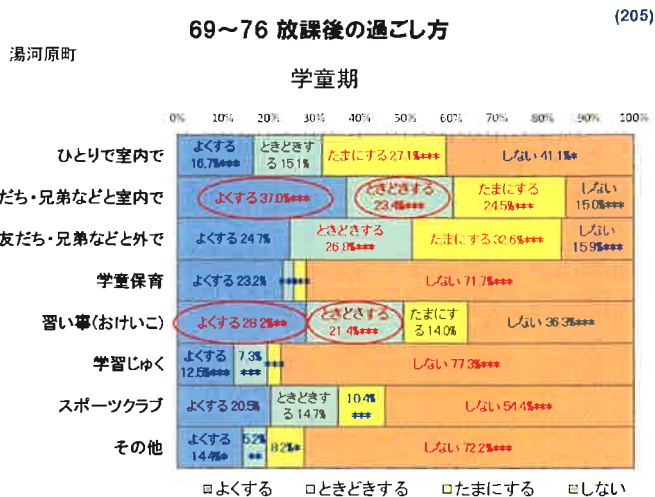
自分は大切にされているかについて性別にみると、高齢期で、男では、「そう思う」が少なく、女で「そう思う」が多くなっていました。他の年代では特に差はみられませんでした。

68 自分は大切にされているか

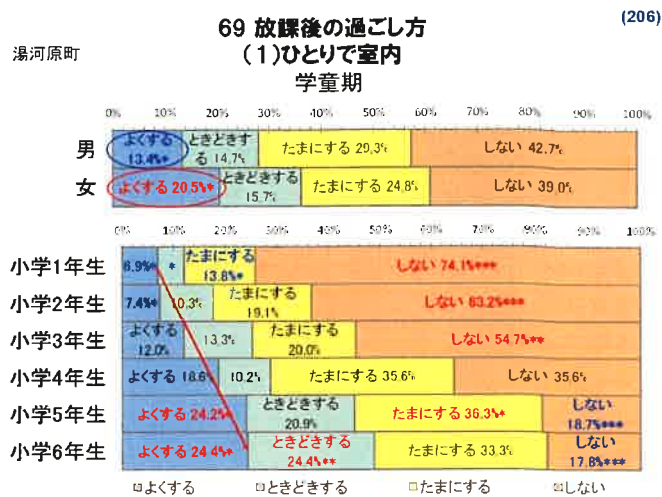
(204)



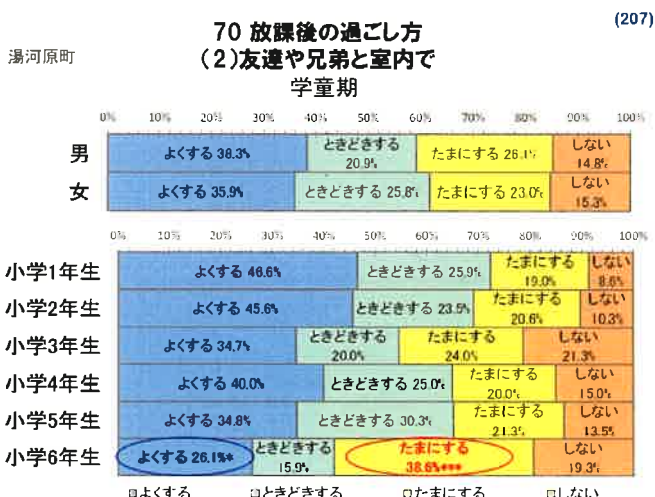
自分は大切にされているかについて性別に前回、他市町村と比べてみると、学童期女子では、「そう思う」が多く、「そう思わない」が少なくなっていました。他の年代では特に差はみられませんでした。



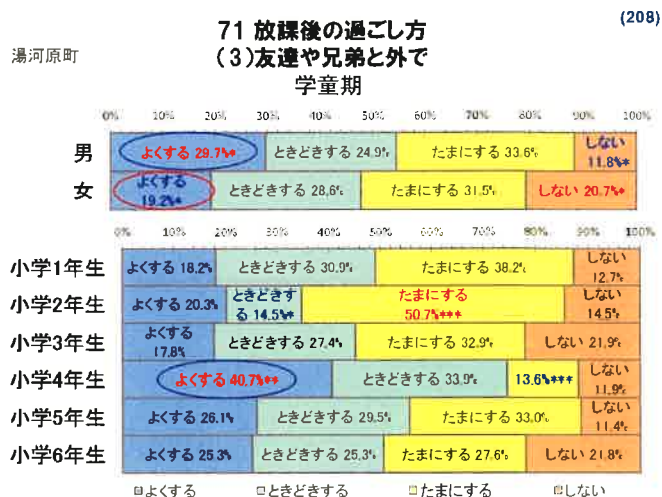
放課後の過ごし方では、「友だち・兄弟などと室内で」で、「習い事(おけいこ)」は「よくする」が多くなっていました。



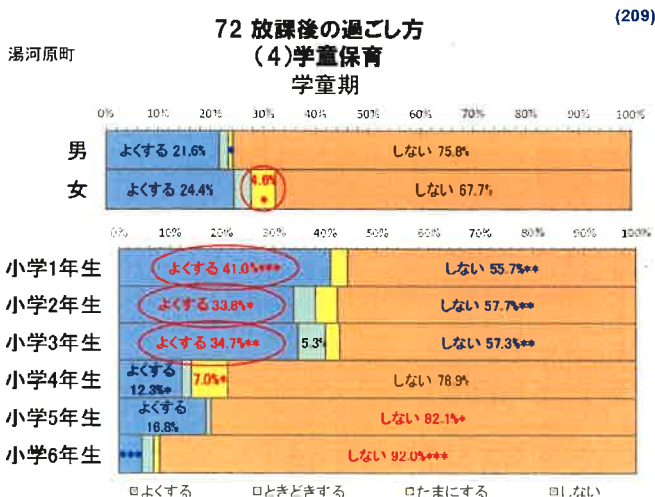
放課後の過ごし方のうち「ひとりで室内で」では、性別では、女子で「よくする」が多く、男子で少なくなっていました。学年別には、学年があがるほど「よくする」が多くなっていました。



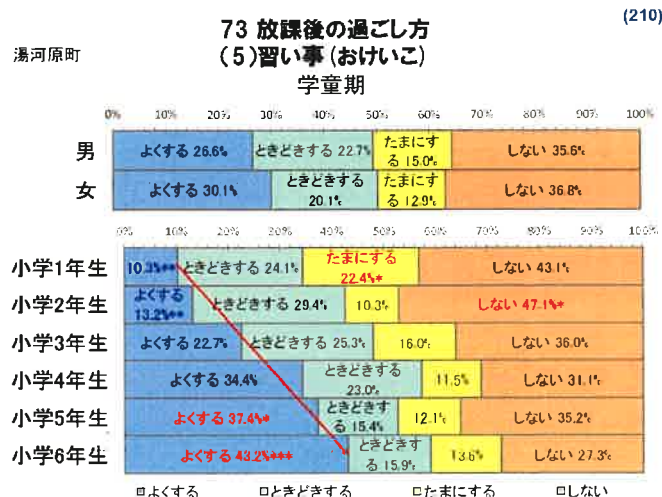
放課後の過ごし方のうち「友達や兄弟と室内で過ごす」では、性別では、特に差はみられませんでした。学年別には、小学6年生で「よくする」が少なく、「たまにする」が多い程度で、他は特に差はみられませんでした。



放課後の過ごし方のうち「友達や兄弟と外で」では、性別では、男子で「よくする」が多く、女子で少なくなっていました。学年別には、小学4年生で「よくする」が多くなっていました。



放課後の過ごし方のうち「児童クラブ・子ども教室」では、性別では、女子で「たまにする」が多くなっていました。学年別には、小学1年生～3年生で「よくする」が多くなっていました。



放課後の過ごし方のうち「習い事(おけいこ)」では、性別では、特に差はみられませんでした。学年別には、学年が上がるほど「よくする」が多くなっていました。

74 放課後の過ごし方
(6)学習じゅく
学童期

Figure 1 consists of four stacked bar charts showing the distribution of responses to the question 'Do you think the current situation is good or bad?' for four groups: 'Good', 'Bad', 'Don't know', and 'No answer'. The charts show percentages for 'Good' (blue), 'Bad' (yellow), 'Don't know' (green), and 'No answer' (orange) across four categories: 'Good', 'Bad', 'Don't know', and 'No answer'.

Category	Good (Blue)	Bad (Yellow)	Don't know (Green)	No answer (Orange)
Good	12.1%	6.9%	0%	77.6%
Bad	13.0%	7.7%	0%	76.8%
Don't know	7.0%	0%	0%	82.5%
No answer	5.4%	0.5%	0%	82.4%
Good	11.5%	0%	0%	78.0%
Bad	12.8%*	6.6%	0%	71.4%
Don't know	22.7%***	11.4%	0%	63.6%***

Legend: (Blue) Good, (Yellow) Bad, (Green) Don't know, (Orange) No answer

湯河原町

75 放課後の過ごし方
(7)スポーツクラブ
学童期

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
主	よくする 24.5%		ときどきする 17.2%		10.7%		しない 47.6%**				
主	よくする 16.3%**		12.0%		10.0%		しない 61.7%**				
主	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
主	8.9% **		ときどきする 17.2%		13.8%		しない 62.1%				
主	7.2% **		ときどきする 15.9%		5.8%		しない 71.0%**				
主	よくする 21.3%		ときどきする 14.7%		13.3%		しない 50.7%				
主	よくする 18.3%		ときどきする 15.0%		5.0%		しない 61.7%				
主	よくする 33.0%***		ときどきする 9.9%		13.2%		しない 44.0%				
主	よくする 27.3%		ときどきする 17.0%		10.2%		しない 45.5%				

□よくする □ときどきする □たまにする □しない

76 放課後の過ごし方
(8)その他
学童期

0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
よくする 16.0% しない 76.0%										
よくする 12.8% たまにする 8.5% しない 68.1%										
よくする 25.0% しない 75.0%										
よくする 10.0% たまにする 10.0% たまにする 30.0%** しない 50.0%										
よくする 14.3% たまにする 14.3% しない 64.3%										
よくする 30.0% しない 70.0%										
よくする 12.5% たまにする 12.5% しない 75.0%										
よくする 10.0% たまにする 6.7% しない 80.0%										

☐ よくする
 ☐ たまにする
 ☐ たまにする
 ☐ しない

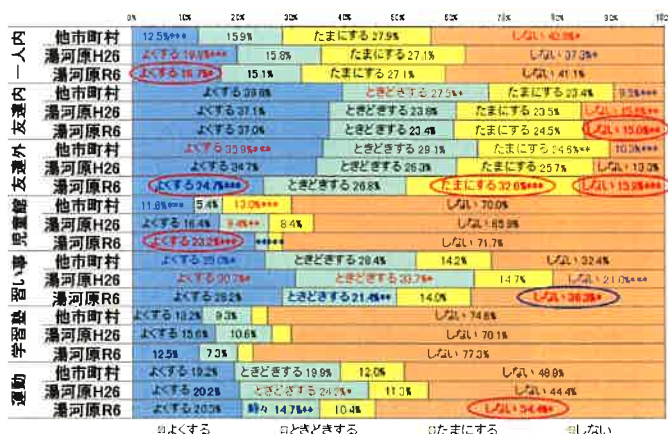
湯河原町

76 放課後の過ごし方
(8)その他の記述
学童期

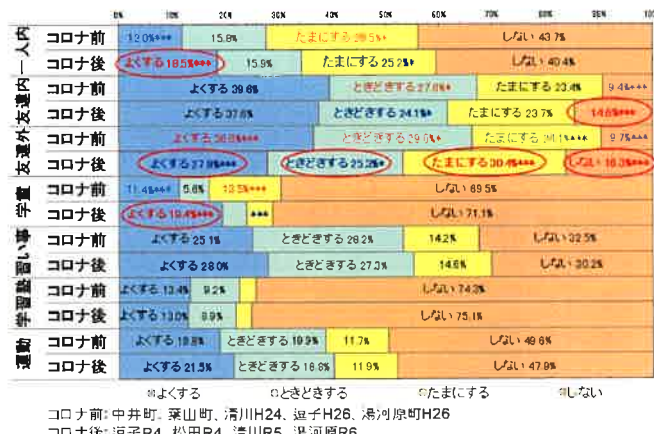
- (男)ひましてる
- (男)ママとすごす
- (男)遊びをする(ゲーム)
- (男)チャレンジタッチ
- (男)友達と外出
- (男)放課後デイサービス
- (男)子供会の行事
- (男)進研ゼミ

(女)ねる
(女)ピアノの練習
(女)ピアノ週1
(女)帰る

69～76 放課後の過ごし方 学童期



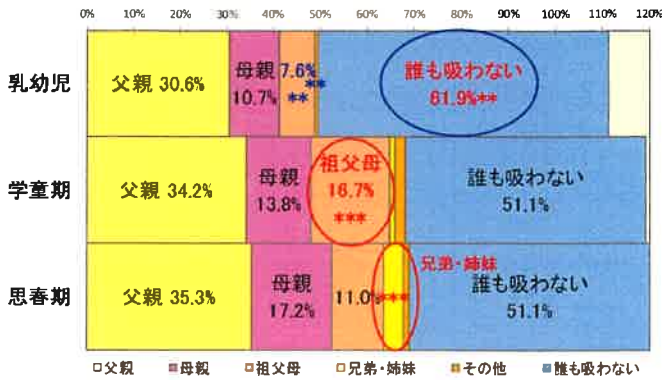
69~76 放課後の過ごし方
学童期



-36-

湯河原町 喫煙 77 家族の喫煙

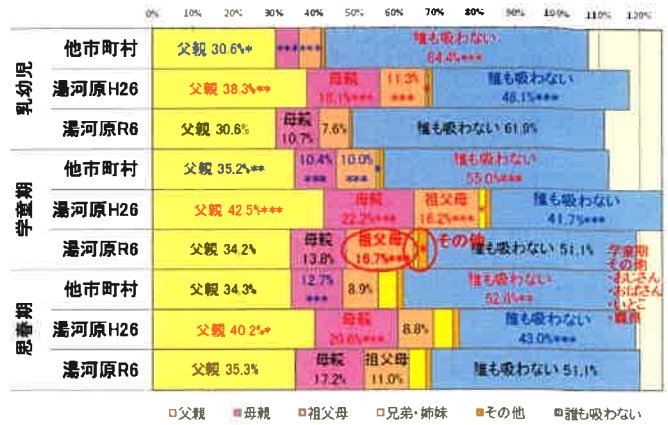
(217)



家族の喫煙では、乳幼児では、「誰もしない」が多く、「祖父母」、「兄弟・姉妹」が少ない。学童期では、「祖父母」が多い。思春期では、「兄弟・姉妹」が多い、などとなっています。

77 家族の喫煙

(218)

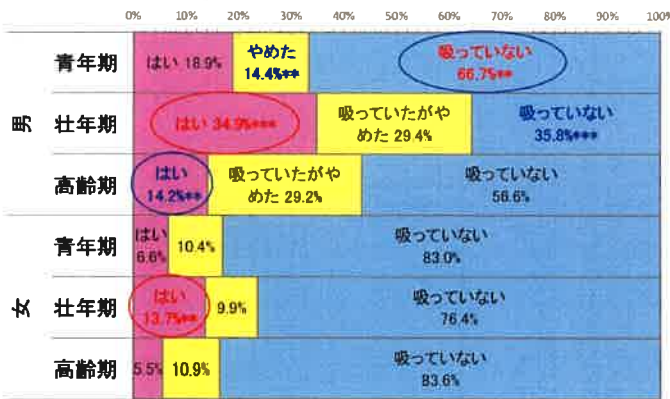


家族の喫煙について他市町村・前回と比べると、学童期で「祖父母」、「その他」が多くなっていました。「その他」の記述は、おじさん6件、おばさん、いとこ、親戚、職員各1件となっていました。その他の年代は特に差はみられませんでした。

78 喫煙状況

(219)

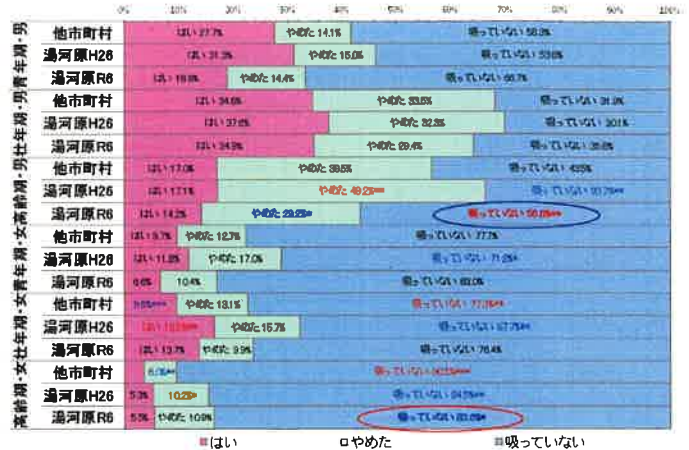
湯河原町



喫煙状況は、男性では青年期で「吸っていない」人が多く、壮年期では「はい」(現在吸っている)が多く、高齢期では「はい」(現在吸っている)人が少なくなっていました。女性では、壮年期で「はい」(現在吸っている)人が多くなっていました。

78 喫煙状況

(220)

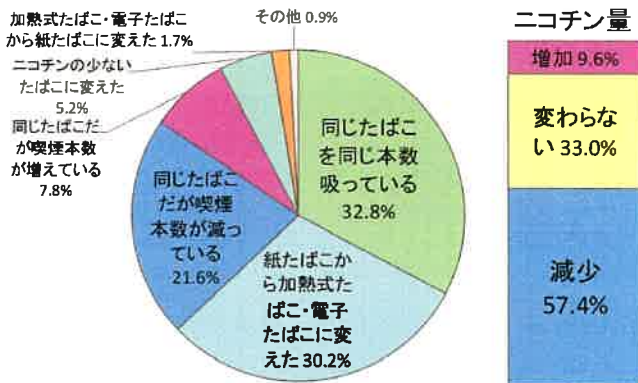


喫煙状況について他市町村・前回と比べると、高齢期・男性で「やめた」が少なく、「吸っていない」が多い。高齢期・女性で「吸っていない」が少なくなっていました。全体的に、喫煙率が低下しています。

79 喫煙状況変化

(221)

湯河原町

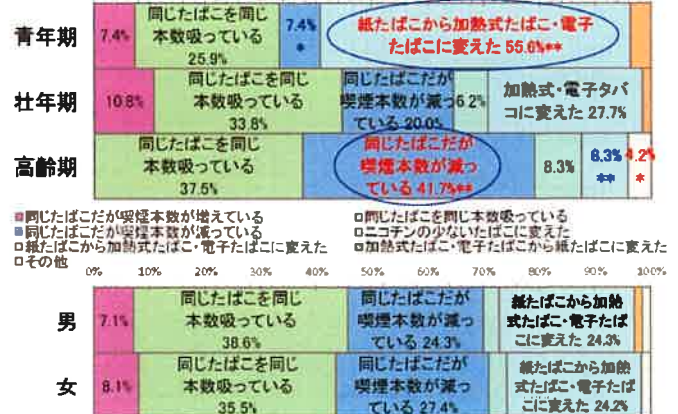


現在喫煙している人の喫煙状況の変化については、青年期、壮年期、高齢期合計で最も多いのは、「同じたばこを同じ本数吸っている」でした。次いで「紙たばこから加熱式たばこ・電子たばこに変えた」、「同じたばこだが喫煙本数が減っている」の順でした。ニコチン量の変化で集計すると、減少が最も多くなっていました。

79 喫煙状況変化

(222)

湯河原町



現在喫煙している人の喫煙状況の変化については、青年期では、「紙たばこから加熱式たばこ・電子たばこに変えた」が多く、高齢期では、「同じたばこだが喫煙本数が減っている」、「その他」が多くなっていました。性別には特に差はみられませんでした。

80 喫煙状況 何歳頃から

(223)

湯河原町



何歳から喫煙を始めたかについては、全般的に「20歳代」が多くなっていました。男性・青年期では「20歳台」、壮年期では「20歳未満」、高齢期では「30歳台」が多くなっていました。女性では特に差はみられませんでした。

80 喫煙状況 何歳頃から

(224)

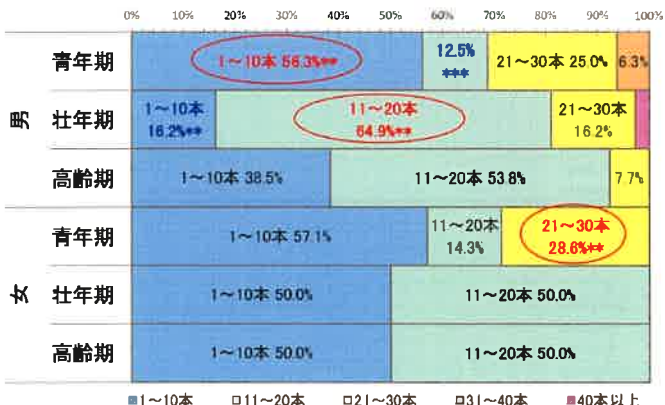


何歳から喫煙を始めたかについて他市町村・前回と比べると、男性では、青年期では「20歳台」が多く、「20歳未満」が少ない。壮年期で「40歳台」が多い。女性では、高齢期で「20歳台」が多い、などになっていました。

81 喫煙本数

(225)

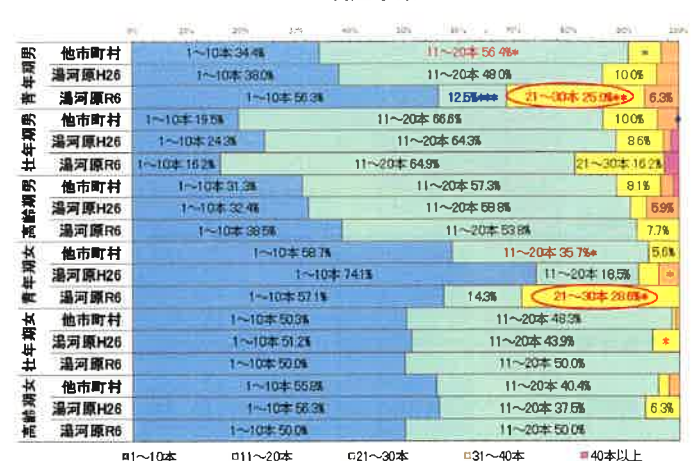
湯河原町



喫煙本数は、男性では、青年期で「1~10本」が多く、「11~20本」が少ない。壮年期では、「11~20本」が多く、「1~10本」が少ない、などになっていました。女性では、青年期で「21~30本」が多くなっていました。

81 喫煙本数

(226)

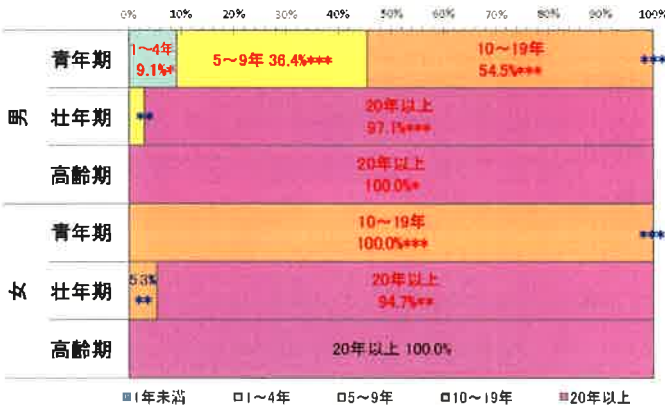


喫煙本数について他市町村・前回と比べると、青年期で男女とも「21~30本」が多くなっていました。他は特に差はみられませんでした。

82 喫煙期間

(227)

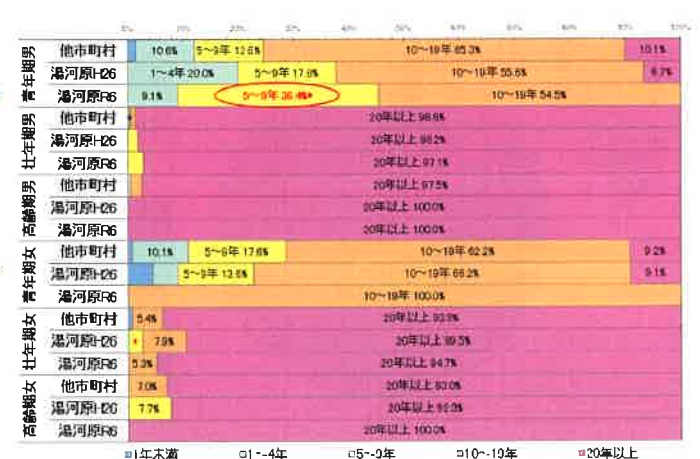
湯河原町



喫煙期間は、男女とも青年期は10~19年が多くなっていますが、壮年期以上では20年以上が多くなっています。

82 喫煙期間

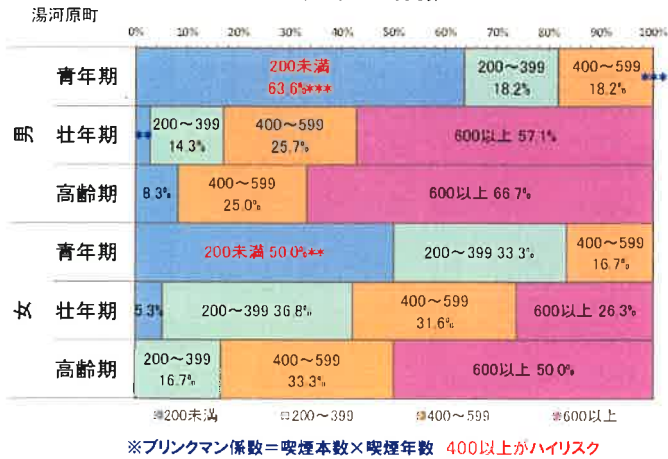
(228)



喫煙期間について他市町村・前回と比べると、青年期男性で「5~9年」が多くなっていました。その他は特に差はみられませんでした。

83 ブリンクマン係数

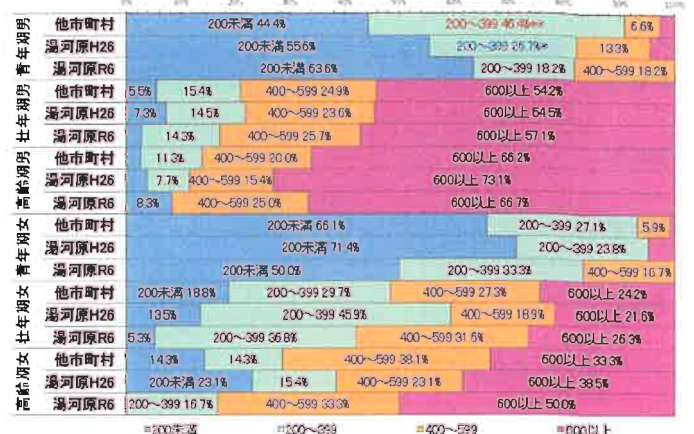
(229)



ブリンクマン係数とは、喫煙本数と喫煙年数を掛けたもので、1日20本を20年間続けると、ブリンクマン係数400となります。400を超えると、禁煙しても完全にリスクゼロには戻らないと言われます。ということで、壮年期以降の男性は6割以上が400以上となっています。多い禁煙効果を狙うには、青年期の男性と、青年期・壮年期の女性が対象となるでしょう。

83 ブリンクマン係数

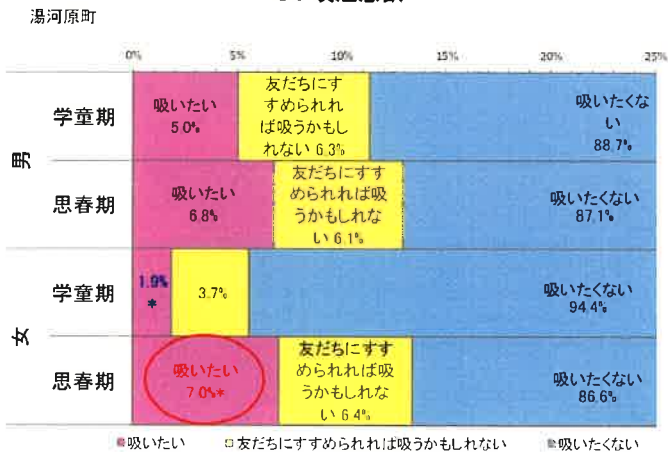
(230)



ブリンクマン係数について他市町村・前回と比べると、特に差はみられませんでした。

84 喫煙意欲

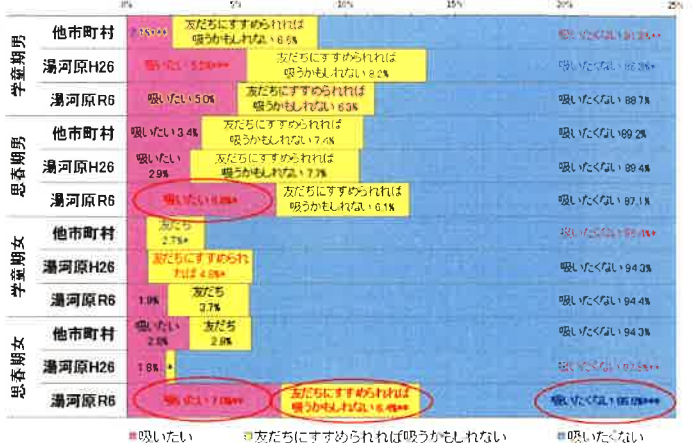
(231)



学童期と思春期に対する将来たばこを吸いたいかという質問については、女子では思春期で「吸いたい」人が多くなっていました。「吸いたくない」という回答が多いので、グラフは拡大しています。

84 喫煙意欲

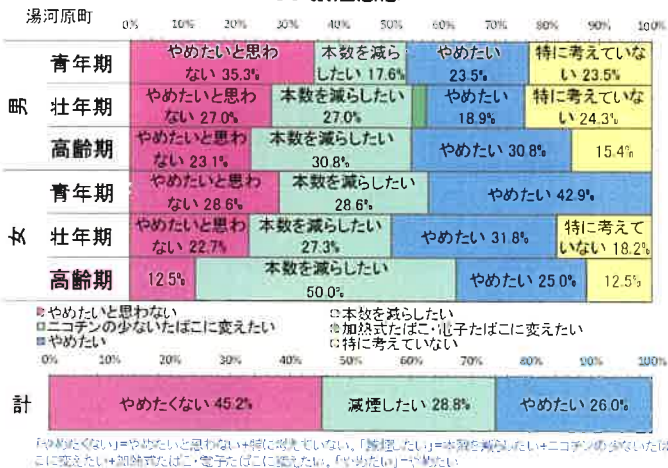
(232)



喫煙意欲について他市町村・前回と比べると、思春期男性では、「吸いたい」が多い。思春期女性では、「吸いたい」、「友だちにすすめられれば吸うかもしれない」が多く、「吸いたくない」が少なくなっていました。学童期では、特に差はみられませんでした。

85 禁煙意思

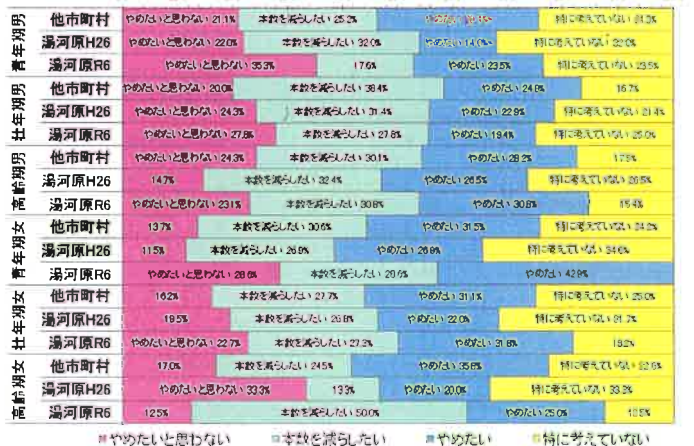
(233)



喫煙者の禁煙意思を聞くと、性別・年代別に特に差はみられませんでした。全体では、「やめたくない」が45.2%、「減煙したい」が28.8%、「やめたい」が26.0%と、減煙ないしはやめたい人が半数以上となっていました。

85 禁煙意思

(234)

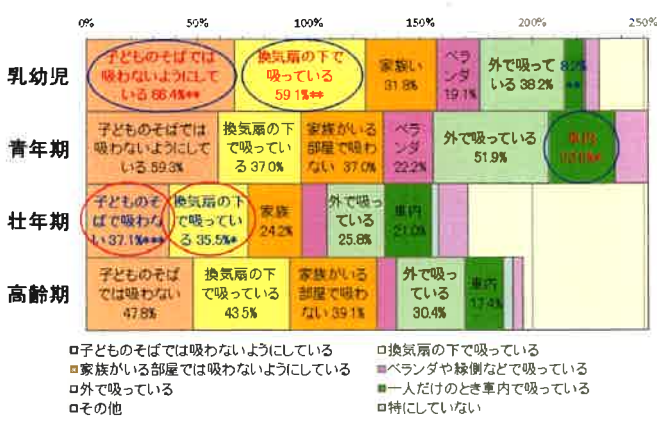


禁煙意思について他市町村・前回と比べると、壮年期男性では、「やめたい」が少なく、青年期女性では、「やめたいと思わない」が多くなっていました。その他は特に差はみられませんでした。

86 喫煙場所

(235)

湯河原町



喫煙場所については、乳幼児期では「子どものそばで吸わないようにしている」、「換気扇の下で吸っている」が多い。青年期では「一人だけのとき車内で吸っている」が多い。壮年期では「子どものそばで吸わないようにしている」、「換気扇の下で吸っている」が少なくなっていました。

86 喫煙場所

(236)

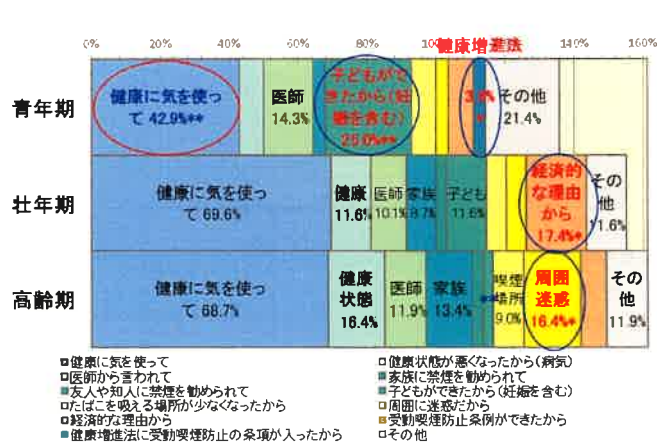


喫煙場所について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では、「換気扇の下で吸っている」が多く、「外で吸っている」が少ない。青年期では、「一人だけのとき車内で吸っている」が多い程度で、大きな差はみられませんでした。

87 禁煙理由

(237)

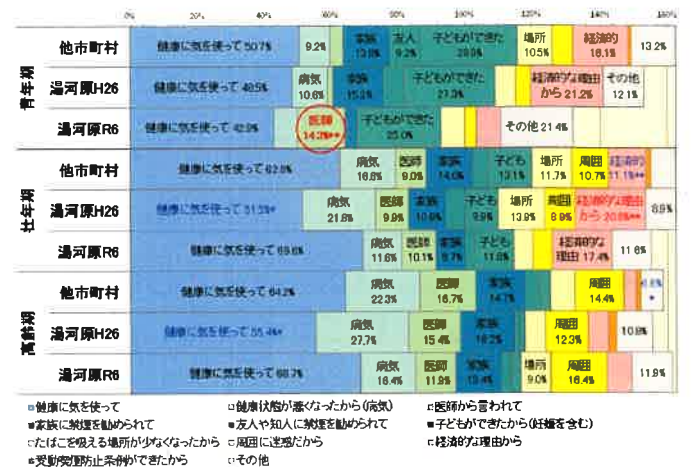
湯河原町



禁煙理由は、青年期では、「子どもができたから(妊娠を含む)」、「健康増進法に受動喫煙防止の条項が入ったから」(1件)が多く、「健康に気を使って」が少ない。壮年期では、「経済的な理由から」が多い。高齢期では、「周囲に迷惑だから」が多く、「子どもができたから(妊娠を含む)」が少ない、などとなっています。

87 禁煙理由

(238)

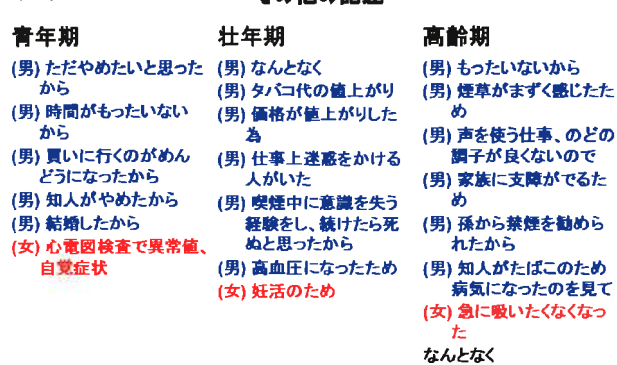


禁煙理由について他市町村・前回と比べると、青年期では、「医師から言われて」が多くなっていました。その他の年代では特に差はみられませんでした。

87 禁煙理由 その他の記述

(239)

湯河原町

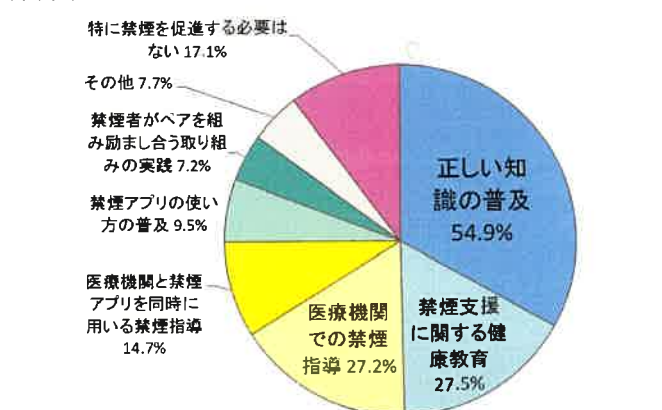


禁煙の理由として「その他」の内訳で挙げられたものを示します。

88 禁煙促進

(240)

湯河原町

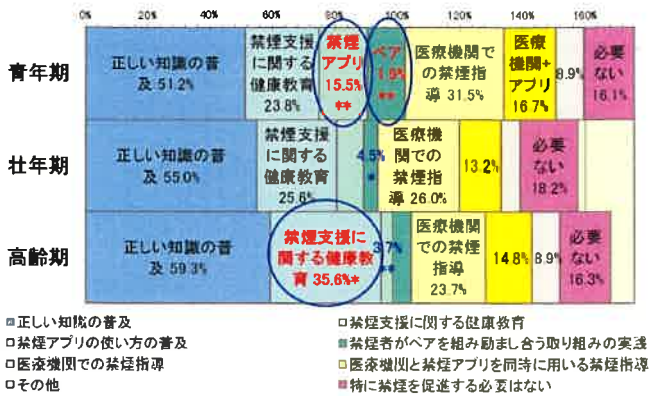


禁煙の促進については、青年期、壮年期、高齢期の合計で、「正しい知識の普及」が1位で、次いで「禁煙支援に関する健康教育」、「医療機関での禁煙指導」の順となっていました。「特に禁煙を促進する必要はない」はわずか17.1%でした。

88 禁煙促進

(241)

湯河原町



禁煙の促進については、青年期では、「禁煙アプリの使い方の普及」、「禁煙者がペアを組み励まし合う取り組みの実践」が多い。壮年期では、「禁煙者がペアを組み励まし合う取り組みの実践」が少ない。高齢期では、「禁煙支援に関する健康教育」が多く、「禁煙アプリの使い方の普及」が少ない、などとなっています。

88 禁煙促進

(243)

湯河原町

その他の記述

- | 青年期 | 壮年期 | 高齢期 |
|--|---|--|
| (男) たばこを吸うメリット・デメリットをしっかりと伝えるべき、そもそもメリットなんてないと思います。たばこは販売業者には申し訳ないですが、たばこには存在するこの世から消すべきだと思います。健康の害と同じです。 | (男) たばこの価格を十倍にする。たばこ税を十倍にする。
(男) たばこ税半額UP—箱2,000円
(男) モチベーションUP
(男) 有効的な価格上昇
(男) 本人の意思
(男) 本人の気持ちに任せて、私のように禁煙をすることで意識が変わると思います。周りが禁煙を勧めてくれることで禁煙はできると思います。 | (男) たばこは税の増税
(男) たばこ販売禁止
(男) ストレスの解消する方法を教える
(男) 分からない
(男) 医者に見てもらって、このまま続けると○○カ月前に死なせる等 |
| (男) 喫煙の危険性を「体感して」知ることができるといいシステム(VRやARなど)で喫煙ストレスを軽減する。たばこを吸った後、見たりするだけでは実感感がわかないと思う。 | (男) 禁煙の危険性を「体感して」知ることができるといいシステム(VRやARなど)で喫煙ストレスを軽減する。たばこを吸った後、見たりするだけでは実感感がわかないと思う。 | (男) 禁煙の危険性を「体感して」知ることができるといいシステム(VRやARなど)で喫煙ストレスを軽減する。たばこを吸った後、見たりするだけでは実感感がわかないと思う。 |
| (男) 国で輸入しない(原産地) (男) 辛い禁煙方法 (男) 違反者を厳しく罰する (女) デメリットと現実リスクあることをはっきり伝えるべき (女) 価格を高くする (女) 喫煙に代わるストレス発散法の普及 (女) 喫煙者を取り巻く (女) 喫煙者や禁煙した人が身近にいないのでわからない (女) 法律での取り組み (女) ストレス社会をなくす | (男) 禁煙の危険性を「体感して」知ることができるといいシステム(VRやARなど)で喫煙ストレスを軽減する。たばこを吸った後、見たりするだけでは実感感がわかないと思う。 | (男) 禁煙の危険性を「体感して」知ることができるといいシステム(VRやARなど)で喫煙ストレスを軽減する。たばこを吸った後、見たりするだけでは実感感がわかないと思う。 |

禁煙の促進として「その他」の内訳で挙げられたものを示します。

88 禁煙促進

(242)

湯河原町



禁煙の促進について男女別にみると、女性の方が、「正しい知識の普及」、「禁煙アプリの使い方の普及」、「医療機関での禁煙指導」、「医療機関と禁煙アプリを同時に用いる禁煙指導」が多く、「特に禁煙を促進する必要はない」が少なくなっていました。

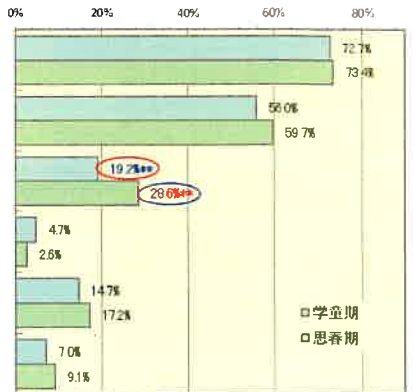
89 喫煙の影響

(244)

湯河原町

学童期・思春期

- 死ぬような病気になるかも知れない
せきが出るなど、体調が悪くなる
歯ぐきが赤くなり、はれる病気になるやすい
あまり健康に害はない
気分や体調が良くなる
その他



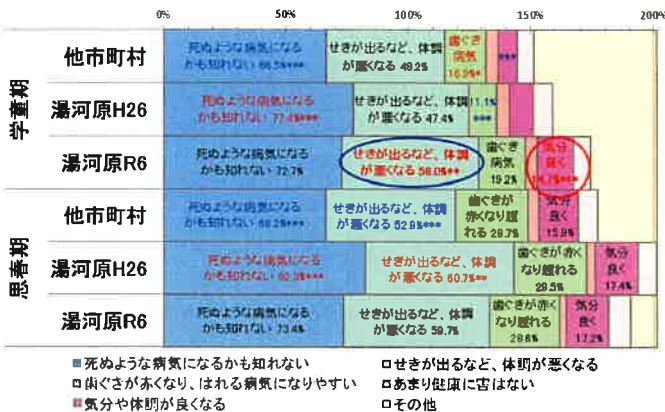
喫煙影響知識については、学童期では「歯ぐきが赤くなり、はれる病気になるやすい」が少なくなっていました。その他は特に差はみられませんでした。

89 喫煙の影響

(245)

湯河原町

その他の記述



喫煙影響知識について他市町村・前回と比べると、学童期では「せきが出るなど、体調が悪くなる」、「気分や体調が良くなる」が多くなっていました。思春期では特に差はみられませんでした。

89 喫煙の影響

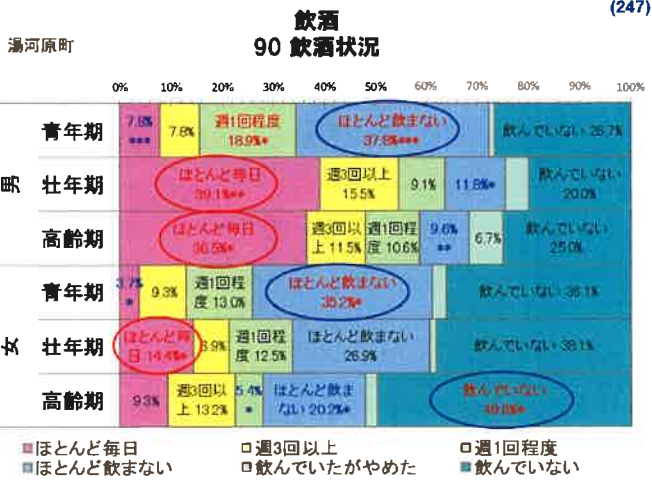
(246)

湯河原町

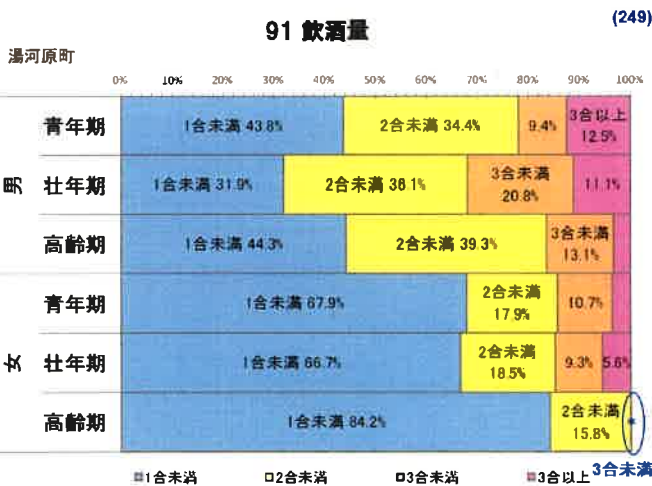
その他の記述

- | 学童期 | 思春期 |
|---|--|
| (小1) わからない
(小2) わからない
(小3) わからない
(小4) わからない
(小5) わからない
(小6) わからない
(小7) わからない
(小8) わからない
(小9) わからない
(小10) わからない
(小11) わからない
(小12) わからない | (中学生) おれさんになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる
(中学生) カンになる |

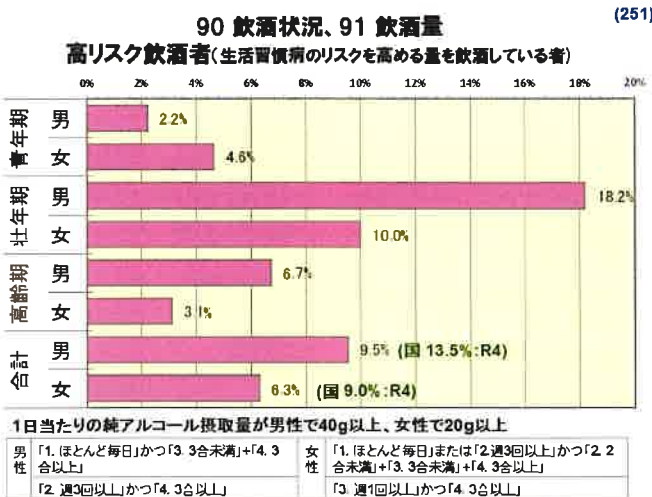
喫煙の影響として「その他」の内訳で挙げられたものを示します。



飲酒状況については、男性のほうが女性より飲む人が多くなっています。男性では、青年期で「ほとんど飲まない」人が多く、壮年期、高齢期で「飲んでいない」人が多くなっています。女性では、壮年期で「ほとんど毎日」が多く、青年期では「ほとんど飲まない」、高齢期では「飲んでいない」人が多くなっています。



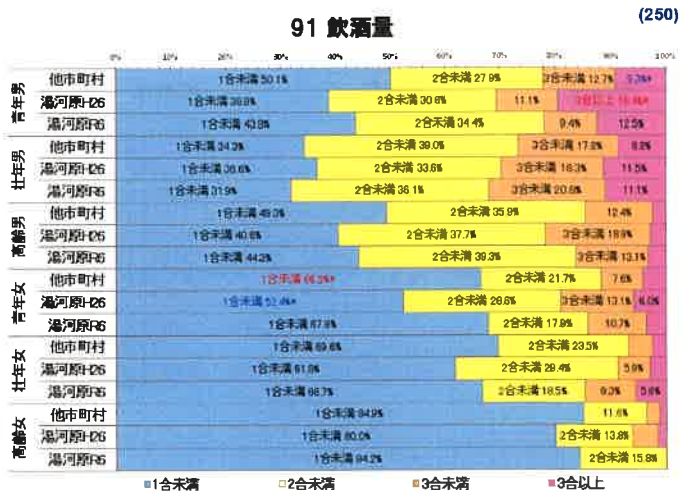
飲酒量は、男性では特に差はみられませんでした。女性では、高齢期で「3合未満」が少ない程度でした。



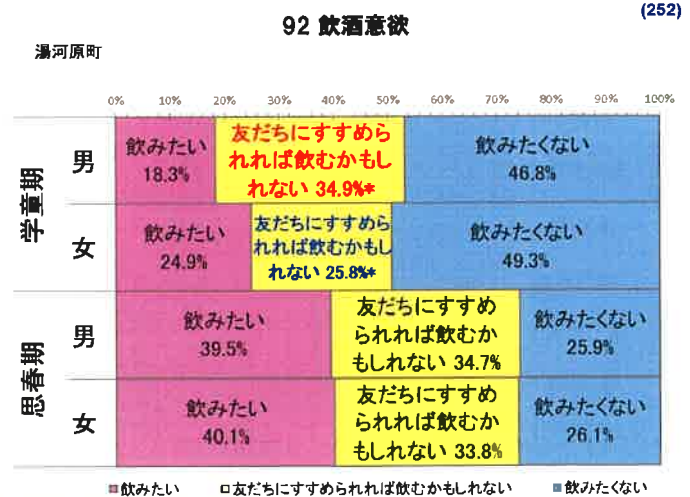
飲酒状況(飲酒頻度)と飲酒量から高リスク飲酒者(生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者)を計算して抜き出しました。壮年期男性が多く見えますが、有意な差はみられません。また、R4国民健康・栄養調査と比べると、やや低めになっていました。



飲酒状況について他市町村・前回と比べると、男性では、青年期では、「ほとんど毎日」が少なく、壮年期では、「飲んでいない」が多い。女性では、青年期で「飲んでいない」が多く、「ほとんど毎日」が少ない。高齢期では、「週3回以上」が多く、「飲んでいない」が少ない、などとなっていました。



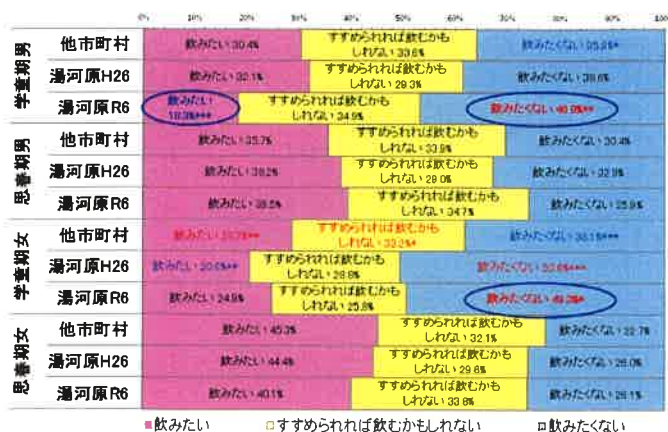
飲酒量について他市町村・前回と比べると、特に差はみられませんでした。



飲酒意欲については、学童期・男子で「友だちにすすめられれば飲むかもしれない」が多くなっていました。思春期では、特に差はみられませんでした。

92 飲酒意欲

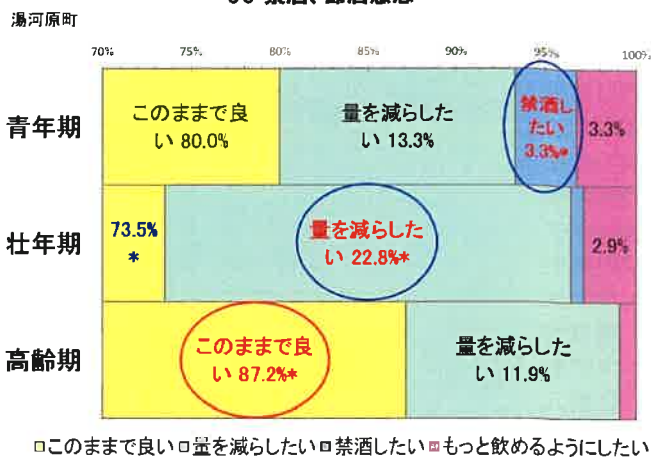
(253)



飲酒意欲について他市町村・前回と比べると、学童期男子では、「飲みたくない」が多く、「飲みたい」が少ない。学童期女子では、「飲みたくない」が多くなっていました。思春期では特に差はみられませんでした。

93 禁酒、節酒意思

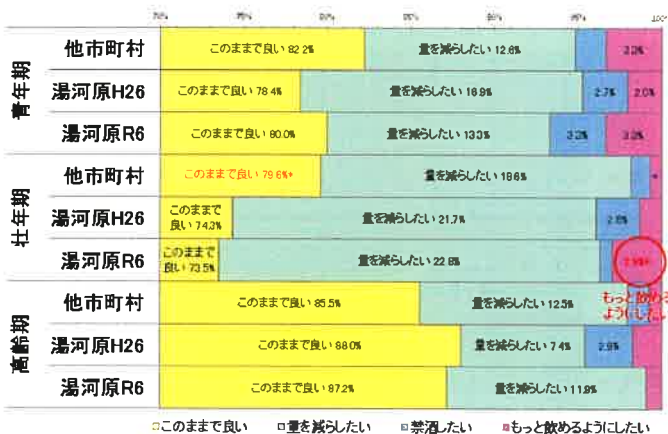
(254)



禁酒、節酒意思はない人が多く、約8割の人がこのままで良いと回答しています(グラフは左端が70%になっています)。青年期では、「禁酒したい」が多い。壮年期では、「量を減らしたい」が多く、「このままで良い」が少ない。高齢期では、「このままで良い」が多い、などとなっています。

93 禁酒、節酒意思

(255)

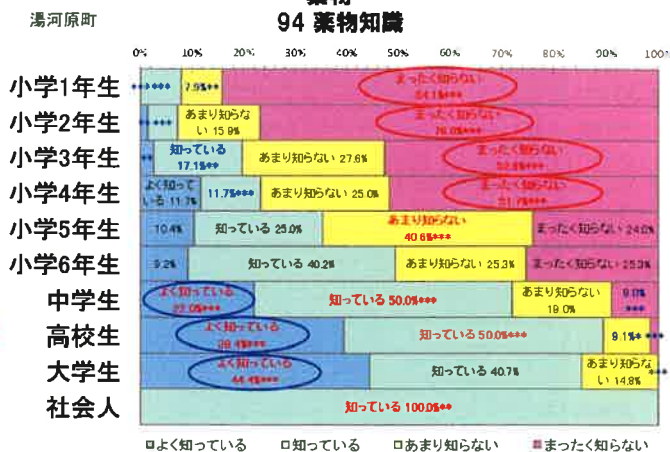


禁酒、節酒意思について他市町村・前回と比べると、壮年期で「もっと飲めるようにしたい」が多くなっていました。

薬物

94 薬物知識

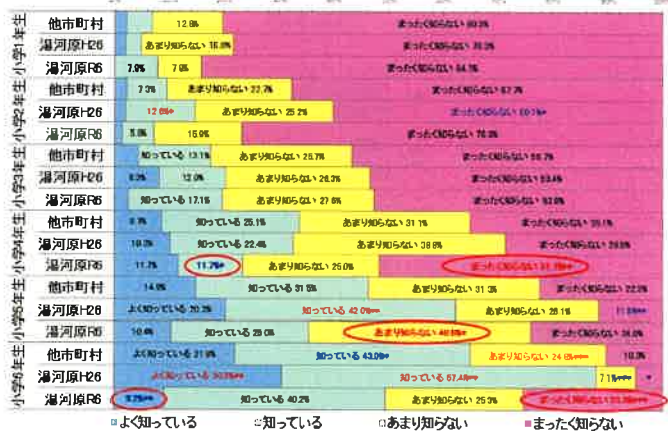
(256)



薬物知識については年齢が上がるほど「まったく知らない」人が少なくなり、「よく知っている」人が多くなっています。

94 薬物知識

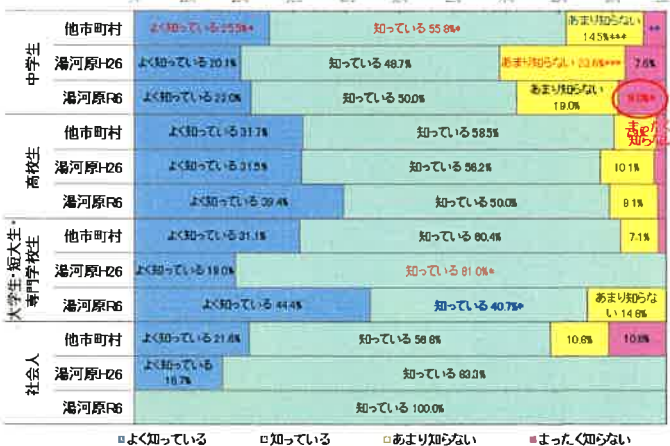
(257)



薬物知識について他市町と比べると、学童期では、小学4年生で「まったく知らない」が多く、「知っている」が少ない。小学5年生で「あまり知らない」が多い。小学6年生で「まったく知らない」が多く、「よく知っている」が少ない、などとなっています。

94 薬物知識

(258)



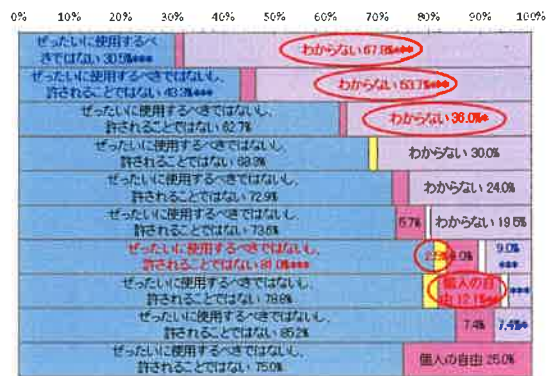
薬物知識について他市町村・前回と比べると、思春期では中学生で「まったく知らない」が多い。大学生・短大生・専門学校生で「知っている」が少ない、などとなっています。

95 薬物意識

(259)

湯河原町

小学1年生
小学2年生
小学3年生
小学4年生
小学5年生
小学6年生
中学生
高校生
大学生
社会人



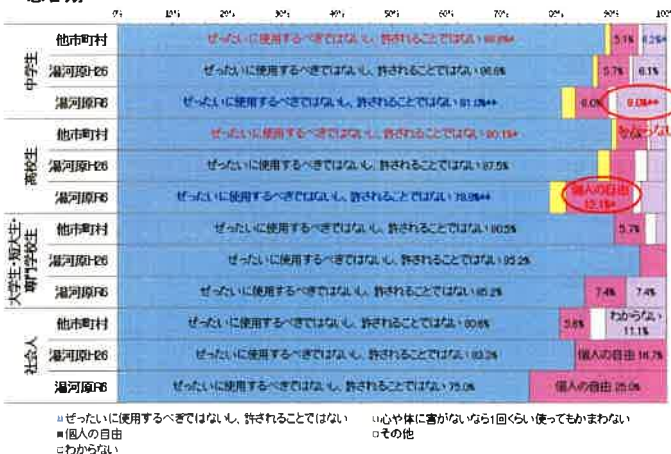
ぜったいに使用するべきではない、許されることではない
個人の自由
わかんない
心や体に害がないなら1回くらい使ってもかまわない
ロその他

薬物に対する意識については、年齢が上がるほど「ぜったいに使用するべきではない、許されることではない」が多くなっていました。なお、中学生では、「心や体に害がないなら1回くらい使ってもかまわない」、高校生では、「個人の自由」が多くなっていました。

95 薬物意識

(261)

思春期

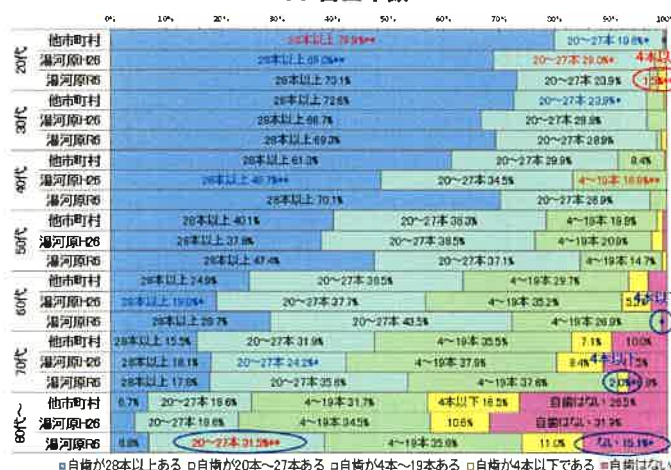


ぜったいに使用するべきではない、許されることではない
個人の自由
わかんない
心や体に害がないなら1回くらい使ってもかまわない
ロその他

薬物意識について他市町村・前回と比べると、中学生では、「わかんない」が多く、「ぜったいに使用するべきではない、許されることではない」が少ない。高校生では、「個人の自由」が多く、「ぜったいに使用するべきではない、許されることではない」が少ない、などとなっています。

96 自歯本数

(263)



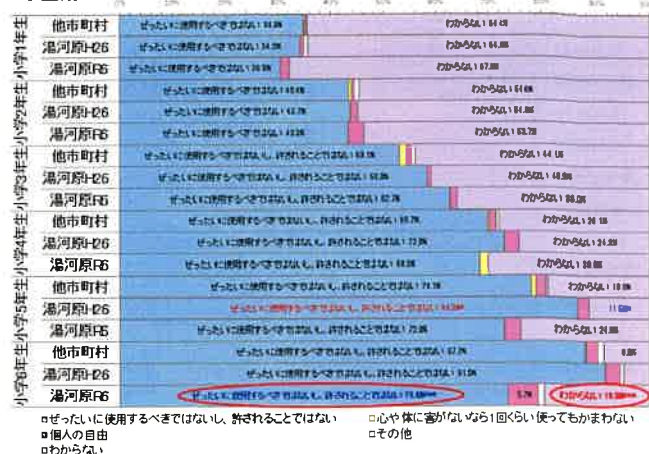
自歯が28本以上ある 自歯が20本～27本ある 自歯が4本～19本ある 自歯が4本以下である 自歯はない

自歯本数について他市町村・前回と比べると、20代では、「4本以下」が多い。60代、70代では、「4本以下」が少ない。80代以上では、「20～27本」が多く、「自歯はない」が少なくなっていました。なお、80代以上では、「自歯はない」人がH20 31.9%からR0 15.1%と半減しています。

95 薬物意識

(260)

学童期



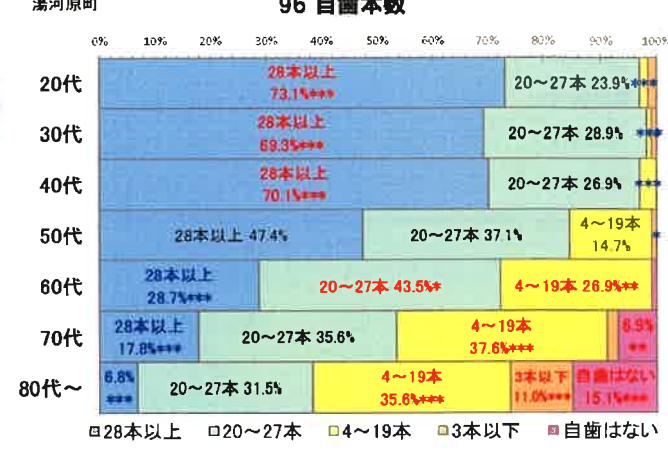
ぜったいに使用するべきではない、許されることではない
個人の自由
わかんない
心や体に害がないなら1回くらい使ってもかまわない
ロその他

薬物意識について他市町村・前回と比べると、小学6年生では、「わかんない」が多く、「ぜったいに使用するべきではない、許されることではない」が少なくなっていました。他の学年では、特に差はみられませんでした。

96 自歯本数

(262)

湯河原町



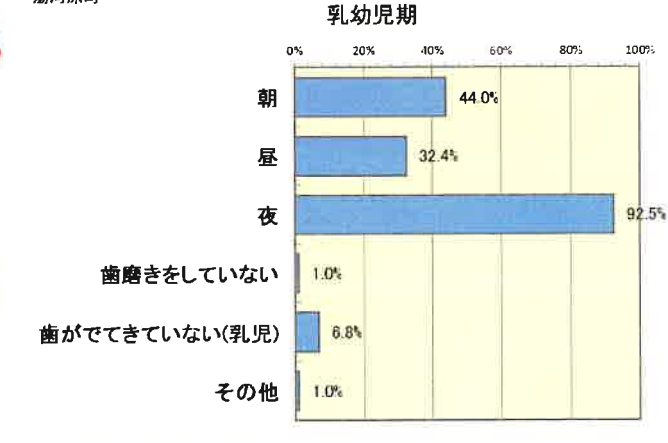
28本以上 20～27本 4～19本 3本以下 自歯はない

自歯本数は、年齢が上がるほど28本以上が少なくなり、80歳以上では「自歯はない」人が15.1%います。年齢が上がるにつれ歯を失っている状況がうかがえます。

97 歯磨き習慣

(264)

湯河原町

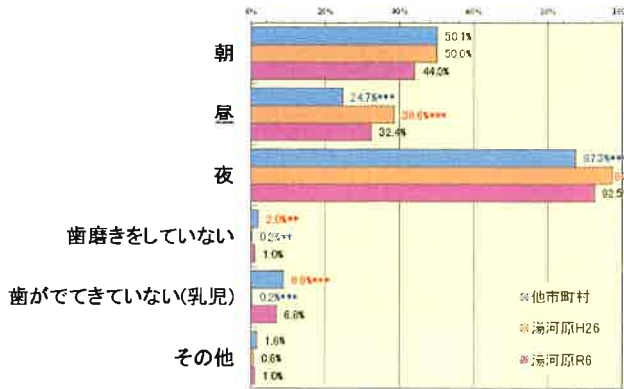


歯磨き習慣についてみると、乳幼児期では、夜歯を磨く人が多くなっています。

97 歯磨き習慣

(265)

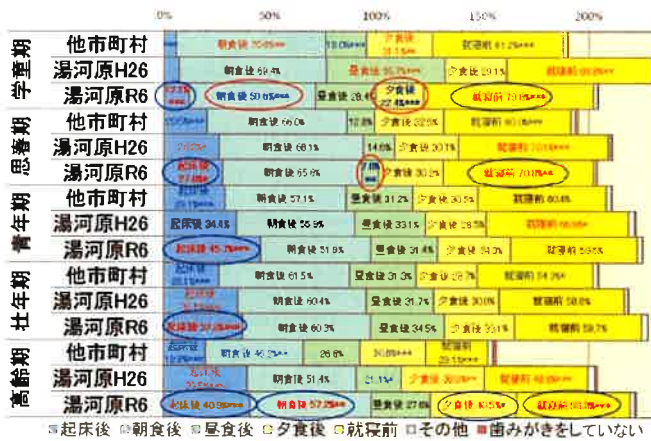
乳幼児期



歯磨き習慣について他市町村・前回と比べると、乳幼児期では特に差はみられませんでした。

97 歯磨き習慣

(267)

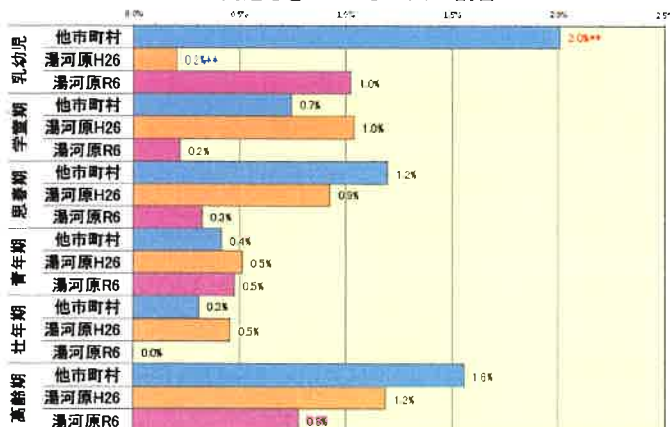


歯磨き習慣について他市町村・前回と比べると学童期では、「起床後」、「就寝前」が多く、「朝食後」、「夕食後」が少ない。思春期では、「起床後」、「就寝前」が多く、「昼食後」が少ない。青年期では、「起床後」が多い。壮年期では、「起床後」が多い。高齢期では、「起床後」、「朝食後」、「夕食後」、「就寝前」が多い、などとなっていました。

97 歯磨き習慣

(269)

歯磨きをしていない人の割合

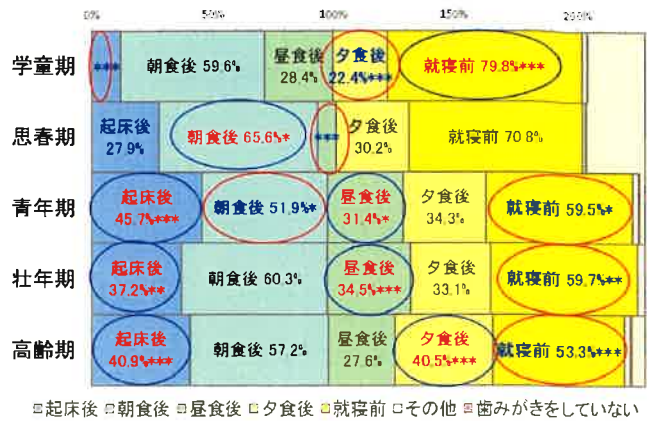


歯磨きをしていない人の割合について他市町村・前回とくらべてみると、そもそも数が少ないため特に差はみられませんでした。

97 歯磨き習慣

(266)

湯河原町



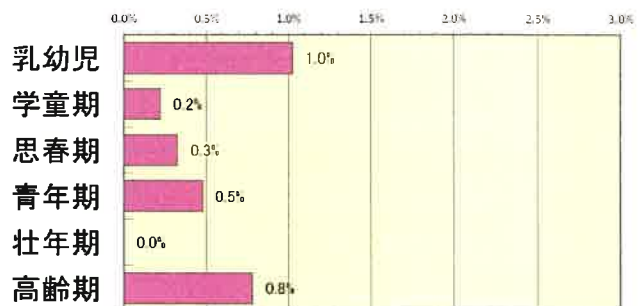
brushing 起床後 朝食後 昼食後 夕食後 就寝前 その他 歯みがきをしていない

学童期から高齢期の歯磨き習慣については、学童期では、「就寝前」が多く、「起床後」、「夕食後」が少ない。思春期では、「朝食後」が多く、「昼食後」が少ない。青年期では、「起床後」、「昼食後」が多く、「朝食後」、「就寝前」が少ない。壮年期では、「起床後」、「昼食後」が多く、「就寝前」が少ない。高齢期では、「起床後」、「夕食後」が多く、「就寝前」が少ない、などとなっていました。全体的に、一日平均2回歯磨きをしているようです。

97 歯磨き習慣

(268)

歯磨きをしていない人の割合

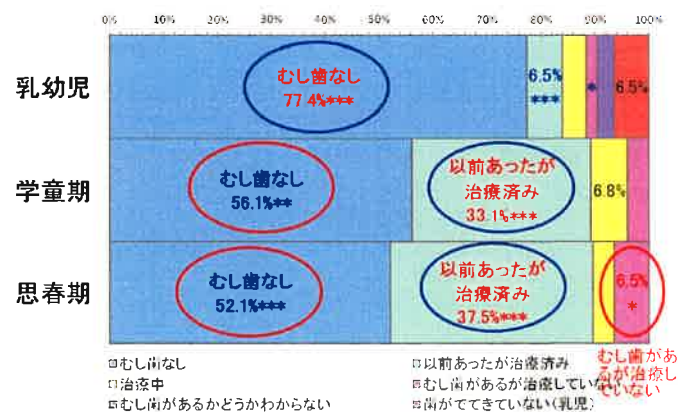


歯磨きをしていないと回答した人は、乳幼児期で293名中3名、高齢期で257名中2名と多い程度で、他の年代は0~1名程度のため、特に差はみられません。

98 虫歯状況

(270)

湯河原町

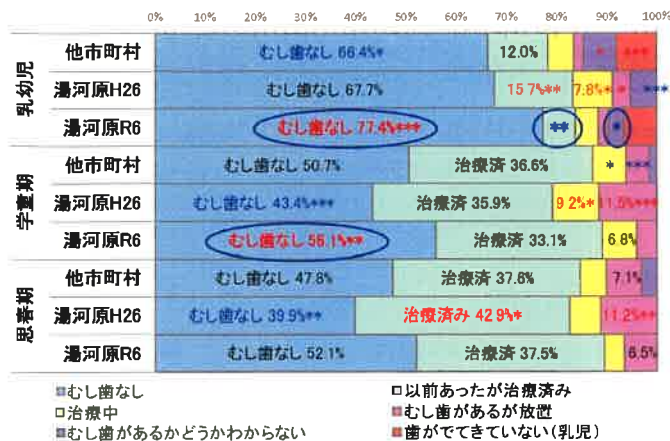


brushing 起床後 朝食後 昼食後 夕食後 就寝前 その他 歯みがきをしていない

虫歯の状況では、乳幼児期では、「むし歯なし」が多く、「以前あったが治療済み」、「むし歯があるが治療していない」が少ない。学童期では、「以前あったが治療済み」が多く、「むし歯なし」が少ない。思春期では、「以前あったが治療済み」、「むし歯があるが治療していない」が多く、「むし歯なし」が少ない、などとなっていました。

98 虫歯状況

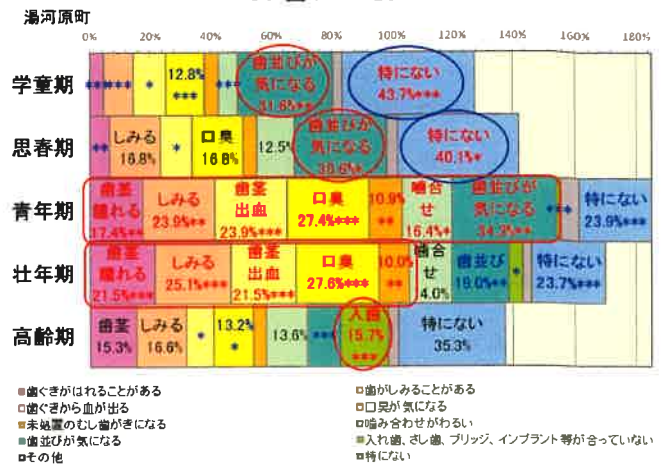
(271)



虫歯の状況では、乳幼児期では、「むし歯なし」が多く、「以前あったが治療済」、「むし歯があるが治療していない」が少ない。学童期では、「以前あったが治療済」が多く、「むし歯なし」が少ない。思春期では、「以前あったが治療済」、「むし歯があるが治療していない」が多く、「むし歯なし」が少ない、などとなっています。

99 歯や口の悩み

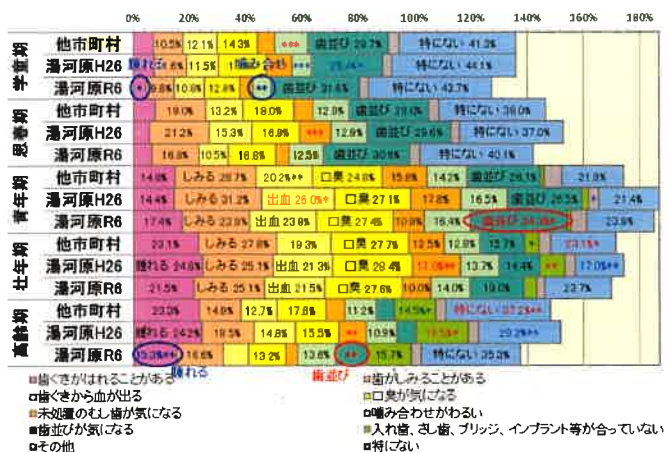
(272)



歯や口の悩みについては、学童期、思春期では、「特になし」が多く、「歯並びが気になる」が多い。青年期、壮年期では悩みが多数ある。高齢期では、「入れ歯、さし歯、ブリッジ、インプラント等が合っていない」が多い、などとなっています。

99 歯や口の悩み

(273)



歯や口の悩みについて他市町村・前回と比べると、学童期では、「腫れる」、「噛み合わせ」が少ない。青年期では、「歯並び」が多い。高齢期では、「歯並び」が多く、「腫れる」が少ないなど、深刻なトラブルが少なくなっています。

99 歯や口の悩み (その他の記述)

(274)

- 学童期**
- (小1) グラグラしている歯が痛い
 - (小1) 冷たいもの食べた時にしみる
 - (小1) 前歯が生えてこない
 - (小1) 歯が抜けづらい(乳歯)
 - (小2) 乳歯があだ2本しか抜けていない
 - (小2) 仕上げ磨きをしている
 - (小2) 奥歯の上に歯肉がのっている
 - (小2) 歯の内部吸収
 - (小3) 夜の歯ぎしり
 - (小3) 過剰歯がはえている
 - (小4) 寝ている間の歯ぎしり
 - (小4) 歯並びが合悪い
 - (小5) 歯の汚れがある
 - (小6) 歯を磨いているのに色が黄色い
 - (小6) 親知らずがある
- 思春期**
- (中学生) はならびをなおしちゆう
 - (中学生) コーヒーの飲みすぎで歯が黄色い
 - (中学生) 前歯が出てる
 - (中学生) 口内炎ができる
 - (中学生) 定期健診をしている
 - (中学生) 寝ている最中に歯ぎしりをする
 - (中学生) 活舌がたまに悪くなる
 - (中学生) 矯正が長くて辛い
 - (中学生) 矯正中
 - (中学生) 矯正中
 - (中学生) 矯正中
 - (中学生) 矯正中で回りからの目が気になる
 - (中学生) 黄ばみ
 - (高校生) 口内炎
 - (高校生) 犬歯が気になる

歯や口の悩みについてその他の記述を挙げました。

99 歯や口の悩み (その他の記述)

(275)

- 青年期**
- (男) 口内炎がでやすい
 - (男) 口内炎がでやすい
 - (男) 歯石ができる
 - (男) 花粉症の時に痛む
 - (男) 親知らず
 - (女) 歯ぎしり
 - (女) 歯ぎしりが激しい
 - (女) 黄ばみ
- 壮年期**
- (男) 歯石
 - (男) 歯肉炎
 - (男) 治療中
 - (女) くいしばり、歯ぎしり
 - (女) 歯を食いしばる様で
 - (女) 歯の色が気になる
 - (女) 歯を食いしばる様で
 - (女) 痛いときがある
 - (女) 治療中
 - (女) 口の渇き
- 高齢期**
- (男) クリーニングに行きたい→時間がない
 - (男) 歯間に物が詰まる
 - (男) 食べ物がはさまりやすい
 - (女) 定期的に歯科に通っている
 - (女) 虫歯で詰めたものが取れた。
 - (女) 物がその穴につまる。
 - (女) 部分入れ歯なので時々調整をしてもらう
 - (女) 顎関節症の傾向がある
 - (女) 食事の後に食べ物のカスが歯に付いてしまう

歯や口の悩みについてその他の記述を挙げました。

100 歯の相談

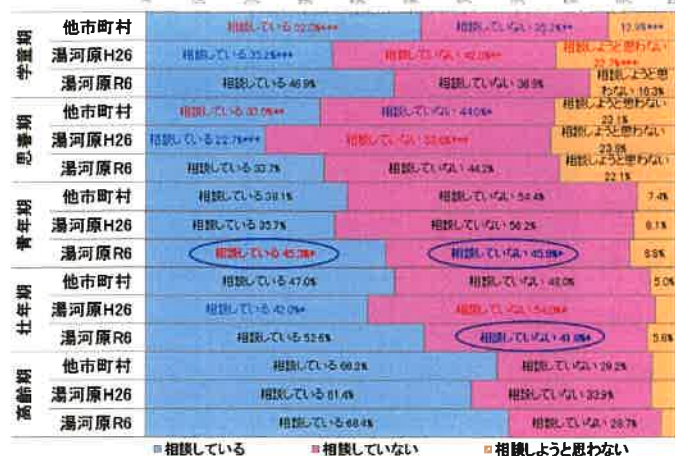
(276)



歯の相談をしているかどうかでは、学童期では、「相談しようと思わない」が多い。思春期では、「相談しようと思わない」が多く、「相談している」が少ない。青年期では、「相談していない」が多い。高齢期では、「相談している」が多く、「相談していない」、「相談しようと思わない」が少ない、などとなっています。

100 歯の相談

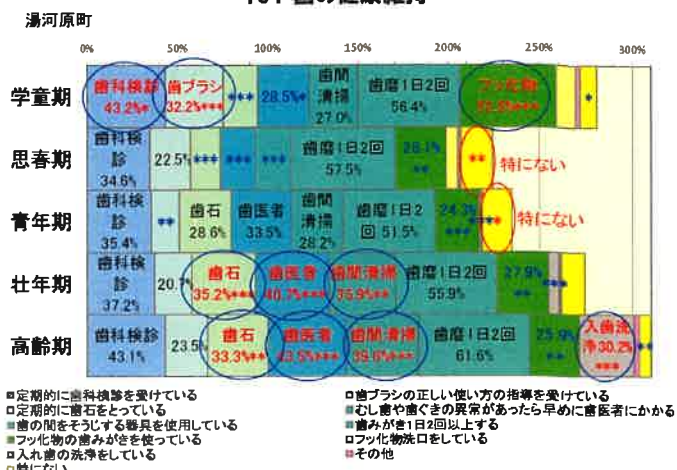
(277)



歯の相談について他市町村・前回と比べると、青年期では、「相談している」が多く、「相談していない」が少ない。壮年期では、「相談していない」が少なくなっていました。学童期、思春期、高齢期では特に差はみられませんでした。

101 歯の健康維持

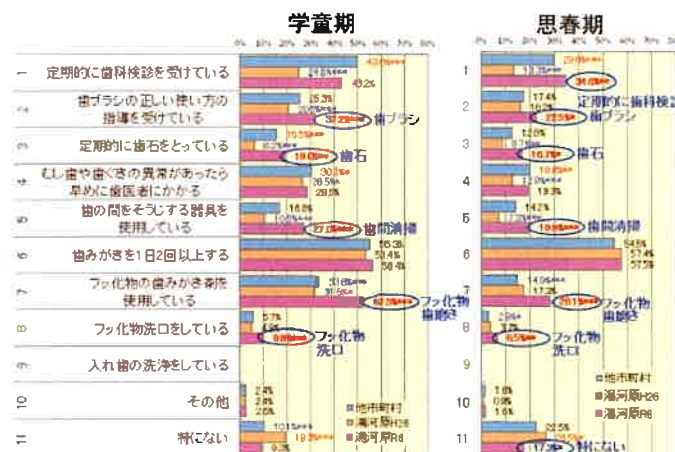
(278)



歯の健康維持では、学童期では、「歯科検診」、「歯ブラシ」、「フッ化物」が多い。思春期、青年期では、「特にない」が多い。壮年期では、「歯石」、「早めに歯医者」、「歯間清掃」が多い。高齢期では、「歯石」、「早めに歯医者」、「歯間清掃」、「入歯洗浄」が多く、「特にない」が少ない、などとなっていました。

101 歯の健康維持

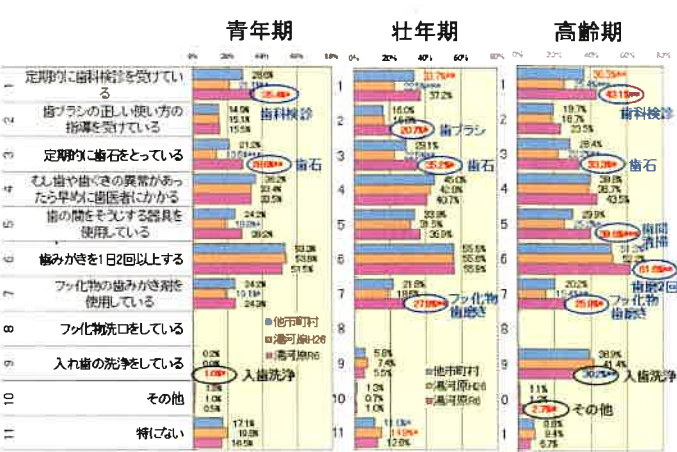
(279)



歯の健康維持について他市町村・前回と比べると、学童期では、「歯ブラシの正しい使い方の指導を受けている」、「定期的に歯石をとっている」、「歯の間をそうじする器具を使用している」、「フッ化物の歯みがき剤を使用している」、「フッ化物洗口をしている」が多い。思春期では、「定期的に歯科検診を受けている」、「歯ブラシの正しい使い方の指導を受けている」、「定期的に歯石をとっている」、「歯の間をそうじする器具を使用している」、「フッ化物の歯みがき剤を使用している」、「フッ化物洗口をしている」が多く、「特にない」が少ない。など全体的に歯の健康維持に積極的な傾向がみられました。

101 歯の健康維持

(280)



歯の健康維持について他市町村・前回と比べると、青年期では、「定期的に歯科検診を受けている」、「定期的に歯石をとっている」、「入れ歯の洗浄をしている」が多い。壮年期では、「歯ブラシの正しい使い方の指導を受けている」、「定期的に歯石をとっている」、「フッ化物の歯みがき剤を使用している」が多い。高齢期では、「定期的に歯科検診を受けている」、「定期的に歯石をとっている」、「歯の間をそうじする器具を使用している」、「歯みがきを1日2回以上する」、「フッ化物の歯みがき剤を使用している」、「その他」が多く、「入れ歯の洗浄をしている」が少ない、などとなっていました。

101 歯の健康維持 (その他記述)

(281)

学童期

(小1) うがい
(小2) 歯ブラシの毛先をチェックしている
(小2) 虫歯にならない歯磨き粉を使っている
(小3) フッ素入りタブレットを食べる
(小3) 仕上げ磨きをしている
(小3) 虫歯にならない歯磨き粉を使っている
(小4) 矯正をしているので日頃から歯磨きの仕方には気をつけている

思春期

(小4) 矯正を使用して
(小5) 1月に1回歯ブラシを交換する
(小5) 奥歯まで一日一回は歯が入っているうちの中を洗うやつ
(小5) 親が仕上げ磨きをする

青年期

(中学生) い歯磨き粉を使っている
(中学生) 一日10分ぐらい磨く
(中学生) 定期的にメンテナンスに通っている
(中学生) 歯医者である親に歯磨きの仕上げをしてもらっている

壮年期

(男) 歯列矯正を行っている
(男) 汚れを落とすのに最適な形状の歯ブラシを使っている
(女) 歯科検診を受けようと思っている
(女) 歯科検診を受けている
(女) 歯科検診を受けている

高齢期

(男) 定期的に歯科検診を受けている
(女) 歯周病予防の歯磨き粉を使用
(女) キシリトールガムをかむ
(女) 液体ガムを使用
(女) 起床直後、毎朝オイルブッシングをしている
(女) 食後歯間ブラシを使っている

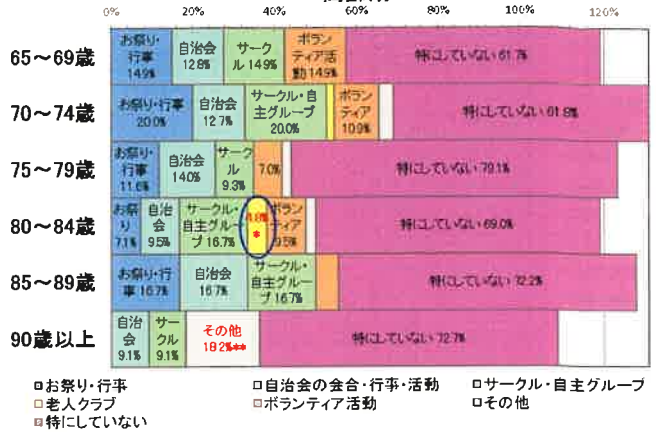
歯の健康維持についてのその他の記述を挙げました。

健康対策

102 社会活動参加 高齢期

(282)

湯河原町



高齢期の社会活動参加は、全体的に「特になし」が多くなっていました。80～84歳で「老人クラブ」が多い程度で、特に差はみられませんでした。

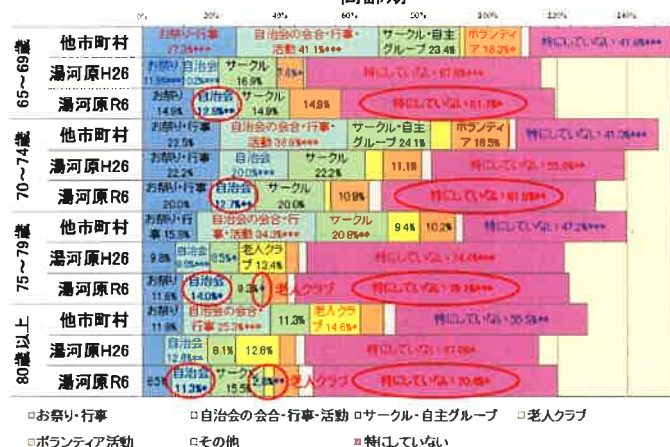
102 社会活動参加 高齢期

(283)

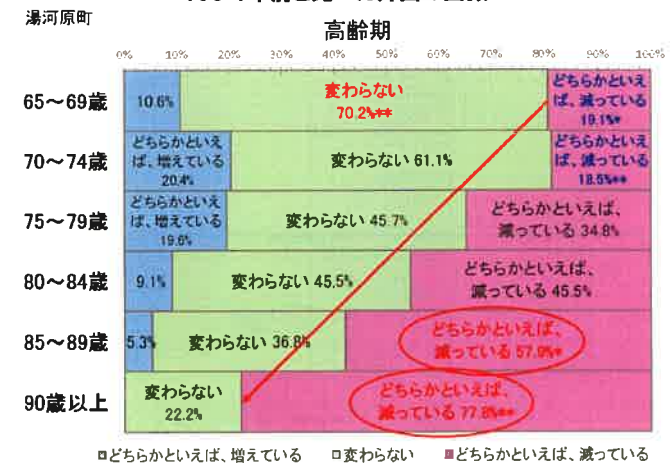
103 1年前と比べた外出の回数

(284)

湯河原町



高齢期の社会活動参加について他市町村・前回と比べると、全ての年代で「自治会の会合・行事・活動」が少なく、「特になし」が多くなっていました。75～79歳、80歳以上では「老人クラブ」も少なくなっていました。



1年前と比べた外出の回数は、年齢が上がるほど減っている傾向にあります。

103 1年前と比べた外出の回数 高齢期

(285)

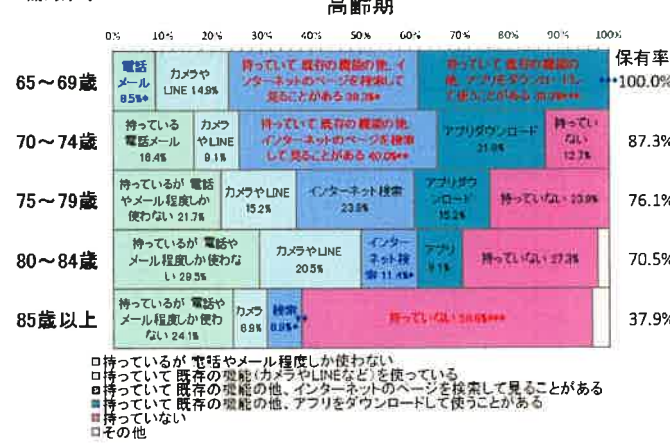
104 スマホを持っているか

(286)

湯河原町

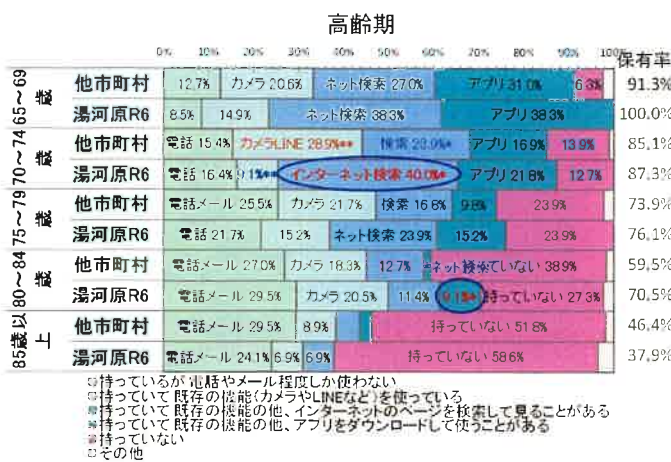


1年前と比べた外出の回数について他市町村・前回と比べると、特に差はみられませんでした。

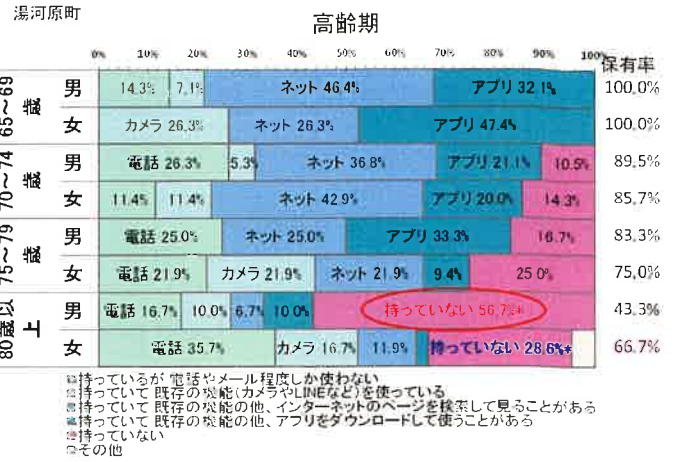


高齢期でスマホを持っているかについては、年齢が上がるほど保有率が低くなっていました。65～69歳では、「持っている 既存の機能（カメラやLINEなど）」が多い。70～74歳では、「持っている 既存の機能（カメラやLINEなど）」が多い。75～79歳では、「持っている 既存の機能（カメラやLINEなど）」が多い。80～84歳では、「持っている 既存の機能（カメラやLINEなど）」が多い。85歳以上では、「持っていない」が多くなっていました。

(288)

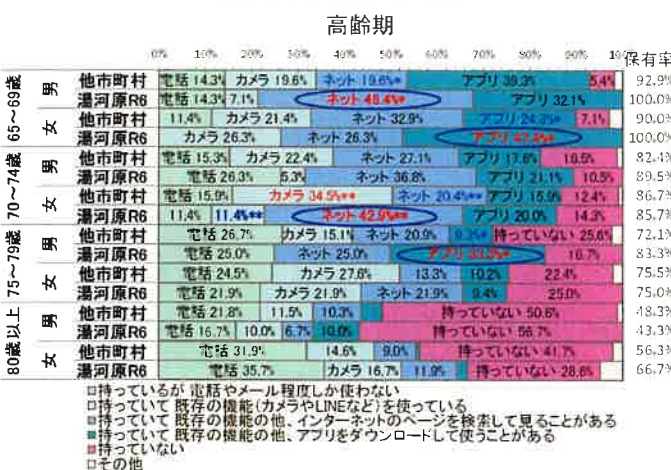


高齢期でスマホを持っているかについて、同じ質問をした逗子R4、松田R4、清川R5と比べてみると、70～74歳、80～84歳で「持っていて 既存の機能の他、インターネットのページを検索して見ることもある」が多くなっていました。



高齢期でスマホを持っているかについて年齢別・性別にみると、80歳以上の男性で「持っていない」人が多くなっていました。

(289)



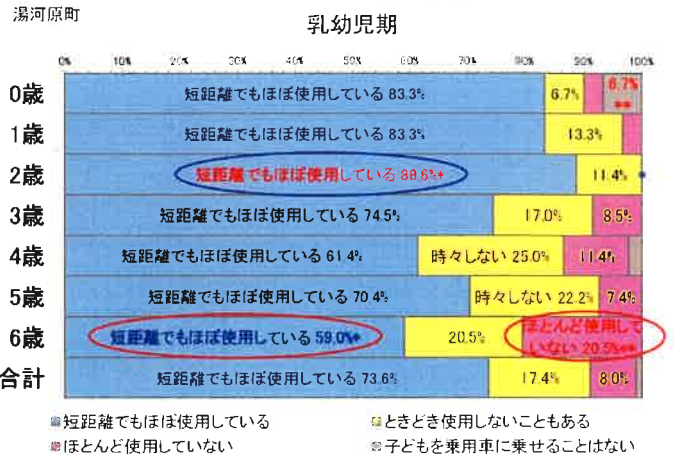
高齢期でスマホを持っているかについて年齢別・性別に同じ質問をした逗子R4、松田R4、清川R5と比べてみると、65～69歳男性、70～74歳女性で「ネット」が多い。65～69歳女性、75～79歳男性では、「アプリ」が多い、などとなっていました。

(291)



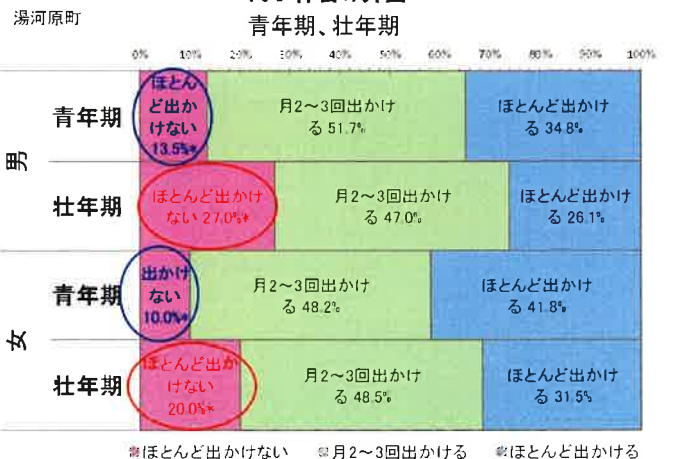
チャイルドシートの使用状況について他市町村の調査、前回と比べると、0歳では、「時々使用しない」が少ない。2歳、5歳では、「短距離でも使用」が多い。合計では、「短距離でも使用」が多く、「時々使用しない」が少ないなど、全体的に使用する人が多くなっていました。

(290)



チャイルドシートの使用は、0歳では、「子どもを乗用車に乗せることはない」が多い。2歳では、「短距離でもほぼ使用している」が多く、「ほとんど使用していない」が少ない。6歳では、「ほとんど使用していない」が多く、「短距離でもほぼ使用している」が少ない、などとなっていました。

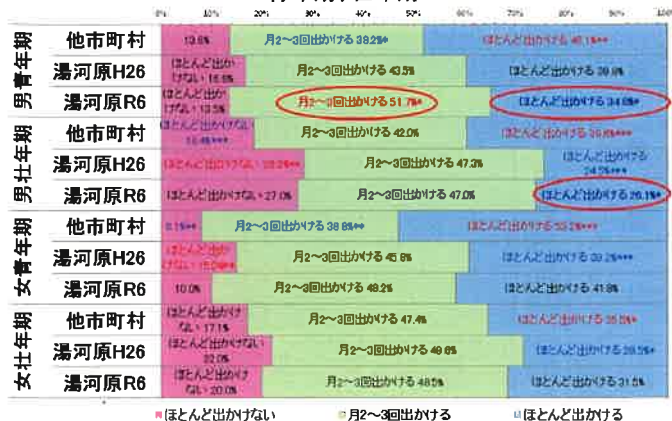
(292)



青年期、壮年期で休日に外出するかどうかについては、男女とも壮年期で「ほとんど出かけない」人が多くなっていました。

106 休日の外出
青年期、壮年期

(293)



休日の外出について他市町・前回と比べると、男性では青年期で「月2〜3回出かける」が多く、「ほとんど出かける」が少ない。壮年期では、「ほとんど出かける」が少ないなど、男性で外出頻度が少なくなっていました。女性では、特に差はみられませんでした。

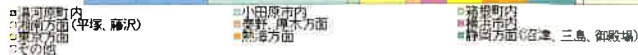
107 休日の外出先
青年期、壮年期

(294)

湯河原町

青年期

壮年期



休日の外出先についてみると、全体では「小田原市内」、「湯河原町内」、「湘南方面(平塚、藤沢)」、「静岡方面(沼津、三島、御殿場)」の順に多くなっていました。年代別には、青年期で「湘南方面(平塚、藤沢)」、「横浜市内」、「東京方面」が多くなっていました。

107 休日の外出先
青年期、壮年期

(295)

湯河原町



休日の外出先について前回と比べると、青年期では、「湯河原町内」、「熱海方面」、「静岡方面(沼津、三島、御殿場)」が多くなっていました。壮年期では、「湘南方面(平塚、藤沢)」、「秦野、厚木方面」、「熱海方面」が多くなっていました。

107 休日の外出先
青年期、壮年期

(296)

湯河原町

男 青年期

男 壮年期

女 青年期

女 壮年期

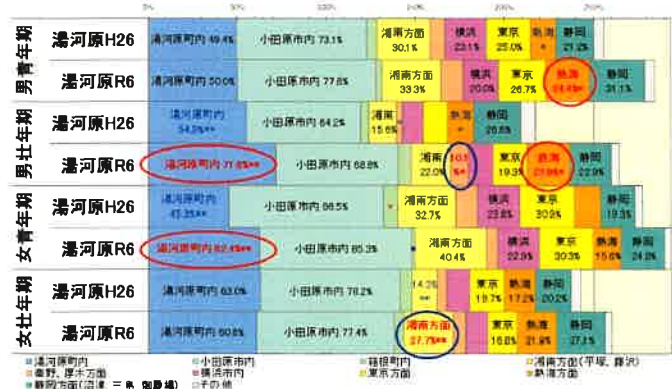


休日の外出先を男女別にみると、男性では青年期で「湯河原町内」が少ない。壮年期で「湯河原町内」が多く、「小田原市内」、「湘南方面(平塚、藤沢)」が少ない。女性では、青年期で「小田原市内」、「湘南方面(平塚、藤沢)」、「横浜市内」、「東京方面」が多い。壮年期で「東京方面」が少ない、などとなっていました。

107 休日の外出先
青年期、壮年期

(297)

湯河原町



休日の外出先を男女別にみると、男性では青年期で「熱海方面」が多い。壮年期では、「湯河原町内」、「秦野、厚木方面」、「熱海方面」が多い。女性では、青年期で「湯河原町内」が多く、「箱根町内」が少ない。壮年期で「湘南方面(平塚、藤沢)」が多いなど、全般的に近場に出かける傾向となっています。

107 休日の外出先
(その他の記述)
青年期、壮年期

(298)

湯河原町

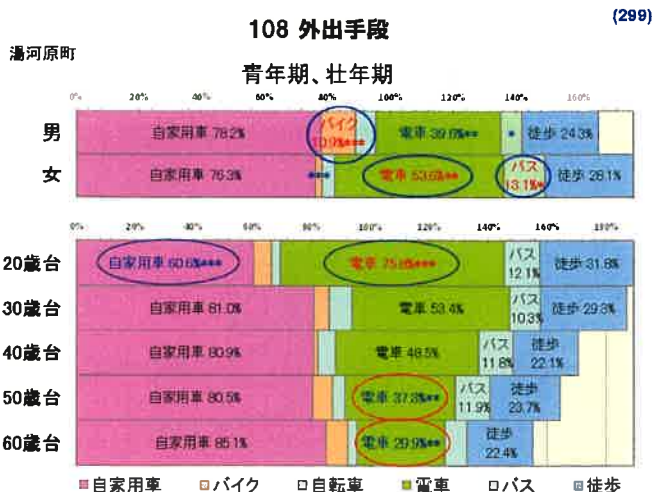
青年期

(男) 伊豆
(男) 千葉
(男) 千葉県
(男) 東北方面、信州方面
(女) イベントなどを目的の際は
は関西方面へよく行く
(女) 伊東、西伊豆
(女) 山梨
(女) 群馬

壮年期

(男) 下田
(男) 平塚市
(男) 沖縄
(男) 海外
(女) 伊東
(女) 信州、山梨
(女) 出張

休日の外出先について「その他」に記載されたものを挙げました。他市町村の調査より、かなり少なくなっています。

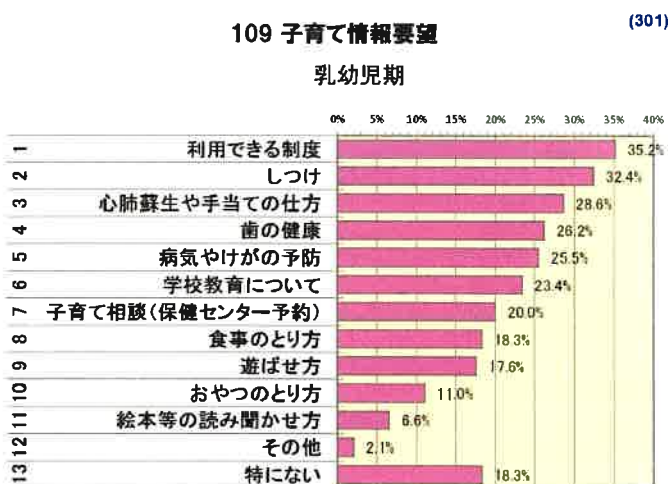


青年期、壮年期の外出手段では、性別には、男性はバイクが多く、女性は電車、バスが多くなっていました。

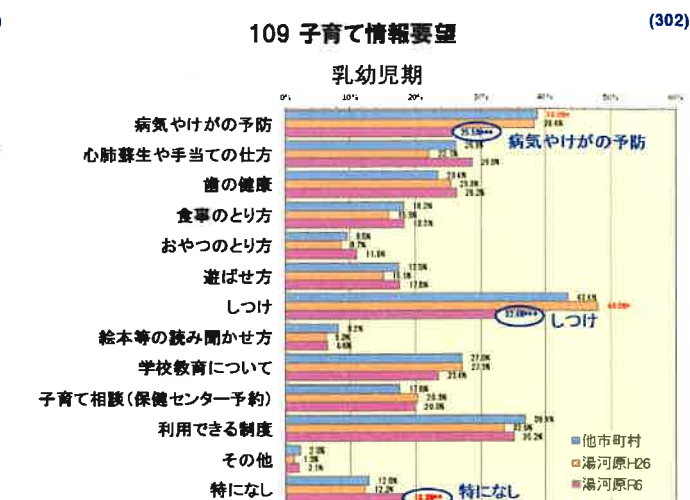
年齢別には、20歳台では、「自家用車」が少なく、「電車」が多い。50歳台、60歳台では、「電車」が少なくなっていました。



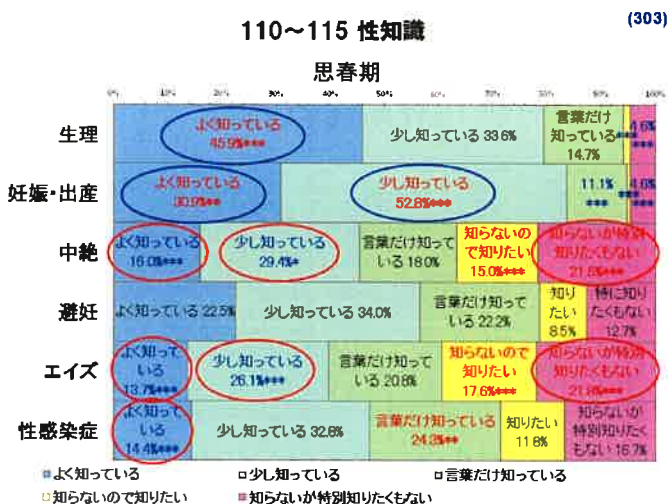
青年期、壮年期の外出手段について他市町と比べると、青年期では、男性で「電車」が多い。女性で「電車」が多く、「自転車」が少ない。壮年期では、男性で「自転車」、「バス」が少ない。女性で「バイク」、「自転車」、「バス」、「徒歩」が少ない、などとなっていました。



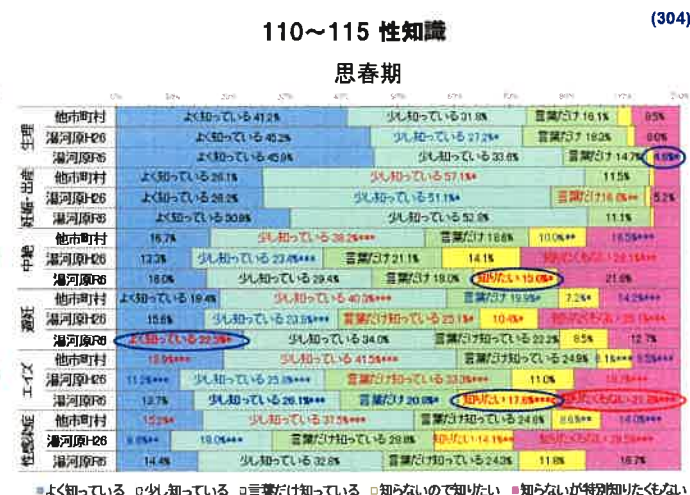
乳幼児期の子育て情報要望については、「利用できる制度」が最も多く、次いで「しつけ」、「心肺蘇生や手当ての仕方」、「歯の健康」の順となっていました。



乳幼児期の子育て情報要望について他市町村、前回と比べてみると「特になし」が多く、「病気やけがの予防」、「しつけ」が少なくなっていました。



思春期の性知識では、生理は、「よく知っている」が多く、「知らないで知りたい」、「知らないが特別知りたくもない」が少ない。妊娠・出産は、「よく知っている」、「少し知っている」が多く、「言葉だけ知っている」、「知らないで知りたい」、「知らないが特別知りたくもない」が少ない。中絶は、「知らないで知りたい」、「知らないが特別知りたくもない」が多く、「よく知っている」、「少し知っている」が少ない。エイズは、「知らないで知りたい」、「知らないが特別知りたくもない」が多く、「よく知っている」、「少し知っている」が少ない。性感染症は、「言葉だけ知っている」が多く、「よく知っている」が少ない、などとなっていました。

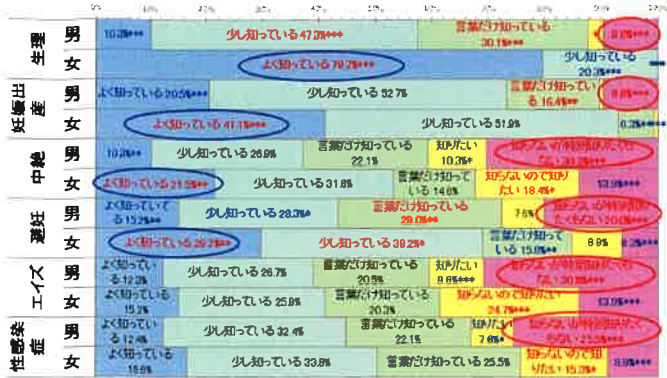


性知識について他市町村・前回と比べると、生理では、「知らないが特別知りたくもない」が少ない。中絶では、「知らないで知りたい」が多い。避妊では、「よく知っている」が多い。エイズでは、「知らないで知りたい」、「知らないが特別知りたくもない」が多くなっていました。

110～115 性知識

(305)

思春期



□よく知っている □少し知っている □言葉だけ知っている □知らないで知りたい □知らないが特別知りたくない

思春期の性知識について男女別にみると、全般的に女子のほうが「よく知っている」が多く、男子は少なくなっていました。男子では、「知らないが特別知りたくない」と嫌悪感が高い人が多くなっていました。

110～115 性知識

(306)

思春期・男



□よく知っている □少し知っている □言葉だけ知っている □知らないで知りたい □知らないが特別知りたくない

性知識について男女別に他市町村・前回と比べると、男子ではエイズで「知らないが特別知りたくない」が多くなっていました。その他は特に差はみられませんでした。

110～115 性知識

(307)

思春期・女



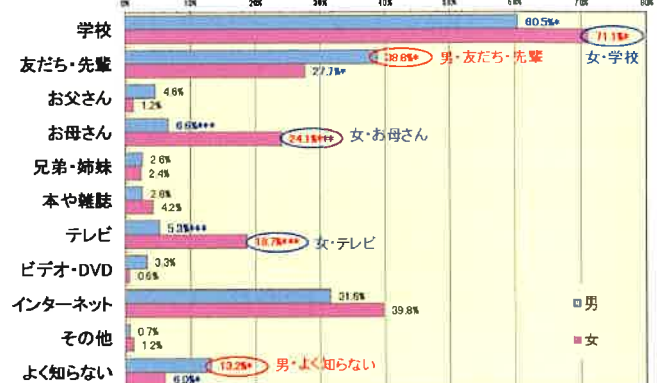
□よく知っている □少し知っている □言葉だけ知っている □知らないで知りたい □知らないが特別知りたくない

性知識について男女別に他市町村・前回と比べると、女子では、生理、避妊では、「よく知っている」が多い。中絶、エイズでは、「知らないで知りたい」が多くなっていました。その他は特に差はみられませんでした。

116 性知識入手先

(308)

思春期



性知識入手先について男女別にみると、女子では、「学校」、「お母さん」、「テレビ」が多くなっていました。男子では、「友だち・先輩」、「よく知らない」が多くなっていました。

116 性知識入手先

(309)

思春期



□学校 □友だち・先輩 □お父さん □お母さん □兄弟・姉妹 □本や雑誌 □テレビ □ビデオ・DVD □インターネット □その他

性知識入手先について他市町村・前回と比べてみると、男女とも「インターネット」が多くなっていました。

117 町の情報入手手段

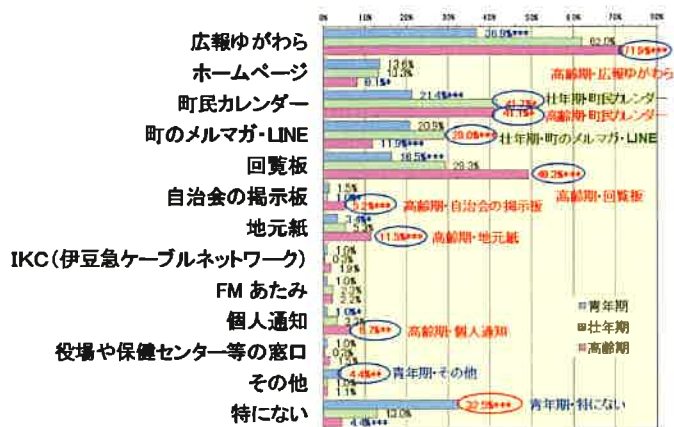
(310)



町の情報入手手段については、全体では「広報ゆがわら」、「町民カレンダー」、「回覧板」の順になっていました。各年代とも1位は「広報ゆがわら」でした。2位は、青年期では「特になし」、壮年期では「町民カレンダー」、高齢期では「回覧板」になっていました。

117 町の情報入手手段

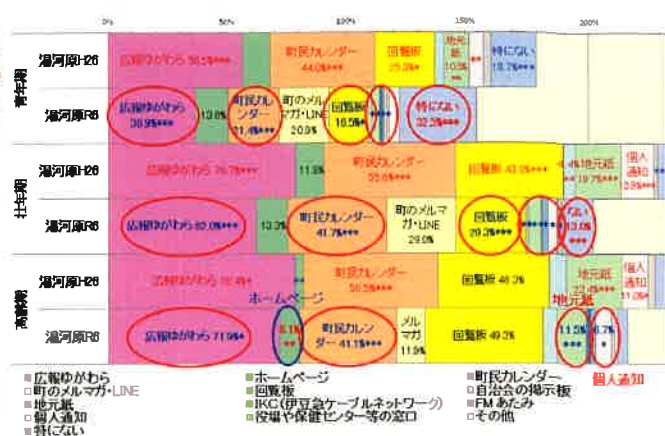
(311)



町の情報入手手段については、青年期では、「その他」、「特にない」が多い。壮年期では、「町民カレンダー」、「町のメルマガ・LINE」が多い。高齢期では、「広報ゆがわら」、「町民カレンダー」、「回覧板」、「自治会の掲示板」、「地元紙」、「個人通知」が多い、などとなっています。

117 町の情報入手手段

(312)



町の情報入手手段について前回と比べると、青年期では、「広報ゆがわら」、「町民カレンダー」、「回覧板」、「地元紙」、「個人通知」が少なく、「特にない」が多くなってました。壮年期・湯河原R6では、「広報ゆがわら」、「町民カレンダー」、「回覧板」、「自治会の掲示板」、「地元紙」、「個人通知」が少なく、「特にない」が多くなっていました。高齢期では、「ホームページ」が多く、「広報ゆがわら」、「町民カレンダー」、「地元紙」、「個人通知」が少なくなるなど、全般的に情報入手意欲が低下しています。

調査結果を活用して 素晴らしい計画を つくりましょう



住民アンケート調査から得られた各ライフステージごとの特徴、課題を活かして、より良い計画をつくりましょう。

